

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                          | 景気の先行き判断       | 業種・職種                                       | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------------|----------------|---|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(北海道) |                | 観光名所（従業員）                                   | ・2月中旬から週末や祝前日の乗客数が明らかに増えてきている。これから暖かくなることで新型コロナウイルスの感染動向が抑制傾向になることが見込まれる上、人が動きやすい季節にもなるため、にぎわいの復調が期待できる。                                      |
|                             |                | 商店街（代表者）                                    | ・新型コロナウイルスの感染者数が減少してきており、終息の兆しが見られる。暖かくなってくる時期でもあるため、今後は徐々に外出が増えることが見込まれる。生活様式は変化してきているが、街にも少しずつ活気が戻ってくるようになる。                                |
|                             |                | 商店街（代表者）                                    | ・高齢者への新型コロナウイルスワクチンの接種が4月から始まる予定であるため、ワクチン接種を終えた高齢者の来街が増加することが見込まれる。自粛生活が続いているなか、使うことのできる金はあると見込まれるため、一部の業種を除き売上はアップする。                       |
|                             |                | 商店街（代表者）                                    | ・鮮度を落とさずに長期保存しているりんごの販売が3月中盤から始まることで、青果市場は持ち直すと見込まれる。また、春野菜などが市場に多く出てくることもプラスである。我慢はまだ必要だが、緊急事態宣言の解除に伴い、経済は徐々に回復すると期待している。                    |
|                             |                | 一般小売店〔土産〕（経営者）                              | ・今後の景気は徐々に良くなるとみているが、当社の売上の45%がアジア人観光客によるものであり、外国人観光客が戻るまで、あと5年くらいは掛かるとみられることから、まだまだ大変な状況は続く。   |
|                             |                | 一般小売店〔酒〕（経営者）                               | ・酒類を提供する飲食店舗への休業要請が2月15日に解除されたことで、売上が回復した。新型コロナウイルスの感染者数も減少しているため、今後の景気は徐々に上向くことになる。  |
|                             |                | 百貨店（販売促進担当）                                 | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まり、新規感染者が抑えられることで、景気も回復傾向に転じることになる。  |
|                             |                | 百貨店（営業販促担当）                                 | ・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着いてきたことから、客の来店が徐々に回復してきている。今後はこうした傾向がますます強まることになる。これまで苦戦していた衣料品に動きが出てきていることから、消費マインドの改善がうかがえる。                              |
|                             |                | スーパー（店長）                                    | ・前年は北海道独自の緊急事態宣言により、外出自粛、休校、食料品以外の店舗休業などが行われていたため、前年以上の売上となることはほぼ間違いない。問題は一昨年と比較してどこまで回復するかということである。密を避ける意識がまだ高いことから、ファッション衣料や化粧品関連は苦戦が見込まれる。 |
|                             |                | スーパー（役員）                                    | ・新型コロナウイルスの感染が確認されてから1年が経過し、内食が習慣化してきたことで売上のペースが上がってきている。そのため、今後の景気はやや良くなる。   |
|                             |                | コンビニ（エリア担当）                                 | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、明るい雰囲気が出ており、予定どおりに緊急事態宣言が解除されることになれば、人の往来の動きも若干出てくることになる。  |
|                             |                | コンビニ（店長）                                    | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が普及することで、夕夜間の人の動きが以前のように戻ってくると見込まれる。   |
|                             |                | 乗用車販売店（従業員）                                 | ・新型コロナウイルスワクチンの効果が徐々に現れることで、景気の回復につながることを期待している。  |
|                             |                | 乗用車販売店（従業員）                                 | ・新型車種が出るため、今後は販売量が増えると思込まれる。  |
|                             | その他専門店〔造花〕（店長） | ・新型コロナウイルスが終息し、景気対策が行われることで、経済が多少は上向くことになる。 |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種         | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------|--|
|    |          | 高級レストラン（経営者）  | ・新型コロナウイルスの感染動向が収まってきているなか、新型コロナウイルスワクチンの接種も始まり、このままワクチンの接種がどんどん進むことで、観光客の動きが回復することが見込まれる。そうなれば景気は上向きとなる。  |
|    |          | 高級レストラン（スタッフ） | ・2月一杯で飲食店への営業時間短縮要請が解除されるため、今後、飲食店利用が少しずつ増えてくることを期待している。ただ、高級店を利用するような年齢の高い世代は、新型コロナウイルス感染への不安感などから、活動が鈍いとみられ、前年比50～60%程度の売上にしかならないことが懸念される。また、このような売上にとどまることになれば、休業中のアルバイトスタッフの再雇用は難しい。 |
|    |          | 観光型ホテル（スタッフ）  | ・国内からの個人旅行とスポーツイベントによる宿泊予約がみられることから、低調ではあるものの、今後の景気はやや良くなる。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）    | ・緊急事態宣言が解除されることに加えて、新型コロナウイルスワクチンの接種が進むことで、Go To Travelキャンペーンなどの施策も復活することが期待される。これまで抑制されていた旅行需要が初夏の花観光から徐々に回復することを期待している。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）    | ・緊急事態宣言が全て解除され、新型コロナウイルスワクチンの接種が順調に進むことになれば、現在よりも旅行への意欲が高まり、多少は申込みも増えると期待している。ただ、Go To Travelキャンペーンについては、開始時期や適用条件にはっきりとしていない部分があるため、大きな期待は持てない。   |
|    |          | 旅行代理店（従業員）    | ・緊急事態宣言について6府県の解除が予定されていることに加えて、65歳以上の高齢者への新型コロナウイルスワクチンの接種が始まる予定であることから、多少は旅行需要が高まることが期待される。ゴールデンウィークの問合せも少しずつ出てきていることから、2月よりは改善することになる。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）    | ・新型コロナウイルスの感染者数がこのまま減少し、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まれば、空気が変わることで、景気もやや良くなる。   |
|    |          | タクシー運転手       | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まることで、少しずつ人の流れが出てくるのではないかと期待している。   |
|    |          | 通信会社（企画担当）    | ・例年、新入学や就職に伴う通信機器の購入、買換え需要が期待できる時期である。今年は通信料金の値下げの効果もあり、前年以上の販売量となることが期待できる。   |
|    |          | 美容室（経営者）      | ・新型コロナウイルスの感染者数の減少やワクチン接種などに関する報道の影響もあり、直近の雰囲気はやや良くなってきている。そのため、今後は景気が少しずつ上向きになる。  |
|    |          | 美容室（経営者）      | ・季節的な要因として、春を迎えて雪解けが進むことで客の動きが良くなる。また、これまで新型コロナウイルスの影響で控え目だった客の動きが活発になることに加えて、美容室に来店することへの警戒感が薄れることで、来客数の増加につながることが見込まれる。  |
|    |          | 住宅販売会社（経営者）   | ・新型コロナウイルスワクチンが海外から届き始めていることから、5月頃までには新型コロナウイルスが終息すると期待している。株価も引き続き堅調に推移すれば、景気は順調に回復することになる。   |
|    |          | 商店街（代表者）      | ・新型コロナウイルスワクチンが出回ってきているが、まだ必要な量が十分に行きわたる状況とはなっていないことから、景気が良くなるという見通しが立たない。   |
|    |          | 商店街（代表者）      | ・新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれるため、今後も景気は変わらない。  |
|    |          | 百貨店（役員）       | ・現状、新型コロナウイルスの感染動向が落ち着いているように見えるが、今後、どのように変動するのかが分からないため、先行きの見通しについては不透明な状況にある。  |
|    |          | スーパー（店長）      | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が本格化し、大多数が接種を終える夏頃から景気が好転することを期待しているが、現時点では何とも言えない。また、東京オリンピックが開催されるかどうかポイントとなる。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                        | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|------------------------------|---|
|    |          | スーパー（役員）                     | ・売場で客の節約ムードが感じられることから、今後2～3か月は現状のままで推移する。一方、新型コロナウイルスワクチンが普及し、人の動きがやや活発になれば、来客数獲得を狙った安売り合戦が行われるようになり、景気に悪影響を及ぼすことが懸念される。                                    |
|    |          | コンビニ（エリア担当）                  | ・新型コロナウイルスの影響が出てから1年が経過することで、前年比の上では減少していた外販売上が回復に転じることになる。その一方で、伸びていた家庭内需要向けの商材が落ち込むことになる。プラスとマイナスが相殺されることでトータルの売上には変化がないことが見込まれる。                         |
|    |          | 衣料品専門店（店長）                   | ・いまだに経済の落ち込みが続いていることから、今後も必要最低限の購入が続く。ただ、前年と比べれば、多少は良い状況が見込まれる。   |
|    |          | 家電量販店（経営者）                   | ・先行き不透明な面はあるが、今後については空気清浄機やエアコンの売上が引き続き期待できる。   |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）                  | ・地場の主要産業が停滞している状況にあるため、緊急事態宣言が解除され、人の動きが活発になり、観光客を中心とした動きが出てこない限り、景気に大きな変化はみられない。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）                  | ・景気は以前よりも良くなっているが、劇的に良くなることまでは望めない。新型車が出るため、その効果は現れるとみているが、新型コロナウイルス禍のなかで販売量や来場数が大きく伸びるとは言えない。  |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）                  | ・これまで自動車業界では大きな落ち込みがなかったことから、今後も景気は変わらない。大規模イベントの開催が未定なことから、大きな動きは見込めない。  |
|    |          | 自動車備品販売店（店長）                 | ・新型コロナウイルス禍における感染対策や感染者数などのニュースに大きな変化が起こらない限り、小売店の景気は変わらない。   |
|    |          | 高級レストラン（スタッフ）                | ・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向になれば、景気はますます悪くなる。   |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）                  | ・新型コロナウイルスワクチンの供給量が制限されそうなことから、この数か月で国民の行動に大きな変化は起こらないとみられる。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）                   | ・少しは景気が上向きになると信じたいが、新型コロナウイルスの感染状況次第で政府の対策が変わるような流動的な状況にあるため、正直先が読めない。  |
|    |          | タクシー運転手                      | ・住民の消費行動への欲求は強くなっているが、新型コロナウイルスの感染状況を考えると、実質的な行動につながることは期待できない。新型コロナウイルスワクチンの接種が一般的にならない限り、景気回復は見込めない。  |
|    |          | タクシー運転手                      | ・これまでの来客数の流れから、営業収入は微増するとみられるが、景気は大きく変わらない。ただ、新型コロナウイルスワクチンへの期待は高いため、ワクチン接種が進むことで人の流れが少しずつ増えてくることを期待している。   |
|    |          | タクシー運転手                      | ・新型コロナウイルス禍のなか、観光などの人の動きが全くないため、先行きが見通せない状況にある。今後、新型コロナウイルスの第4波が生じることになれば、大変なことになる。とにかく新型コロナウイルスワクチンの効果で新型コロナウイルスが終息することを期待している。                            |
|    |          | タクシー運転手                      | ・医療従事者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種が実施されているが、一般の人に行きわたるのは夏以降になるとみられるため、景気が回復するまで1年程度掛かることになる。  |
|    |          | 観光名所（職員）                     | ・国による緊急事態宣言、北海道による集中対策期間の影響により、来場者が激減している。非常に苦しい状況が続いており、先が見通せない。緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルスワクチンの接種、Go To Travelキャンペーンの再開などについても、感染拡大が繰り返されることのないような適切な時期での実施が望まれる。 |
|    |          | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | ・Go To Travelキャンペーンなどの再開のめどが立たない限り、現状の利用客の減少傾向は変わらない。   |
|    |          | スーパー（店長）                     | ・新型コロナウイルス不況の影響が、今後徐々に出てくること懸念される。  |

| 分野                          | 景気の先行き判断 | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------------|----------|---|---|
|                             |          | スーパー（企画担当）  | ・コロナ禍が長期化しているなか、企業倒産、人員整理などによる雇用所得環境の悪化が懸念されていることから、買い回り品などの日用品に対する客の価格感応度が一層厳しくなることが見込まれる。   |
|                             |          | コンビニ（エリア担当）   | ・毎月の来客数が減少傾向にあることから、今後の景気はやや悪くなる。   |
|                             |          | コンビニ（エリア担当）   | ・地場産業の衰退と所得減少により、当地での購買動向は今後ますます厳しい環境になる。   |
|                             |          | その他専門店〔医薬品〕（経営者）  | ・節約が当たり前のことになっている。先行きへの不安もあるため、今後、本格的な買い控えにつながり、景気が落ち込むことが心配される。新型コロナウイルスワクチンだけでは、景気は元には戻らないとみられる。  |
|                             |          | 住宅販売会社（経営者）   | ・新型コロナウイルスの影響で所得減少が続いている現状から、短期間で住宅市場が好転することは考えにくい。   |
|                             | ×        | 商店街（代表者）  | ・緊急事態宣言が出された影響で、当地における観光業の売上は前年の5%にも満たない状況にある。新型コロナウイルスの影響が出始めてからそろそろ1年を迎え、観光業は虫の息である。対策は旅行者向けのものに集中しているが、大きな影響を受けているのはホテルや観光土産品店であり、これらの業態では企業存続が限界に近い状態となっている。末端を対象とした救済策を出さない限り、国内の観光業は壊滅することになる。  |
|                             | ×        | 一般小売店〔土産〕（経営者）  | ・この2～3か月で新型コロナウイルスの感染者数が落ち着く状況となり、緊急事態宣言が解除されることになれば、Go To Travelキャンペーン再開の動きも出てくるとみられるが、当初のように客がすぐにキャンペーンを利用することにはならない。新型コロナウイルスの影響は依然として大きく、航空機の乗降客がいまだに50%を下回っているなど、心理的な面で移動に対する不安が大きいことから、観光客が例年の半分以下という状況はしばらく続く。売店における飲食の売上も前年の3割台、悪ければ2割以下という状況が続く。 |
|                             | ×        | スーパー（従業員）   | ・新型コロナウイルス禍のなか、客単価の上昇が続いているが、上昇幅が縮小傾向にある。また、新型コロナウイルスの影響が生じてから1年が経過することで、急増した食料品の売上において、前年からの反動減が現れることになる。  |
|                             | ×        | 高級レストラン（スタッフ）   | ・新型コロナウイルス終息の見込みが立たない。新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっているものの、一般人への接種は夏以降になるとの見解であるため、今後しばらくは新型コロナウイルス感染者数について一進一退の状況が続くこととなり、人の往来の回復は見込めない。   |
|                             | ×        | スナック（経営者）   | ・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くと思われるため、これ以上景気が良くなるとは考えられない。  |
| ×                           | タクシー運転手  | ・例年、当地では雪のある3月までタクシー利用が多く、暖かくなり雪解けが進む4月以降に利用が激減することになる。今年は新型コロナウイルスの影響もあるため、前年と同様に4月以降もタクシー利用が低迷したまま推移する。 |   |
| ×                           | 美容室（経営者） | ・今後については、新型コロナウイルスワクチンの効果次第の面がある。   |   |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(北海道) |          | *   | *   |
|                             |          | 建設業（経営者）  | ・今後、公共土木工事が順次着工することになる。稼働量が本格的に上向くのはまだ先とみられるが、マインドが上向くことになる。建築工事は、官庁によるものは例年と同様の動きが見込まれるが、民間によるものは新型コロナウイルスの影響がどう現れるか読めない面がある。一方、街中の景気については、飲食、観光、交通関係などの景況感がかなり悪いため、なかなか上向いてこないことが懸念される。   |
|                             |          | 建設業（従業員）  | ・新型コロナウイルス禍が終息するめどが立ったのか、これまで凍結していたホテル建設工事の見積り依頼が複数件あり、僅かながらに建設業界の景気が回復すると期待している。   |
|                             | 建設業（役員）  | ・公共土木工事の公告に伴い、新規受注が期待できる。北海道における新型コロナウイルス対策の集中対策期間が終了し、感染抑制が見通せる状況となれば、民間の設備投資意欲も回復することになる。               |   |

| 分野                    | 景気の先行き判断 | 業種・職種                    | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------|----------|--------------------------|---|
|                       |          | 通信業（営業担当）                | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、新型コロナウイルス終息への期待感の高まりとこれまでの行動自粛からの解放により、景況感は改善することになる。  |
|                       |          | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | ・新型コロナウイルスの感染対策の効果が出始めていることから、観光や外食などの景況感が回復に転じることが見込まれる。   |
|                       |          | 食料品製造業（従業員）              | ・現状の景気を向上させるような案件が見当たらない。   |
|                       |          | 食料品製造業（従業員）              | ・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くか見通せないため、今後の販売量への影響も不透明である。   |
|                       |          | 家具製造業（経営者）               | ・実体経済が伴っていないにもかかわらず株が高騰しており、一種のバブル状態となっている。近いうちに調整局面に入ることも考えられることから、一本調子の回復は期待しづらい。   |
|                       |          | 輸送業（支店長）                 | ・春を迎えて、建材鋼材類のほか、飲料関係の荷動きが活発になることを期待したいが、新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか先行きが全く読めない状況にある。   |
|                       |          | 金融業（従業員）                 | ・財政、金融政策により道内景気が下支えされているなか、新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことから、消費マインド、投資マインドへの好影響が期待される。そのため、道内景気は一進一退しつつも現状維持が見込まれ、3か月前と変わらない水準で推移することになる。 |
|                       |          | 司法書士                     | ・新型コロナウイルスワクチンが国民に行きわたるまで、まだ時間が掛かるため、景気が上向くのは今夏以降になる。そのため、当面は景気回復の実感がないまま、現状と同程度の水準で推移する。   |
|                       |          | 司法書士                     | ・現状、景気は悪いが何とか持ちこたえている状況にある。新型コロナウイルスワクチンの接種が徐々に進むことにより、景気が多少上向くとみられるが、2～3か月よりも長い期間が必要とみられる。                                       |
|                       |          | コピーサービス業（従業員）            | ・業界にもよるが、新型コロナウイルスの影響がまだ続くこととみている取引先もあるため、今後しばらくは先行きが明るくなることはない。  |
|                       |          | その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）   | ・緊急事態宣言が解除された後、東京オリンピックがどうなるか、その動きに注目している。ただ、今後2～3か月の状況は変わらない。  |
|                       |          | 金属製品製造業（従業員）             | ・新型コロナウイルスの影響で業績が悪化している会社が多く、失業者も増加していることから、今後の景気はやや悪くなる。   |
|                       |          | その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）  | ・来年度の受注について、確定している案件が例年よりも少ない。  |
|                       | ×        | その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）       | ・上半期の仕事量が少ないとの予測があるほか、ベース商材の売上ダウンが心配される。大型物件受注の動きが止まっていることもあり、今後の客の買い控えが懸念される。  |
| 雇用<br>関連<br><br>(北海道) |          |                          |   |
|                       |          | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・今後については、緊急事態宣言や集中対策期間が解除されることで、飲食店や小売店などで求人の募集が始まることを期待している。   |
|                       |          | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・北海道による集中対策期間が順調に終わり、新型コロナウイルスワクチンの接種もスケジュールどおりに進むことになれば、消費行動が上向きになり、経済活動も動き出すことになる。  |
|                       |          | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・新型コロナウイルスワクチンへの期待感と基幹産業である農業の安定性から、ゆっくりではあるが、景気が上向くことを期待している。  |
|                       |          | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・現在の生活スタイルが定着しそうな雰囲気があり、景気が良くなる要素が見当たらない。   |
|                       |          | 職業安定所（職員）                | ・新規求人数、就職件数が前年を上回っているものの、雇用調整助成金の相談が増えてきているなど、新型コロナウイルスの影響が依然として見込まれるため、今後も景気は変わらない。  |
|                       |          | 職業安定所（職員）                | ・現状をみる限り、景気が良くなる要素はないが、急激に景気が落ち込むことも考えにくいから、今後しばらくは一進一退の状況が続くことになり、景気は変わらないまま推移する。ただ、企業の体力が持たなくなり、離職者が増えていくことが懸念される。              |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種        | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|--------------|---|
|    |          | 学校〔大学〕（就職担当） | ・新型コロナウイルスの感染動向が終息に向かい、経済対策を打てるようになれば、企業の新卒採用活動にも弾みが付くが、まだ不確定な情報しかないため、今後2～3か月はこのままの状況が続く。  |
|    |          | 人材派遣会社（社員）   | ・新型コロナウイルス禍のなか、来期の事業計画の見通しが立たず、人員体制をどうするか、雇用調整を行うかどうか悩む企業が増えていることから、今後の景気はやや悪くなる。   |
|    |          | 職業安定所（職員）    | ・当地における新規求人数は前年比マイナス10.8%、月間有効求人数は前年比マイナス10.7%となっており、いずれも減少している。当面は現在の水準で推移するとみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種において不安定な動きが継続していることから、なお判断を許さない状況にある。 |
|    | x        | -            | -   |

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の先行き判断    | 業種・職種                                      | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------|-------------|--|--|
| 家計動向関連<br>(東北) |             | 衣料品専門店（店長）                                 | ・前年は新型コロナウイルスの影響で、業界の肝である入学式や入社式が中止、延期になるという事態になり、大きく打撃を受けた。今年は今のところそのような動きにならないとみているので、春の準備をする客が順当に来店すれば、業界の景気は上向きになると予測している。 |
|                |             | 一般小売店〔酒〕（経営者）                              | ・現在、東京の業務店からの注文がない。業務店の再開を期待している。  |
|                |             | 一般小売店〔寝具〕（経営者）                             | ・春に向けて進学、就職等があるので仕立てが増える気がする。新型コロナウイルス感染が収束しない限り客先訪問ができないことが手痛い。   |
|                |             | 百貨店（売場主任）                                  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始となり、終息へ向けた期待感から消費マインドが上がるものと考える。   |
|                |             | 百貨店（営業担当）                                  | ・前年の緊急事態宣言による自粛と比べ、ワクチン接種の推進もあるため、感染に留意しながら人の動きが活発になり、旅行や市町村のイベントなどの屋外活動も実施されることが想定される。  |
|                |             | 百貨店（経営者）                                   | ・最近の新型コロナウイルス感染者数の減少や、ワクチン接種の開始により、安心感から多少消費マインドは上がってくるとみている。ただし、旅行がまた始まると、百貨店などのショッピングはむしろマイナスの影響が出るかもしれない。                   |
|                |             | スーパー（経営者）                                  | ・豪雪から春になり、さらに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、気持ちも上向き客の動きも良くなる。   |
|                |             | コンビニ（経営者）                                  | ・来客数が戻らず低い営業数値となっているが、客単価や買上点数は前年同期を上回ってきている。徐々に上向きに転じているのではないかと期待はしているが、いずれにせよ客の出足いかんである。                                     |
|                |             | コンビニ（経営者）                                  | ・冬よりは良くなるが、イベント等の状況次第では厳しい状況になる。先が全くみえない。  |
|                |             | コンビニ（経営者）                                  | ・季節要因もあるが、新型コロナウイルス感染者の減少が来客数及び販売量の増加に大きく影響すると推測される。   |
|                |             | コンビニ（経営者）                                  | ・現在は新型コロナウイルスの影響で人が動いていないが、新規感染者の減少で落ち着いてきたことと、暖かくなっていくことにより、少しずつ人出が戻ってくるとみている。  |
|                |             | コンビニ（エリア担当）                                | ・緊急事態宣言解除による消費マインド拡大が予測される。また、前年は3～5月と大きく売上を落としていたため前年比では売上は上がる。   |
|                |             | コンビニ（エリア担当）                                | ・春～夏の前最盛期へ向かう時期になる。また、人の移動も始まる。  |
|                |             | コンビニ（店長）                                   | ・2～3か月先、ワクチンが各自自治体に配られ安心感も出てきて、人が出てくるようになれば、前年比では相当改善されていくのではないかとみている。そういう方向に向かうよう、皆で協力して感染対策をしながら活動していければいいのではないかと。           |
|                | コンビニ（店長）    | ・新型コロナウイルス感染対策のワクチンの普及に期待している。             |  |
|                | 衣料品専門店（経営者） | ・春らしくなり、新型コロナウイルスの終息が少しずつ見えてくれば、購買意欲も出てくる。 |  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-------------------------|--|
|    |          | 家電量販店（店長）               | ・ワクチン接種が始まってくれば、安心感から消費が増えたとみている。  |
|    |          | 家電量販店（従業員）              | ・東京オリンピックが開催されるという前提だと、テレビ、レコーダー関係が間違いなく上向きになっていく。新型コロナウイルスワクチンの接種が進んでいけば、アウトドア関連商品も動きが活発になってくるので期待できる。  |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）             | ・4月末に新型車の発表もあり、発表に向けた事前活動も順調に進んでいる。今後商談確約を得られれば、新型車納期にあわせて売上につながっていくとみられる。   |
|    |          | その他専門店〔酒〕（経営者）          | ・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種等、状況が改善される動きを期待している。逆にこれ以上悪くなれば、飲食関連や中小企業の一般流通販売が維持できないのではと危惧している。  |
|    |          | その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当） | ・新年度を迎えるに当たり、流通を始め物の動きは今よりは格段に良くなる。しかし、前年比での実績ベースでどれくらいまで上げられるかは未知数である。春先の感染者数によって大きく変わってくるとみているが、消費者の我慢も限界がきている。行動規制がもう少し緩くなればバブルのような大きな消費行動に走るのではないかと予想している。 |
|    |          | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）  | ・新型コロナウイルス感染症防止のための対策等が解かれることにより、車両移動が増加し、販売量が増加することを見込んでいる。   |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）   | ・新型コロナウイルス感染者の減少やワクチンの普及により、今後消費マインドが戻ってくることが予想される。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）            | ・ワクチン接種が始まったことと、感染者が少し減少したということで、今よりは多少客が来るのではないかと期待している。しかし、外食ということ自体が客の日常から失われてしまったのではないかと心配もある。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）            | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まってきているので、それに期待しているが、やはり時間は掛かる。3月は歓送迎会があるので、一番悪いときと比べれば若干良くなるのではないかとみている。   |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）             | ・先のことは見通せない現状ではあるが、新型コロナウイルス感染が収束しつつあるとみられるので、今後の景気は良くなってくると期待したい。   |
|    |          | 観光型旅館（経営者）              | ・1～2月は最悪だったので、暖かくなり感染状況も落ち着けば多少は今より良くなるのではないだろうか。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）              | ・3月7日に緊急事態宣言が全面解除される可能性が大きい。Go To Travelキャンペーンも限定的に再スタートし、旅行者が感染防止を意識しながら動き出す可能性が高くなりつつある。   |
|    |          | 旅行代理店（従業員）              | ・緊急事態宣言が解除され、Go Toキャンペーンが復活すればやや良くなる。それ以外に良くなる要素は考えづらい。  |
|    |          | タクシー運転手                 | ・客と話をしている「緊急事態宣言解除」と「ワクチン接種が始まる」というワードを多く耳にするようになったことから、新型コロナウイルスに対する恐怖心が薄れてきていることが推察される。それが今月の営業回数増加につながっているとみられる。高齢者への接種が終われば、コロナ禍前に少しずつ戻ると考えられる。            |
|    |          | 通信会社（営業担当）              | ・これからは、会社員、学生も自宅でのオンラインでの会議、セミナー、講義、補習授業等へ参加することが当たり前となり、インターネットを中心とした新しい生活様式が標準化していくことが予想される。このため通信需要はますます増えていくとみている。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）              | ・新型コロナウイルスワクチンの接種が予定どおり始まれば、今よりも市場に動きが出るとみている。   |
|    |          | テーマパーク（職員）              | ・新型コロナウイルスや地震が落ち着き、来客が増え、購入率の増加にもつながることを期待している。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                 | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-----------------------|---|
|    |          | 観光名所（職員）              | ・現在、舟下りは予約客のある日のみ営業しているが、3月からは土日月と3日間は予約がなくても営業するという方向に向いている。店もこの営業日にあわせて開店するので、休業日数が減ることになる。徐々にではあるが向上になりつつある。また、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、少しずつ良い方向に向かっているという感じがする。振り客も営業日にあわせて来るようになっており、まだ関東方面、関西方面までは広がっていないが、近県からの客が増えている。やや持ち直してきている感じがある。 |
|    |          | 観光名所（職員）              | ・新型コロナウイルスの感染状況が改善することが条件となるが、気候が良くなり、花見客などで来場者自体は増加することが予想される。前年は自粛期間で花見ツアーが全てキャンセルとなったが、今年は開催されることを切に願っている。   |
|    |          | 美容室（経営者）              | ・2～3か月後になれば、一般の人への新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるので、そうなれば徐々に安心感も出てきて、客も戻ってくるとみている。   |
|    |          | その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員） | ・来場者数の急増はないが、現在来場している1年以内に住宅購入を検討するとしている客に加えて、2～3年以内で検討する客の来場が増加することを見込んでいる。  |
|    |          | 商店街（代表者）              | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が多少増えてくると、暖かくなることにより、気持ちも和らいてくるのではないかとことから期待している。  |
|    |          | 商店街（代表者）              | ・卒業、入学の時期がこれからくるので大いに期待しているが、現状では商店街を訪れる人の数、各店舗への来客数が減っている。今後は個店の売上維持に努めていきたい。  |
|    |          | 商店街（代表者）              | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるものの、当面は新型コロナウイルス感染の不安は払拭されず、外出を控え消費を抑える傾向が続くとみている。   |
|    |          | 商店街（代表者）              | ・全国的に自粛が解除されるので、先行きの不安感は少なくなる。しかし、急激な緩和やGo To Travelキャンペーンの再開等は逆にその後のリバウンドへの不安にもつながる。   |
|    |          | 商店街（代表者）              | ・景気が低迷した状態はしばらく続く。  |
|    |          | 一般小売店〔書籍〕（経営者）        | ・今は全体的には消費はあふれているという印象を受ける。しかし、株価が非常に上がっているということで、若者は株に金を回しており、小売業の消費マインドは更に落ちていくのではないかとみている。   |
|    |          | 一般小売店〔医薬品〕（経営者）       | ・4～5月に掛けてのワクチンの接種状況が非常に曖昧なので、ワクチン接種が進むまでは、現在の非常に悪い状態が続くとみている。   |
|    |          | 一般小売店〔酒〕（経営者）         | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されたとはいえ、この状況が好転する兆しは全く見えない。助成金もいつまでもらえるか分からないような状況でどう経営を続けていくのか苦境に立たされている。   |
|    |          | 一般小売店〔医薬品〕（経営者）       | ・報道されている内容から考えると店の売上や来客数はどんどん低下していきそうなものだが、実際はそうっていない。何らかの要因で景気は維持されているようである。   |
|    |          | 百貨店（買付担当）             | ・良くなるのも悪くなるのも新型コロナウイルス次第である。今の状況が続けば新型コロナウイルスと共存することがふだんの生活となり、元に戻ることはなくてもある程度の消費動向は回復すると考える。   |
|    |          | スーパー（店長）              | ・売上はほぼ横ばいだが、来客数の減少が続いていることが気になっている。   |
|    |          | スーパー（企画担当）            | ・小売業に関しては、まだコロナ禍で内食需要があるので景気は良い。2～3か月はこの状況は変わらないとみている。  |
|    |          | コンビニ（経営者）             | ・今度、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まる。地区の全員の接種が終わればどう変わるか期待するところはあるが、それまでは横ばいとみている。  |
|    |          | コンビニ（エリア担当）           | ・スーパー、ドラッグストアなどの一部業態のみ好調に推移している。今後は前年比では厳しい状況になることが予測される。   |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）           | ・3月は小中高校の制服で何とかしのげるが、新型コロナウイルスのワクチン接種を早急に行い、人出が増えることを期待している。  |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）           | ・春夏物の実売期となるが、例年と比べると来店予約される方が少なく、スローペースになると予測される。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------|---|
|    |          | 衣料品専門店（店長）           | ・一般の人へのワクチン接種がある程度進み、企業の出張等が解禁されたり、旅行に出掛ける人が少しずつ増えたりしてくれば回復の兆しが見えてくるが、現状をみる限り現在の状態が続くことが予想される。  |
|    |          | 衣料品専門店（総務担当）         | ・コロナ禍の影響は大きく、外出しての購買を極力控える傾向が続いているため、現在の状況が続くとみている。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）          | ・半導体の不足により納期の掛かる車が多い。この状況はしばらく続く。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）          | ・新型コロナウイルス、半導体不足、2月中旬の福島沖地震などで新車は長納期になりつつある。新車が登録にならないので下取り車が入庫しない。下取り車が入庫しないので、中古車市場の動きが鈍い。頼りになるのはサービス売上だが、昨今の若者の自動車離れや高齢者の免許返納により、保有車両の絶対数が減ってきている。新車の需給が改善されない限り、現状維持若しくは悪くなることが予想される。 |
|    |          | 乗用車販売店（本部）           | ・特定の車種のみオーダーが集中する傾向が強く、生産が全く追いついてこない。反面、既存車両は不人気傾向が色濃く、総数を押し上げるまでもいかない。辛うじてサービス売上が前年比100%なのが救いである。  |
|    |          | 住関連専門店（経営者）          | ・3か月先は、ある程度新型コロナウイルスワクチンが普及し、経済活動がこれまでよりは活発になるので、景気も少しずつ上昇するとみている。  |
|    |          | 住関連専門店（経営者）          | ・とりわけ好材料も見当たらない現状のまま推移するとみている。  |
|    |          | その他専門店〔靴〕（従業員）       | ・新型コロナウイルス対策を講じているが、集客は増えてこない。  |
|    |          | 高級レストラン（スタッフ）        | ・新型コロナウイルスに対しての正しい知識が広がらなければ夜の外出は増えず、夜の予約は入らず、売上も上がらない。昼はアルコールの提供がほとんどないので死活問題である。昼の営業だけでは運営を続けられない。  |
|    |          | 高級レストラン（支配人）         | ・前年10月が新型コロナウイルスの第2波が落ち着いた辺りだったので、今月も第3波が収まってきたところで、その頃と同程度の来客はあった。しかし、新型コロナウイルス次第でどうなるか分からず、先行きが不安である。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）         | ・良くなる要素も人が動くような雰囲気もない。悪い状況は変わらない。   |
|    |          | 観光型ホテル（スタッフ）         | ・株価は上昇しているが、一般の生活者の生活状況は新型コロナウイルスが終息しなければ変わらない。   |
|    |          | 観光型旅館（スタッフ）          | ・新型コロナウイルスのワクチンが徐々に出てきており、明るい材料も目立っているが、一般に浸透するにはまだまだ時間が掛かる。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）           | ・ワクチン接種、Go To Travelキャンペーンの再開、東京オリンピック開催など国家プロジェクトの実施が大きな鍵となる。いずれも遅れや中止などが決定された場合には、観光業界の将来の景気は確実に今よりも悪化する。   |
|    |          | タクシー運転手              | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及次第である。  |
|    |          | 通信会社（営業担当）           | ・東京オリンピック需要で消費動向は上向きになるとみている。建築、建設業界においては、中国から部材が入手できず、工期延期、キャンセルがあり厳しい状況と聞いている。貿易の拡大が景気回復の鍵と考える。2～3か月先も変わらない。  |
|    |          | 通信会社（営業担当）           | ・好転するような材料に乏しい。   |
|    |          | 遊園地（経営者）             | ・3月のオープン以降は、前年ほど厳しいことはないともみているが、いずれにしても新型コロナウイルスの感染状況次第である。   |
|    |          | 競艇場（職員）              | ・この業界は一度落ち込むと回復するまで時間が掛かる。イベント等で来場促進を促したいが、このご時世それもまた厳しい。今は常連客を大切にしたいので2～3か月たっても状況は変わらないとみている。  |
|    |          | 美容室（経営者）             | ・新規客はほとんどいないので変わらない。  |
|    |          | その他サービス〔自動車整備業〕（経営者） | ・春が来て暖かくなり、年度が替わり、ワクチン接種が順調に進めば回復してくると期待しているが、3月の卒業、就職、異動、転勤の需要は全くない状態である。  |
|    |          | 住宅販売会社（経営者）          | ・新展示場を建築中で、新規受注拡大を進めている。  |

| 分野                         | 景気の先行き判断 | 業種・職種                  | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------------------|----------|------------------------|--|
|                            |          | その他住宅〔リフォーム〕（従業員）      | ・コロナ禍が長期化するなかで、畳、ふすま、障子の建具交換並びにハウスクリーニングの問合せが増えている。在宅時間が長くなることで快適に生活するための需要が増えるともみている。   |
|                            |          | 一般小売店〔医薬品〕（経営者）        | ・新型コロナウイルスと天候の影響で来客数が落ち込んでいる。外に出ないことに慣れてしまっている状態から回復することは考えにくい。  |
|                            |          | スーパー（経営者）              | ・3月もこれまで同様に観光、飲食、交通機関や小さい会社等は依然厳しい状況が続くと聞いている。一方、新型コロナウイルスワクチン接種が医療関係者から始まり、緊急事態宣言も解除される見通しなので、自粛疲れもある消費にも幾分かの明るい兆しを期待している。だが、各種支援制度等で事業を何とか継続してきたところは、自粛制限の解除で支援等がなくなり、経営環境はこれから一気に限界に近づいていくのではと懸念している。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念もまだ大きく、ワクチン接種も始まったばかりなので、人の動きは鈍く、消費の推移は一段下がるのではと危惧している。 |
|                            |          | スーパー（営業担当）             | ・内食需要の高まりにより売上は確保できているが、テイクアウトの需要拡大や収入の減少等により売上は悪化する可能性がある。  |
|                            |          | スーパー（営業担当）             | ・来客数を伸ばすためには、低価格での集客販促を強化していく。   |
|                            |          | コンビニ（経営者）              | ・今年に入って1～2月と連続で来客数が前年比90%付近で推移しており、先行きが不安である。  |
|                            |          | 衣料品専門店（店長）             | ・ビジネスではリモートやビジネスカジュアルスタイルが浸透しつつあり、今後更にスーツ離れが加速すると予測される。  |
|                            |          | 家電量販店（店長）              | ・新型コロナウイルスの影響で、客も今後の景気動向に不安を感じているようである。過剰な買物を控えており、単価の高いものの買物も慎重になっている。  |
|                            |          | その他専門店〔食品〕（経営者）        | ・新型コロナウイルス感染症の終息がみえなければ県外客の誘客は困難である。ワクチン接種が始まるが、万人に行き渡るまで半年以上掛かるとみられ、安心できない。ゴールデンウィークの繁忙期も望みは薄い。その頃には感染者数が増加していないことを願う。  |
|                            |          | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当） | ・県内でも新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、消費者の自粛もまた強まるとみられる。   |
|                            |          | 通信会社（営業担当）             | ・コロナ禍による影響は甚大である。ワクチンの投与が開始されたが終息までには、向こう2年くらい掛かると考えられ、景気は当面悪くなるとみている。   |
|                            |          | 通信会社（営業担当）             | ・新型コロナウイルスの感染が沈静化しないと厳しい。  |
|                            | ×        | スーパー（経営者）              | ・第4波懸念で財布のひもが固く締まってきていて、なおかつ地元企業に倒産の傾向が現れ出している。  |
|                            | ×        | スーパー（店長）               | ・前年3～5月は非常に売上が伸びた時期なので、前年実績ベースだと数値的に厳しくなる。   |
|                            | ×        | スーパー（店長）               | ・現在の売上自体が悪くなるのではなく、売上が良すぎた前年の数字を割り込んでしまう可能性を危惧している。  |
|                            | ×        | 住関連専門店（経営者）            | ・現在コロナ禍で営業がなかなかうまく動けない。また、テレワーク等を活用しながら手当はしているが、なかなか受注に結び付かない。受注量の減少によって悪くなる。  |
|                            | ×        | 高級レストラン（経営者）           | ・良くなる要素は特にない。  |
|                            | ×        | タクシー運転手                | ・コロナ禍にあって、我々の生活レベルは落ちたままで浮上してこない。ワクチン接種が始まって同じ傾向は続くと思う。政府には早急に対策を実施してもらいたい。  |
|                            | ×        | 設計事務所（経営者）             | ・コロナ禍における経済の縮小に加え、震災から10年を経て復興特需が終了し関連する建設が一段落した今、一気に景気が悪化すると予測している。   |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(東北) |          | 食料品製造業（営業担当）           | ・ワクチン接種が始まることに加え、3月は人が移動する月であること、4月以降は東北デスティネーションキャンペーンもあることから、大いに期待したい。   |
|                            |          | 金属製品製造業（経営者）           | ・新型コロナウイルスの感染状況、特にワクチンの効果検証が出てくると、それによって景気の動向が変わると考えている。良い結果が出れば、受注状況の改善が更に進む。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------|---|
|    |          | 電気機械器具製造業（企画担当）      | ・半導体製品の受注価格、販売価格は、しばらくは安定し、上昇もすると考えられ、会社業績や一般社員の景気も良くなるとみている。   |
|    |          | 電気機械器具製造業（営業担当）      | ・ワクチン接種拡大により新型コロナウイルスの影響がなくなると期待している。   |
|    |          | 建設業（従業員）             | ・交渉中の複数事業の見通しがつく時期になる。  |
|    |          | 金融業（広報担当）            | ・前年は自粛した春季の祭りが今年開催される方向で進んでいる。ワクチン効果はもう少し先になるとみられるが、Go Toキャンペーンが再開されると第3波収束への期待感もあいまって消費は盛り上がりを見せるものと予想している。                      |
|    |          | 広告業協会（役員）            | ・現在のような感染者数の減少状況が続けば、観客数は制限されてもプロ野球やJリーグが開幕され、前年は中止に追い込まれたイベント、地域の祭り、Go Toキャンペーンなどが復活し、景気上昇ムードが醸成される。                             |
|    |          | 広告代理店（経営者）           | ・当社の業績が前年比で8～9割まで持ち直してきている。   |
|    |          | 経営コンサルタント            | ・感染者の減少傾向に加え、ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルス終息への希望が消費の背中を押すことを期待している。  |
|    |          | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わっていく。新型コロナウイルス感染症にかかる人が減っていく状況が続けば景気は良くなる。また、ワクチン接種の効果が出てくれば、それによっても景気が良くなる。                                  |
|    |          | その他企業〔企画業〕（経営者）      | ・国や県の経済支援キャンペーンに期待している。   |
|    |          | 農林水産業（従業者）           | ・春の農作業が始まった。降雪は多かったが、果物の開花は例年どおりの予想なので、収穫には期待が持てる。  |
|    |          | 食料品製造業（経営者）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、すぐに人の動きが良くなるとは思えない。少し時間が掛かるため、状況はそれほど良くならない。  |
|    |          | 食料品製造業（営業担当）         | ・新型コロナウイルスのワクチン接種開始で状況が好転してほしいが、現状では良い要素が見当たらないので、悪い状況に変わりはないとみている。   |
|    |          | 窯業・土石製品製造業（役員）       | ・新型コロナウイルスが終息しない状況では好転は期待できない。市民への迅速なワクチン接種の広がり期待している。東京オリンピックが開催できるかどうかも景気判断には重要な要素である。当業界は次年度も前年比85％程度の需要見込みと厳しい状況である。          |
|    |          | 輸送業（経営者）             | ・2～3か月先も景気はまだ回復していないと予想する。6か月先であれば、ワクチン接種が一般国民にも実施されていると思うので期待をしている。  |
|    |          | 通信業（営業担当）            | ・年度末に掛けてまだ厳しい状況は続くと思われるが、年度明けに向けて新たな施策を講じていく必要がある。  |
|    |          | 広告代理店（経営者）           | ・ワクチン接種が進み、Go Toキャンペーンが復活されれば好転のチャンスは出てくる。  |
|    |          | 司法書士                 | ・現時点でやや低迷しているものの、住宅を購入する層の経済動向は底堅く、コロナ禍においてもさほど大きな変化がないように見える。  |
|    |          | 公認会計士                | ・小売業、飲食業等は新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、前の水準に戻るのには難しく、低空飛行のまま推移するとみている。建設業は全体的には好調が維持されそうであるが、全体的には変わらないとみている。                            |
|    |          | コピーサービス業（従業員）        | ・新型コロナウイルスに慣れてきたせいか、特別な対策をするでもなく、コロナ禍前と変わらない感じがする。多少、前年に出張関係が減ったことで旅費の予算が余っている客が年度末に向けて別の科目へ振り替えて購入する動きが出てきているが、大きく販売額を増やすほどでもない。 |
|    |          | その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者） | ・緊急事態宣言が解除されたとしても模様眺めが続くのではないか。Go To Travelキャンペーンの再開のめどは現時点で立たないが、それが反転のきっかけになるかもしれない。  |
|    |          | その他企業〔協同組合〕（職員）      | ・見積案件及び受注量は微増傾向にあるが、依然として同業他社との価格競争が厳しい。加えて長短等により納期対応に応えられない場面が目立ち、売上増には結び付いていない。   |
|    |          | 農林水産業（従業者）           | ・大雪による残雪の長期化により、今後の農作業の適期管理が難しくなり、ひいては収入減少につながる事が予想される。   |

| 分野               | 景気の先行き判断 | 業種・職種             | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------------------|----------|-------------------|---|
|                  |          | 出版・印刷・同関連産業（経営者）  | ・繁忙期が終了するので、5月以降は新型コロナウイルス終息次第になる。  |
|                  |          | 出版・印刷・同関連産業（経理担当） | ・受注残が前年より10%以上低くなっており、景気はやや悪くなるとみている。   |
|                  |          | 建設業（企画担当）         | ・新型コロナウイルスのワクチンが広く行き渡らない限り、景気が劇的に回復することはない。また、一部地域での緊急事態宣言解除の前倒しは再び感染増加につながる可能性が高い。   |
|                  |          | 金融業（営業担当）         | ・新型コロナウイルス感染が収束するまでは、厳しい状況が続くとみられる。   |
|                  | ×        | *                 | *   |
| 雇用<br>関連<br>(東北) |          | -                 | -   |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・依頼があった13日の福島沖地震の被災対応派遣業務には、短期だけでなく3か月の中期依頼も含まれている。また、例年の年度末需要も前年並みには届かないまでも案件化してきているため、2～3か月先の景気は悪くない。                                   |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・ニューノーマル時代に向けて、中堅中小企業が新しい事業に着手し始めているケースが増えてきている。それに伴い、人材を採用する動きも徐々に出ており、問合せが増えてきている。派遣ではなくて正社員で採用したいとか、新卒採用を復活させるなどの話が、それほど業界に偏りなく出てきている。 |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・ワクチン接種開始、新型コロナウイルス感染の収束、東京オリンピックなど、流動的ではあるが回復の方向に向かうと考えている。  |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）    | ・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、感染者数減やワクチン接種開始への期待により、前年ほどの落ち込みもなく、多少上向き感が出てくるとみている。ただし、本来の水準に戻るまでの景気回復状態になるとはいえない。                                   |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）    | ・東京オリンピックの行方次第である。また、首都圏の花見シーズンに感染者が増加しなければ、大規模な感染まん延を免れた地方では人の動きが一気に活発になるとみている。前年は中止となったイベント等も入場制限などで新たな様式を探りながら開催される方向になっている。           |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・求人数や企業の事業計画の前向きな感触から、今年の10月頃からは良くなっていくとみている。全国的に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除されていない点を鑑みると、2～3か月で大きく改善することはないと想定している。                               |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・新型コロナウイルスによる様子見感がある。また、地震の影響が出てくる可能性もある。   |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）        | ・求人活動や求職活動に大きな変化が生じる理由がない。  |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・雇用調整助成金の新規の休業開始の要請が、年明けからやや増えている印象を受ける。減らない状況となっている。   |
|                  |          | 学校〔専門学校〕          | ・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は変わらない。   |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・地域を下支えしていた大型工事が終わりつつあり、今後の宿泊、飲食業への影響が懸念される。  |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・年度末の期間満了による退職で求職者数が増えるのではないかとみている。求人数は多くないことから、有効求人倍率が下がるのではないかとみている。  |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・前年4月から今年1月までの新規求人数、有効求人数の動きを見ると、いずれも前年同月比で約20%減少している。しばらくこの傾向は続くと思われる。   |
|                  | ×        | 人材派遣会社（社員）        | ・新型コロナウイルスと東京オリンピックの影響で、景気の更なる悪化が予想される。   |
|                  | ×        | アウトソーシング企業（社員）    | ・現状が大きく変わらない限り、人が集まるのが難しいため、厳しい状況は続く。   |

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                      | 景気の先行き判断 | 業種・職種        | 景気の先行きに対する判断理由   |
|-------------------------|----------|--------------|--|
| 家計<br>動向<br>関連<br>(北関東) |          | コンビニ（店長）     | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでくると、人の流れも良くなると思うので、景気もやや良くなっていく。                  |
|                         |          | 一般レストラン（経営者） | ・緊急事態宣言が解除され、すぐには戻らない客足が徐々に戻れることを期待したい。3月の年度切替えでの食事会等の予約が、少しずつ入ってきている。 |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-------------------------|--|
|    |          | 一般小売店〔土産〕<br>(経営者)      | ・数少ない来店客に話を聞くと、「2月になってしまったので、しびれを切らして初詣に来た」、「修学旅行が中止になってしまったので、子供を連れてきた」、「大学生の卒業旅行で」等、皆、今このときにしかできないと判断して観光に来ていた。2月25日現在、首都圏の新型コロナウイルス感染者数は下げ止まっており、それに対する具体的な打開策もなく、地元業者や都内の取引先などは、終わりの見えない閉塞感を口にする人が多い。当店含めて、皆我慢の限界が近いのではないかと。高齢者へのワクチン接種も4月末より本格化するとのことなので、個人がそれぞれ感染防止対策を厳しく行い、行動範囲を広げていく時期なのではないかと。希望も込めて、やや良くなるとしている。 |
|    |          | 一般小売店〔青果〕<br>(店長)       | ・緊急事態宣言が解除されれば、ホテル、結婚式場、飲食店等の営業が始まるので、納品分が増えていく。   |
|    |          | コンビニ(経営者)               | ・緊急事態宣言が解除され、来客数もやや増えるので、多少は良くなる。  |
|    |          | コンビニ(経営者)               | ・3月は緊急事態宣言の解除も見込まれるので、人の動きが活発になりそうな気がする。Withコロナも浸透し、新型コロナウイルスの感染に注意しながらの生活が定着した感があるので、来客数が増えることを期待している。  |
|    |          | コンビニ(店長)                | ・新型コロナウイルスの収束のめどがつき、人出も通常に戻ることを期待する。   |
|    |          | 家電量販店(店員)               | ・新型コロナウイルスの影響が徐々に弱まり、経済が潤沢に回り始めれば、現状よりは好転する。東京オリンピックが開催されれば、映像関連商材が伸びると予想している。   |
|    |          | 一般レストラン〔居酒屋〕<br>(経営者)   | ・ここ数日で、来客数などは若干増えている。団体の歓迎会は見込めないものの、少人数での宴会はある程度需要があると予測している。   |
|    |          | スナック(経営者)               | ・3月から店を再開する予定で、少しは売上も伸びてくると期待している。いまだ新型コロナウイルスの収束の見通しが立たないなか、果たしてどれだけの客が来店してくれるか、心配な要素はたくさんある。   |
|    |          | その他飲食〔給食・レストラン〕<br>(総務) | ・新型コロナウイルス感染拡大が収束の見通しになることを期待している。仮に収束しても、リモートの活用が定着しており、出張者や研修参加者等向けの事業所給食の喫食数が増えることにはならない。新年度からの新規受託先を加えて、総体では喫食数が増える見込みである。レストラン関係はどうしても戻りが遅くなるとみている。回復する際も利用者の消費欲求と外出自粛の綱引きとなり、支持される運営方法を提案していくことが更に求められる。   |
|    |          | 都市型ホテル(スタッフ)            | ・相変わらず、宴会の受注はほとんどない状況だが、新型コロナウイルス感染者数の減少に合わせて、宿泊稼働率は、前月33%から今月52%へと少しずつ上がってきている。また、レストランも宴会同様ディナータイムは厳しいが、ランチタイムは利用客が少しずつ戻ってきている印象である。テイクアウト販売でも一定の注文を受けており、売上の下支えとなっている。  |
|    |          | 都市型ホテル(営業担当)            | ・県独自の緊急事態宣言も解除になり、また、人の動きも出て稼働率は上がる。ただし、新型コロナウイルスの感染者数が見込まれれば、不安要素は非常に大きくなる懸念もあるが、解除後の3か月後なので、現在よりは良くなる見通しである。   |
|    |          | 旅行代理店(経営者)              | ・新型コロナウイルス感染者数の減少とGo To事業の再開により、旅行需要が回復すると思われる。  |
|    |          | 旅行代理店(所長)               | ・4月から開始されるワクチン接種により、更なる感染者数の減少や病床使用率の改善が見込めるため、期待感を持っている。あわせて、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、更に改善されるとみている。  |
|    |          | 通信会社(経営者)               | ・新型コロナウイルスの感染者数増減に左右されると思うが、このまま新型コロナウイルスが落ち着けば、景気は良くなる。   |
|    |          | 通信会社(営業担当)              | ・緊急事態宣言解除の効果としては、消費や需要回復が見込める。ただし、在宅勤務等の影響で、一部業態の業績回復は難しいと思われる。  |
|    |          | テーマパーク(職員)              | ・春休みやゴールデンウィークなどの特別な日以外は、従来のような入園者数は期待できない。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|----------------|--|
|    |          | 設計事務所（所長）      | ・新年度を迎え、新たに前向きな動きをするようになるのではないかと。  |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の進捗状況により、変わるのではないかと。  |
|    |          | 一般小売店〔精肉〕（経営者） | ・先の見通しは難しいが、新型コロナウイルスワクチン接種の話が、徐々に近付いている。皆が安心して接種できる時期まで、まだ先は長いのではないかと。  |
|    |          | 百貨店（営業担当）      | ・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスのワクチン接種など、明るい話題が出始めているが、ワクチン普及による安心感が社会全体に醸成されるまでには、しばらく時間がかかる。消費マインドの回復はまだ先である。  |
|    |          | 百貨店（営業担当）      | ・当県では時短要請が一部の地域を除き解除されたが、すぐに流れが変わると思えない。ワクチン接種との兼ね合いもあり、今後の見通しが立たない。   |
|    |          | 衣料品専門店（店長）     | ・新型コロナウイルスの感染拡大が、2～3か月先で収束すると思えない。   |
|    |          | 衣料品専門店（統括）     | ・需要は低調に進むのではないかと。景気回復の兆しがみえない。新型コロナウイルスの影響が、今後も続くのかと心配している。  |
|    |          | 家電量販店（店長）      | ・今後の世の中の動き次第だと感じている。   |
|    |          | 家電量販店（営業担当）    | ・東京オリンピックが最大のイベントとして、映像関連の販促に注力している。ホテル関係の備品や通信関係の見直し、除菌関係の提案の取組も強化して、売上を確保していく。   |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）    | ・当地域の自動車産業は半導体不足で少し減産しているようである。受注はほぼ例年並みであるが、これらが正常に動き出すのが、3か月先がどうか分からない。  |
|    |          | 乗用車販売店（販売担当）   | ・2～3か月先の景気は、緊急事態宣言が解除されたとしても、急激に良くなる保証はない。新型コロナウイルスワクチン接種が、高齢者は4月12日からと決まったが、コロナ騒ぎが落ち着いて、全ての人々が安心して出歩けるような状態にならないと、観光地は良くならないので、当然、当社の売上のにも良くない。       |
|    |          | 自動車備品販売店（経営者）  | ・株価や新型コロナウイルスのワクチンの関係で、ムードが良い方向に向かっており、車もやや売れている。今後は、生活ムードがそれにつられる傾向も考えると、先行きはちょっと分からないところである。   |
|    |          | 住関連専門店（店長）     | ・ワクチン接種がいつから始まるかによるが、新型コロナウイルスがすぐに終息すると思えない。巣籠りが続くのであれば、前年よりも悪くなるかもしれない。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）   | ・急に良くなると思えない。イベントもなく、皆リモートやデジタルに変わっていて、もう以前のような活気ある春は来ないのでは、とってしまう。  |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）    | ・Go Toキャンペーンや何らかの経済施策を実施しない限り、この状態は続き、多くの観光関連事業者が倒産する。   |
|    |          | 都市型ホテル（支配人）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種は始まったが、会合や会食等は、いまだ先が見通せない。この先の予約受注も、通年に比べマイナスである。宿泊は、少しずつ戻り始めている。   |
|    |          | 都市型ホテル（副支配人）   | ・宿泊は、スポーツ団体や個人客の予約が伸びてきている。しかし、料飲部門は、宴会や会食などの予約がほぼゼロとなっており、しばらくはこの流れが続くため、全体としては変わらない。   |
|    |          | 旅行代理店（従業員）     | ・新型コロナウイルス次第である。自治体案件で辛うじて食いつないでいるが、単月の支払はなかなかないので、厳しい面もある。  |
|    |          | 通信会社（経営者）      | ・市場に活気がないことは否めない。当社は新型コロナウイルスの影響は受けにくい業種だが、それでも通期で前年比2割ほど売上が落ちている。ただし、物品販売は落ちているものの、手間仕事が増えているため、利益はそこまで減っていない。2～3か月先はまだワクチンも行き渡っていないと思うので、さほど期待はできない。 |
|    |          | 通信会社（局長）       | ・新型コロナウイルスの感染拡大第3波は落ち着きつつあるが、先が見えない状況であることには変わりがない。  |
|    |          | ゴルフ場（総務担当）     | ・新型コロナウイルスの感染状況次第である。  |
|    |          | 競輪場（職員）        | ・全国発売の特別競輪の売上も、ほぼ目標どおりで、他の競輪場の売上もほぼ横ばいで推移している。   |

| 分野                      | 景気の先行き判断 | 業種・職種                | 景気の先行きに対する判断理由   |
|-------------------------|----------|----------------------|--|
|                         |          | その他サービス〔自動車整備業〕（経営者） | ・全ては新型コロナウイルスの影響で、客単価や在庫率の回復は期待できない。   |
|                         |          | 設計事務所（所長）            | ・新型コロナウイルスのワクチンの普及にもよるが、収束するまでは今の低迷が続く。  |
|                         |          | 一般小売店〔家電〕（経営者）       | ・先行きが不安定な状況が続いており、新型コロナウイルスの影響はかなり出ている。小売店は非常に厳しい。   |
|                         |          | スーパー（商品部担当）          | ・新型コロナウイルスの影響が売上に始まって1年が経過し、前年との比較で苦戦が予想される。ワクチン接種など明るい話題もあるが、景気回復まではいかない。   |
|                         |          | 乗用車販売店（販売担当）         | ・2月上旬までは修理も販売も良かったが、それから少しずつ陰りが見えてきて、2月25日時点で、前月と比べて悪くなっている。段々悪くなり、周りも動かなくなっている。   |
|                         |          | 住関連専門店（仕入担当）         | ・巣籠り傾向はまだ継続するとみているが、春の卒業、入学、入社、転居等の催しは抑制される。巣籠り需要はこれらのマイナス要因と相殺されるため、やや悪くなる。   |
|                         |          | その他専門店〔靴小売業〕（経営者）    | ・現状が続く。新型コロナウイルスの感染拡大によって、地方では特に、高齢者を含めて出かけることがタブーの生活になってしまったことが大きな要因である。  |
|                         |          | その他専門店〔燃料〕（従業員）      | ・受注残が減少している。   |
|                         |          | 通信会社（総務担当）           | ・進学、転居等が落ち着き、需要が一段落する時期となるため、やや悪くなる。   |
|                         |          | 美容室（経営者）             | ・ようやく新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、人々の行動制限も緩和され、経済が持ち直すことを期待する。上昇する原油価格を製品価格に転嫁できない根強いデフレ期待が収益を圧迫する。   |
|                         |          | 住宅販売会社（経営者）          | ・不動産関係の引き合いの問合せが、大変少なくなっている。動きが鈍っている感じがする。   |
|                         | ×        | コンビニ（経営者）            | ・イベントがあったものの、幾らも売れなかった。客単価、来客数共に悪い。  |
|                         | ×        | 衣料品専門店（販売担当）         | ・今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるというニュースは、1つ明るい材料である。その他に、生活していく上でのお金の循環型を作るとか、体力を維持させるような具体的な政策や方針が見えていない。今後も国民1人1人がありとあらゆる手段を考えていくしか方法はないのかというぐらいの残念な状況である。東京オリンピックの話よりも、まずは、国民生活の安心安全と、今後の展望を示してほしい。 |
|                         | ×        | 都市型ホテル（経営者）          | ・新型コロナウイルスが消滅しない限り、外食産業は復活できないのではないかと。   |
|                         | ×        | タクシー運転手              | ・当分の間は悪い状態が続きそうで、良くなる気がしない。  |
|                         | ×        | タクシー（経営者）            | ・全体的に動きが悪いので、この先も良くない。   |
|                         | ×        | タクシー（役員）             | ・新型コロナウイルスの影響で、どうにもならない。国、県、市の新型コロナウイルス対策が不平等で、税金を納めるのが本当に馬鹿らしい。   |
|                         | ×        | 通信会社（経営者）            | ・新型コロナウイルス禍で、飲食店に対する支援はあるものの、関わりの深い業種への支援は一切ない。いつ収まるかもみえない状況で、業況は悪化の一方である。   |
|                         | ×        | ゴルフ練習場（経営者）          | ・緊急事態宣言解除後も、元には戻らない。   |
| 企業<br>動向<br>関連<br>(北関東) |          | -                    | -  |
|                         |          | 窯業・土石製品製造業（経営者）      | ・暖かくなって、園芸をする方が増えてくるので、これからは期待できる。   |
|                         |          | 輸送用機械器具製造業（経営者）      | ・半導体の調達のみどが立つ見通しのため、やや良くなる。  |
|                         |          | 建設業（総務担当）            | ・2月の補正予算の効果で今後、工事は増えてくるのではないかと。  |
|                         |          | 経営コンサルタント            | ・緊急事態宣言も解除されて、新型コロナウイルスの感染者、死亡者数に特段の変化がみられなければ、地域的にも上向くのではないかと。  |
|                         |          | 社会保険労務士              | ・巣籠りを余儀なくされている現状の反動で、世の中の活動が多少は活発になる。  |
|                         |          | 食料品製造業（経営者）          | ・新型コロナウイルスのワクチンが普及してくれば売上の回復も期待できると思うが、もう少し時間が掛かるのではないかと。  |
|                         |          | 窯業・土石製品製造業（総務担当）     | ・このところ、変わりなく推移している。  |

| 分野                | 景気の先行き判断 | 業種・職種                 | 景気の先行きに対する判断理由   |
|-------------------|----------|-----------------------|--|
|                   |          | 金属製品製造業（経営者）          | ・これから先のことは全く不明で、とても不安である。  |
|                   |          | 金属製品製造業（経営者）          | ・1～3月が不景気な年は5～6月も悪い。   |
|                   |          | 一般機械器具製造業（経営者）        | ・新規の自動車案件が春に立ち上がる予定だったが、半年ほど延期となった。現状から良くなる見込みが外れてしまい、大きく変わることはない。   |
|                   |          | 電気機械器具製造業（経営者）        | ・現状では、今後についての判断をしかねる。  |
|                   |          | 輸送用機械器具製造業（経営者）       | ・この1～2か月で、若干良くなってきた会社もあるが、相変わらず、どちらとも言えない、やや悪い会社もあるので、2～3か月先のことは、まるで分からない。   |
|                   |          | その他製造業〔消防用品〕（営業担当）    | ・まだしばらくは新型コロナウイルスの影響が残る。   |
|                   |          | 建設業（開発担当）             | ・公共工事主体で売上の95%を占める建設業である。公共工事は前年比19%増と大幅増だが、これは前年の災害復旧工事のため、仕事としては喜んでいられない。当社も前期比10%増の受注があり、有り難い。ただし、建設業は10年来の高齢化の進んだ業種で、これは今後一番の課題なので、取り組みながら、企業の存続を一番に考えていきたい。 |
|                   |          | 輸送業（営業担当）             | ・計画では新生活用品等、特に、白物家電、生活インテリア用品、ベッドの物量が動く予定である。引っ越し便等は前年を上回る予定で、順調に予約も入っている。ただし、新型コロナウイルスの感染が大幅に拡大する場合は、悪影響が出て車両運行計画も厳しくなるかもしれない。                                  |
|                   |          | 司法書士                  | ・現状は次につながる種類ではない一過性の仕事が入っているが、田舎だからか当地域では新型コロナウイルスもほとんど出ておらず、特に、この3か月はほとんど出ていない。このことが良い方向に働いて、やや良い、くらいを維持してくれるのではないかと。   |
|                   |          | その他サービス業〔情報サービス〕（経営者） | ・客の投資意欲は前向きで、特段変化は感じられない。  |
|                   |          | 化学工業（経営者）             | ・受注量や引き合いが低調に推移すると予想している。  |
|                   |          | 電気機械器具製造業（経営者）        | ・4月以降、新規の取引先が見つかって、今は売上が前年の半分以上だが、前年同期の7割くらいまで、2～3割は上がるとみている。ただし、材料、部材が入ってこない、大変なことになるので、今、必死で材料をかき集めているが、どこに聞いても、駄目である。   |
|                   |          | 広告代理店（営業担当）           | ・緊急事態宣言が解除されれば、再び新型コロナウイルス感染の第4波が来て、さすがに持ちこたえられない会社や個人店が多くなる。  |
|                   | x        | 不動産業（管理担当）            | ・来年度の定期契約の減額やテナント退去による売上減少がある。それに代わる新規取引先の交渉も難航しており、売上減少が見込まれる。  |
| 雇用<br>関連<br>(北関東) |          | -                     | -  |
|                   |          | 人材派遣会社（経営者）           | ・今のところ求人数が多く忙しいので、来月は良くなる。   |
|                   |          | 人材派遣会社（社員）            | ・人が動く季節になってきたので、3月に入ればある程度、旅行やGo To Travelキャンペーンにかかわらず、人の動きが改善する。ホテルの稼働率も、徐々に上がっていくのではないかと。また、新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたので、心理的な効果もあると願っている。                          |
|                   |          | 人材派遣会社（管理担当）          | ・自動車部品の生産計画ができ上がり、派遣請負が増えると予測しているため、やや良くなる。  |
|                   |          | 職業安定所（職員）             | ・県内の緊急事態宣言解除に伴い、飲食業や宿泊業の休業解除がみられるため、やや良くなる。  |
|                   |          | 学校〔専門学校〕（副校長）         | ・新型コロナウイルスの感染拡大が収まりつつあり、その安心感から、経済も動き出したように感じる。  |
|                   |          | 人材派遣会社（社員）            | ・製造業を中心に3月末の人員整理は進んでいるものの、例年と比較して派遣依頼数が減少している。   |
|                   |          | 職業安定所（職員）             | ・直近3か月の新規求人数は、ほとんど変わらない状況で推移している。  |
|                   | x        | -                     | -  |
|                   |          | *                     | *  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----|----------|-------|----------------|
|----|----------|-------|----------------|

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                          | 景気の先行き判断  | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------------|-----------|---|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(南関東) |           | 一般小売店〔生花〕<br>(店員)   | ・新型コロナウイルスの感染状況が幾らか良くなって落ち着いてくれば外出もする。4月は入学式、入社式、5月は母の日があり、そろそろイベントも入ってくるのではないかといいことで、期待している。期待感だけだが、何とかこのまま少しでも収束に向かってほしい(東京都)。                          |
|                             |           | その他飲食〔居酒屋〕<br>(経営者)   | ・緊急事態宣言が解除されれば、皆の意識が変わり、景気も上向くと予想している(東京都)。   |
|                             |           | 都市型ホテル(スタッフ)  | ・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開されれば回復する。   |
|                             |           | 旅行代理店(従業員)  | ・3月になり、緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーン等も再開されることが見込まれる。キャンペーンが実施された場合には良くなると予想している(東京都)。  |
|                             |           | 旅行代理店(販売促進担当)   | ・現在は東京都などに3月7日まで緊急事態宣言が再発出されている。新型コロナウイルスの感染者数も減ってきているものの、なかなかそれ以上は減っていない。2~3か月後は、春の旅行シーズンを迎えるので、緊急事態宣言が出ていなければ、客も旅行に行きたくなる、又は出かけたくなると思うので、今よりは良くなる(東京都)。 |
|                             |           | 旅行代理店(総務担当)   | ・緊急事態宣言が解除され、また、Go To Travelキャンペーンが再開されれば、今まで外出を控えていた人が旅行に行くことと推測される(東京都)。  |
|                             |           | 観光名所(職員)  | ・2~3か月後になると春を迎えるので、今よりは良くなるが、新型コロナウイルス禍のなかでどうなるかは分かっていない(東京都)。  |
|                             |           | ゴルフ場(経営者)   | ・新型コロナウイルスワクチン開発の順調さと、東京オリンピックが控えていることから、良くなる。無観客にはなるかもしれないが、開催したほうが選手にとっては最適である。   |
|                             |           | 商店街(代表者)  | ・気候が良くなり新型コロナウイルスに対しては有効に働くこと、ワクチン接種が進行すること、また、東京オリンピックが開催されることから、人々のマインドが少し消費に傾くのではないかと推測される。ただし、今のところいずれも希望的観測が含まれていることは否めない(東京都)。                      |
|                             |           | 一般小売店〔家電〕<br>(経理担当)   | ・新型コロナウイルスの感染状況が変われば、客も戻ってくると思うが、客の購買力に差が出てくるのではないかと推測される。  |
|                             |           | 一般小売店〔祭用品〕<br>(経営者)   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種により、更に動き出すと期待している。   |
|                             |           | 一般小売店〔文房具〕<br>(経営者)   | ・緊急事態宣言が解除になるか否かが、業務需要関連の売上に大きく影響するが、学童用品は新学期が間近ということもあり、比較的動きが好調である。また、遠方よりは近隣の文具店で購入する傾向もあるため、売上や来客数はやや持ち直す(東京都)。                                       |
|                             |           | 一般小売店〔傘〕(店長)  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種や感染者数の減少により、どん底の現在よりは良くなると思うし、そうなってほしい。  |
|                             |           | 一般小売店〔茶〕(営業担当)  | ・緊急事態宣言が3月7日に解除されれば少しは良くなる。イベントも開催され、人が動き販売も増えると期待している。とにかく人が動かないことには売れない(東京都)。   |
|                             | 百貨店(売場主任) | ・この先緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスワクチンが行き届いてくれば、マインドも改善し、客も店舗に来てくれるのではないかと推測される。食料品は来客数が非常に大きな売上の元であるので、その意味では今後は期待できる(東京都)。 |   |
|                             | 百貨店(売場主任) | ・緊急事態宣言が解除されれば、来月以降の来客数、販売量は緩やかに回復していくと予想している。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、気温が高くなるにつれて、来客数、販売額共に回復していくと希望をもちたい(東京都)。        |   |
|                             | 百貨店(総務担当) | ・今後緊急事態宣言が解除された場合、消費に対して前向きな雰囲気が出てくる。一方、収入が減少している生活者も多く、節約志向は継続するため、個人消費の大幅な改善には時間が掛かる(東京都)。                        |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種        | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|--------------|--|
|    |          | 百貨店（広報担当）    | ・新型コロナウイルスのワクチンが接種されるようになれば、外出を自粛する必要はなくなるので、多少は良くなる。ただし、国民の大多数の所得が減っているはずなので、政府には抜本的な経済対策をお願いしたい（東京都）。                                    |
|    |          | 百貨店（営業担当）    | ・緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりなど明るい話題もあり、景気の改善を期待している（東京都）。   |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、少しでも収束する方向にあるのではないかと。発生から1年が経過し、もはやゼロコロナになることはなく、今後もウィズコロナの在り方次第である。ただし、ゴールデンウィーク時期は安定していると仮定した場合の、期待を込めた回答である（東京都）。 |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）  | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチンが投与され始め、外出の機会が増えれば、景気は回復傾向に進む（東京都）。   |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）  | ・Go To Travelキャンペーンの段階的再開などにより、外出着や手土産需要が回復してくれば、現状よりは好転する（東京都）。   |
|    |          | 百貨店（経営企画担当）  | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も徐々に拡大するということで、少しずつ人出も増えてくると予想され、今よりは良い方向に進む。東京オリンピックの実施判断や再度の感染拡大の懸念など、見通しが立たない状況は続くが、今よりは若干良くなると推察される（東京都）。 |
|    |          | 百貨店（店長）      | ・3月7日に緊急事態宣言が解除され、都道府県をまたぐ往来が多少なりとも復活するとみている（東京都）。   |
|    |          | 百貨店（店長）      | ・緊急事態宣言が解除され、高齢者から新型コロナウイルスワクチンの接種が広まっていけば、これまで中止していた施策を実行することができ、営業時間が元に戻るとともに、来客数が増え、売上は伸びていく（東京都）。                                      |
|    |          | 百貨店（企画宣伝担当）  | ・2回の緊急事態宣言を経験し、新型コロナウイルス禍での生活様式が定着しつつあるなかで、消費活動は若干活発になると予想している。年齢別、ライフスタイル別など消費行動に合わせた必需品の販売を中心に、今欲しているもの、売るべきものをより鮮明に表し、計画、準備をしている。       |
|    |          | 百貨店（副店長）     | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、人の動きが活発になるとともに消費マインドも高まっていくのではないかと期待している（東京都）。   |
|    |          | コンビニ（経営者）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるし、東京オリンピックムードも盛り上がってくると思うので、幾らか良くなると思うが、決定的ではない。  |
|    |          | コンビニ（経営者）    | ・3月7日に緊急事態宣言が解除されれば、来客数も少しずつ戻ってくると期待している。ただし、新型コロナウイルスワクチンのこともあるので、元には戻らないと思っている。  |
|    |          | コンビニ（エリア担当）  | ・緊急事態宣言の解除が見えてきているので、今後は多少改善が期待できる。ただし、テレワーク等が定着し始めていることから、新型コロナウイルス以前に戻るのには難しいと感じている（東京都）。  |
|    |          | コンビニ（商品開発担当） | ・緊急事態宣言解除により買物自粛も解除されることを期待したい。特に、週末の動きが活発になってくると、必然的に売上も付いてくる（東京都）。   |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）  | ・緊急事態宣言が解除されれば、一斉に人や物が動く。  |
|    |          | 衣料品専門店（店長）   | ・新型コロナウイルス感染第3波は沈静化してきていると思われるため、緊急事態宣言が解除又は緩和されるとすれば、客の動向も若干改善される。ただし、Go Toキャンペーンについては慎重に行動するとみている。                                       |
|    |          | 衣料品専門店（店長）   | ・今後は緊急事態宣言の解除が見込まれること、また、東京オリンピックが開催予定であることを考慮すると、消費者マインドが高まる（東京都）。  |
|    |          | 家電量販店（店長）    | ・前年は新型コロナウイルスの影響で来客数が落ちていたので、それに比べれば良くなる（東京都）。   |
|    |          | 家電量販店（店員）    | ・緊急事態宣言が解除されれば、来客数が増える可能性がある。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                  | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|------------------------|---|
|    |          | 家電量販店（経営企画担当）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が予定どおりに進み、首都圏での緊急事態宣言が解除されれば、ウィズコロナの状況は変わらないにしても、消費者心理が好転し、店舗での購買が増えると期待している（東京都）。   |
|    |          | 住関連専門店（営業担当）           | ・現時点で具体的な兆候があるわけではないが、新型コロナウイルス感染第3波の収束、緊急事態宣言解除、ワクチン接種開始などの好材料と、自粛疲れなどが作用して、消費意欲を押し上げるものと推測している（東京都）。  |
|    |          | その他専門店〔雑貨〕（営業担当）       | ・首都圏の緊急事態宣言が解除されれば、客足は徐々に戻る。東京オリンピックの開催可否、また開催する場合の観客受入れ有無などによって、景気は大きく左右される（東京都）。  |
|    |          | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員） | ・新型コロナウイルスワクチンの接種開始、緊急事態宣言解除、Go To Travelキャンペーン再開となれば、売上回復が期待できる（東京都）。  |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）  | ・新型コロナウイルスがある程度抑え込まれているという条件付きで、多少は良くなる。結局は、新型コロナウイルスの感染状況に大きく左右されるので、ワクチン接種が進むまでは、一進一退ではないか。   |
|    |          | 高級レストラン（経営者）           | ・緊急事態宣言が3月7日～月後半には解除され、客の目線で考えると消費控えの反動があると予想している。しかしながら、外間もあるし、過信しないで慎重に行動するだろうから、徐々に上向きとなる。新型コロナウイルス感染第4波は来るだろうから、商業者はその前に集客しなくてはならないし、消費者は第4波の前に消費行動をしようとするのではないか。         |
|    |          | 一般レストラン（経営者）           | ・現在は時短営業をしているので、その分売上が減っているが、今後時短営業がなくなれば、今までよりも少しは売上がアップすると思うので、今よりは良くなる。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）           | ・3か月後に新型コロナウイルスや東京オリンピック等の影響で状況がどうなっているか、皆目見当がつかない。一般の人にはまだ回ってきていないが、ワクチン接種が進み、安心感が広がっているため、今までよりも多少は良くなっている気がする。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）           | ・大変厳しく、いつ倒産するか分からない状態である。早く緊急事態宣言を解除して、新型コロナウイルスのワクチン接種を進めてもらい、新型コロナウイルスがインフルエンザと同じようになるのを願うばかりである（東京都）。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）           | ・先行きについては予想不可能なものの、緊急事態宣言解除による経済の回復が望める。  |
|    |          | 都市型ホテル（経営者）            | ・2月が最悪とすれば、それよりやや良くなることは見込めるが、食事を伴う集まりを控えるようにと政府が継続的に発信しているので、その部分の回復はかなり遅れる。それに加え、近隣の大型コンベンション施設の稼働状況がどうなるのかということもあり、非常に不透明な状況が続く。今後は東京オリンピックの開催も焦点になる。そうした状況下で3月を迎える。       |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）           | ・3月7日には緊急事態宣言が解除され、観光業への流入が活発になる（東京都）。  |
|    |          | 旅行代理店（従業員）             | ・停止していたGo To Travelキャンペーンが再開する可能性があるため、期待はしている。ただし、上限額の引下げなど以前よりも条件が劣る可能性があるため、以前のような爆発力はないとみている（東京都）。  |
|    |          | 旅行代理店（営業担当）            | ・気候が良くなり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと予想されるため、現在よりは良くなる。   |
|    |          | タクシー運転手                | ・緊急事態宣言が解除されれば、今と比べれば人の動きが増えると思うが、以前のように夜遅くまで歩いたり、自由気ままに出掛けることはなかなか難しい。新型コロナウイルスワクチンを皆が打って、なおかつ特效薬ができない限り、この動きはしばらく続く。また、リモートワークがどんどん進んでいるので、人が夜まで残業して家に帰るといった動きは全くなくなる（東京都）。 |
|    |          | タクシー（団体役員）             | ・緊急事態宣言が解除されれば、多少の人出が予想されるが、以前のような人出に戻るまでにはかなりの時間が掛かる。  |
|    |          | 通信会社（経営者）              | ・巣籠りも限界であり、これから人出が増えてくる（東京都）。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-------------------------|--|
|    |          | 通信会社（経営者）               | ・新型コロナウイルス感染第3波からの感染者数の減少や、ワクチン接種の開始等、明るい兆しがみられることで、今後消費者の経済活動再開が期待できるが、すぐには例年どおりの状況に戻らないと考えている。引き続き感染予防に注意を払った活動による営業を推進する必要がある（東京都）。   |
|    |          | 通信会社（経営者）               | ・間もなく緊急事態宣言が解除されそうなので、それに伴い景気が徐々に良くなっていく（東京都）。   |
|    |          | 通信会社（社員）                | ・販売数は増えるが利益率は上がらない（東京都）。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）              | ・携帯電話の新プランがサービスインとなれば、現在動きが鈍っている通信の乗換えの動きが通常に戻る。   |
|    |          | 通信会社（管理担当）              | ・潜在的な消費意欲はあるので、緊急事態宣言が解除され経済活動が活発化すれば、今よりは改善する見込みである。新生活スタートの繁忙期は、通常なら新たなインターネット回線選択の特需があるものの、大学生のオンライン授業の影響で、アパート契約が例年ほどなく、少ない傾向である。  |
|    |          | 通信会社（経営企画担当）            | ・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルス感染者数の減少が続けば、商談数が伸びてくる（東京都）。   |
|    |          | 通信会社（管理担当）              | ・緊急事態宣言が解除され、個人の消費意欲が高まることを期待したい（東京都）。   |
|    |          | パチンコ店（経営者）              | ・新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にあり、落ち着きを見せている。1か月延長となっていた緊急事態宣言も3月7日には一旦解除される見通しで、人の流れも少しは変わってくる。  |
|    |          | その他レジャー施設<br>[総合]（広報担当） | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染状況が縮小してくれば、来客数は現在よりは増える（東京都）。   |
|    |          | その他サービス[福祉<br>輸送]（経営者）  | ・首都圏では緊急事態宣言がまだ続いているが、地方では解除されてきており、東京でも3月初めには解除されるとの期待が高まっている。新型コロナウイルスワクチンの接種等がまだ始まっていないので本格的に良くなるとはいえないが、これから2～3か月先の4～5月は、ワクチン接種も始まって安心感が出てくるので、需要は上向きに推移する（東京都）。                 |
|    |          | 設計事務所（経営者）              | ・余り大きくはないが、新しい案件が入ってきている。  |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）             | ・受注拡大は売上増加に直結し、利益も増えると期待できる。   |
|    |          | 商店街（代表者）                | ・全てが思うようにいっておらず、大変苦慮しているのが現状である。当店はレンタルを中心にやっている呉服店だが、成人式が延期になったり、卒業式もやるかどうか分からないなどということもあり、先行きが今一つ分からない。  |
|    |          | 一般小売店[和菓子]<br>（経営者）     | ・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くのではないかと。ワクチン接種もまだ先のようなので、今のままの状況が続く。   |
|    |          | 一般小売店[家電]<br>（経理担当）     | ・新型コロナウイルス関連の状況が良くなってこない、なかなかいつものようにはいかない。   |
|    |          | 一般小売店[印章]<br>（経営者）      | ・行政改革担当大臣は、印鑑について、どこまでが不要でどこからが必要だという責任を持った発信をしてきていない。印鑑等を家業としている我々にとって、はんこがなくても生きていけるというような発言は不愉快に感じる。訂正なり追加するなりしてもらいたい。  |
|    |          | 一般小売店[米穀]<br>（経営者）      | ・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるが、良くなることも悪くなることも言えない（東京都）。  |
|    |          | 一般小売店[文具]<br>（販売企画担当）   | ・新型コロナウイルスの感染状況によって日々刻々と状況が変わってくるので、なかなか先を見通せない。店頭での来客数は増えているものの、状況によっては減ることも多分にある。また、外商においては、民間の投資案件、大口案件が全て未定になっていることが大きい。官公庁の案件も、今後予算が削減されることが見込まれるので、不安がある。今後が見通せないことから、余り変わらない。 |
|    |          | 百貨店（総務担当）               | ・緊急事態宣言解除後も消費に対して慎重な姿勢は継続することが予想される。   |
|    |          | 百貨店（総務担当）               | ・前年は3月以降急速に新型コロナウイルスの影響が拡大したこともあり、前年比では良く見える側面もある。しかし、一度縮んでしまった身の回りの景気が、一昨年水準まで急速に回復することは簡単ではないとも感じている（東京都）。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種        | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|--------------|---|
|    |          | 百貨店（広報担当）    | ・このまま新型コロナウイルス感染者数を抑え込めれば、消費マインドが緩やかながら回復していくことも予想されるが、現時点ではワクチン接種のスピード感も不透明で、確実に読める好材料には乏しい。したがって、向こう数か月は今とほとんど変わらない傾向が続くのではないかと（東京都）。             |
|    |          | 百貨店（営業担当）    | ・食品を中心に堅実な消費と、絵画や宝飾品などの高額品購入に二極化している。新型コロナウイルスの影響から1年が経過し、消費は緩やかな上昇が予想されるが、一昨年のペースまでは程遠い（東京都）。  |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）  | ・予定どおり来月に緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、現状から回復することを期待したいが、現実にはまだまだ時間が掛かる（東京都）。   |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）  | ・再発出された緊急事態宣言は、1都3県の早期解除も見込めず、解除後も来客数の回復は見込めないことから、しばらく状況は変わらない。新たな取組を進めているものの、マイナス分を取り返すまでには至っていない。  |
|    |          | スーパー（販売担当）   | ・新型コロナウイルスの影響で、時短営業や閉店時間の繰り上げなどが続いているため、売上、来客数共に減少しており、この状況がすぐに回復するとは考えにくい（東京都）。  |
|    |          | スーパー（経営者）    | ・スーパーの集客は、増えるきっかけが分からない。  |
|    |          | スーパー（店長）     | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が一般国民まで行き渡るのにどのくらい掛かるか分からないが、3か月では全国に届かないと思うので、今のままいくのではないかと。また、最近地震が多く、震災に対する不安もあるので、あちこち行くというよりは、自宅で大人しく過ごすのではないかと。今と変わらない（東京都）。 |
|    |          | スーパー（店長）     | ・消費者には節約志向が依然として根付いており、より安いものへと志向が傾いている限り、同様の状態がしばらくは続く（東京都）。   |
|    |          | スーパー（店員）     | ・緊急事態宣言が解除されたとしても、消費者の生活自体がすぐ元に戻るわけではないので、内食需要による売上は大きく変わることはない。  |
|    |          | スーパー（総務担当）   | ・新型コロナウイルスの影響が生活に非常に大きくかかわっているため、ワクチンの接種率や新規感染者数の動きによって、客の動向も変わってくる。ただし、ステイホームが続くと思われるので、外出着を中心とした衣料品などの売行きは厳しい。食料品需要は堅調に伸びる。                       |
|    |          | スーパー（営業担当）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されても、今しばらくは内食化傾向が継続する。したがって、生活必需品、特に生鮮食品、一般食料品を中心として、購買量については現在と変わらず推移する（東京都）。  |
|    |          | スーパー（販売促進担当） | ・3月度は、衣料、住居関連フロアの閉店に伴い、食品フロアの来客数減少が考えられる。   |
|    |          | コンビニ（経営者）    | ・新型コロナウイルスの感染状況においては、まだどちらともいえない。   |
|    |          | コンビニ（経営者）    | ・客が緊急事態宣言慣れしたのか、日々落ち着いた状態が続いており、今後もさして変化はない。  |
|    |          | コンビニ（経営者）    | ・緊急事態宣言が解除されたとしても、新型コロナウイルス感染者数が減るまで影響は続く。  |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）  | ・悪いままで変わらないという意味である。テレビでもやっていたが、新型コロナウイルスの影響で、衣食住のうちで一番打撃を受けているのは「衣」だそうである。我々衣料品組合を中心とした売上には相当響いている。今後、「衣」に対する救済が何かあれば有り難い。                         |
|    |          | 衣料品専門店（役員）   | ・緊急事態宣言がいつ解除されるか。全てはそれからである。  |
|    |          | 家電量販店（店長）    | ・緊急事態宣言の解除と新型コロナウイルス感染第4波への対策状況によるが、東京オリンピックの開催決定までは大きな需要はない（東京都）。  |
|    |          | 家電量販店（店員）    | ・現在は新型コロナウイルス禍による緊急事態宣言下でもあり、在宅機会が増え、家電への関心が高いようである。今後の動きに関しては、新型コロナウイルス禍や東京オリンピック開催によるテレビ需要など外的要因にもよるが、変わらないか、多少の減少はあるとみている。                       |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                 | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-----------------------|---|
|    |          | 乗用車販売店（経営者）           | ・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。前月が良かったので、このままいってくればありがたいが、新型コロナウイルスの影響で今年一杯は余り良くないのではないか。   |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）           | ・新車の販売量は前年並みに推移する。  |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）          | ・客の話を聞いていても、新型コロナウイルスバブルといって金一封が出た企業も一部にあるようだが、大概の客は収入減だと嘆いている。飲食系だけではなく、それに付随する業種も痛手を被っていることを調査してもらいたい。また、市町村レベルで運営している施設の時短にも疑問がある。 |
|    |          | 乗用車販売店（販売担当）          | ・一部地域で緊急事態宣言が今月末に解除されるが、やはり新車乗換えキャンペーンなどの大きなイベントはなかなかできない。したがって、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、又はワクチン接種が進行するまでは、景気は変わらない（東京都）。                 |
|    |          | 乗用車販売店（渉外担当）          | ・短期的な回復は見込めない。  |
|    |          | 住関連専門店（統括）            | ・緊急事態宣言もまだ解除されず、不要不急の外出をしないという自粛が定着しつつあるので、解除されても急には戻らない。   |
|    |          | その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）  | ・景気が上向いている様子はあるが、当店としてはそのような傾向は見えない。毎月毎月、来月は良くなるだろうと思っているが、なかなか良くならないのが現状である。   |
|    |          | その他専門店〔貴金属〕（統括）       | ・緊急事態宣言の解除、新型コロナウイルスワクチンの接種など景気が好転する要素はあるが、急激な回復は期待できない（東京都）。   |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括） | ・前回の特別定額給付金よりも、今回の自粛の対価として給付金を出せば、緊急事態宣言解除後も自粛が継続するのではないかと。給付についてのメッセージが大切である（東京都）。   |
|    |          | 高級レストラン（営業担当）         | ・売上の柱である法人客を中心とした団体宴会の需要が皆無に等しいなかで、自社のEC部門で僅かな売上ばん回を目指すものの、非常に厳しい状況と捉えている。また、レストラン部門については、緊急事態宣言解除後の一時の回復は期待できるが、厳しい状況に変わりはない（東京都）。   |
|    |          | 高級レストラン（仕入担当）         | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、先行きに明るい兆しは見えてきたが、2～3か月で現状が改善するとは思えない（東京都）。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）          | ・自粛の成果が出て、新型コロナウイルス感染者数が100人を切る日が増えれば、来客数の回復が見込める（東京都）。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったが、まだまだ若い人のところには回る気配がなく、年配者も接種したからといって積極的に消費に携わるような感じではないので、今後しばらく今のような状態が続く（東京都）。                               |
|    |          | 一般レストラン（経営者）          | ・客からは、やはり上司から宴会などとてもないと言われていたというような話を多く聞いている。そのため、フリー客は戻ってきているが、宴会売上は2～3か月先も当分は見込めない（東京都）。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種者が80%以上になるまで、安心はできない。結果的に景気も変わらない（東京都）。  |
|    |          | その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）   | ・新型コロナウイルスの収束が見えて、取引先の動きも徐々に落ち着きを取り戻す方向に向かうと予想されることから、最悪期は脱しているのではないかと（東京都）。  |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）          | ・売上の的にはここ1年で一番厳しい状況となっているので、この先は良くなるしかないが、ランチがいくら入っても、夜の会食がほぼないため、売上は伸びてこない。緊急事態宣言が解除されたとしてもすぐに良くなる要素はなく、このまま悪い状態が数か月続く。              |
|    |          | 旅行代理店（経営者）            | ・新型コロナウイルスが収束しない限り、景気は戻らない。   |
|    |          | 旅行代理店（従業員）            | ・緊急事態宣言が解除された場合でも、広域の移動は見込めない（東京都）。   |
|    |          | 旅行代理店（営業担当）           | ・緊急事態宣言が解除されても、商品造成がすぐにはできないため、しばらくは変動がない（東京都）。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------------|--|
|    |          | タクシー運転手             | ・新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、この先かなり心配している。乗客は大体半分くらいなので、先が不安である。新型コロナウイルスの収束を願うのみである。  |
|    |          | タクシー運転手             | ・欧米から遅れること2か月、国内でも新型コロナウイルスワクチンの接種が始まった。高齢者は4月12日から、一般人への接種は5月以降になるようだが、感染が収束するのはワクチン接種の結果が表われる秋以降だと思うので、景気は悪いままの状態が継続する(東京都)。 |
|    |          | 通信会社(社員)            | ・来年度の番組提供の引き合いがある。メディア広告への投資意欲が見える事象もあり、ほっとしている。回復基調になってくれると期待したい(東京都)。  |
|    |          | 通信会社(営業担当)          | ・緊急事態宣言の解除後も、生活様式が元に戻るとは考えられず、今の状況が継続していく。   |
|    |          | 通信会社(管理担当)          | ・緊急事態宣言の影響がしばらく残る見込みである。   |
|    |          | 通信会社(局長)            | ・客のネガティブな要素は拭い切れない。また、通信の逼迫もあり、インターネットの他社への乗換えが増加傾向にある(東京都)。   |
|    |          | 通信会社(営業担当)          | ・良くなると思える材料がない。  |
|    |          | 通信会社(営業担当)          | ・新型コロナウイルスが収束するまでは、大きな変化はみられない(東京都)。   |
|    |          | 通信会社(経理担当)          | ・2~3か月先に世の中の状況が変わる材料が見当たらない。   |
|    |          | 通信会社(総務担当)          | ・緊急事態宣言に伴う対策で新型コロナウイルス感染状況は改善されてきているが、従来の消費生活パターンに戻るにはまだ時間を要する(東京都)。   |
|    |          | 競輪場(職員)             | ・競輪場としての売上の見通しは立たないため、しばらくは厳しい状況が続く。新しい自転車競技のための準備を行っていく。  |
|    |          | その他サービス[立体駐車場](経営者) | ・客は在宅の習慣がついてしまったようなので、当分の間、余り外出しない。  |
|    |          | その他サービス[学習塾](経営者)   | ・新規の問合せ件数などから、まだ変化はみられない。  |
|    |          | 設計事務所(所長)           | ・客は何か前へと進むのをためらっているようで、先の見通しが立たない。新型コロナウイルスの影響か、建築コストの上昇機運があり、この先も同じ状況が続くのではないかと(東京都)。   |
|    |          | 住宅販売会社(経営者)         | ・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンと治療薬が普及しないと景気は戻らない。また、東京オリンピックが開催されることを期待している。   |
|    |          | 住宅販売会社(従業員)         | ・例年、ゴールデンウィークまでは販売量が安定しているため、やや良い状況が続く。また、住宅取得への支援策として、住宅ローン減税、住まい給付金、贈与税の非課税枠、グリーン住宅ポイントなどのメリットが打ち出されているため、客の動きも続く。           |
|    |          | 住宅販売会社(従業員)         | ・今後も大きくは変わらない。地価も大きく下がる気配はなく、高止まりのまま推移しているため、仕入も苦戦している。しっかりと相場を見極めていかないと厳しい状態になる。  |
|    |          | 一般小売店[家具](経営者)      | ・景気が良くなるような要素は一つもないので、とにかく悪くなる。所得が増えていないので、耐久消費財を売るのが難しい時代になるのではないかと(東京都)。   |
|    |          | スーパー(経営者)           | ・前年2月後半に新型コロナウイルス感染が発生してから、内食需要の高まりで非常に良くなったが、1年が経過して、緊急事態宣言が来月7日に解除されると、徐々にそうした流れも収まっていくと思うので、今後はやや悪くなる。                      |
|    |          | スーパー(経営者)           | ・新型コロナウイルスの収束が見えてきている。食品スーパーなので、今まで来客数減少、客単価上昇できていたが、この先は来客数増加よりも、客単価の低下が予想される。  |
|    |          | スーパー(総務担当)          | ・新型コロナウイルスの影響で売上が減っている。  |
|    |          | スーパー(仕入担当)          | ・新型コロナウイルス禍はまだまだ続き、景気は回復してこない。   |
|    |          | スーパー(ネット宅配担当)       | ・新型コロナウイルスのワクチン接種状況次第だが、高齢者の接種が問題なく行われ、大きな被害がなかった場合、外食や旅行など、食品以外への消費に大きく傾きそうである。   |
|    |          | コンビニ(経営者)           | ・少しずつ後退してきている(東京都)。  |
|    |          | コンビニ(経営者)           | ・一番はやはり新型コロナウイルスの影響だと思うが、来店客の仕事がない状態だと、店の売上全体も下がる。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                  | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|------------------------|---|
|    |          | 乗用車販売店（店長）             | ・景気回復の兆しが余り感じられず、これといった策も社会的に出していない。  |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）           | ・新型コロナウイルスワクチンが普及したとしても、3か月先に景気が好転するとは思えない（東京都）。  |
|    |          | その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）   | ・国全体としては新型コロナウイルスが収束すれば良くなると思うが、ドラッグストアは前年のあおりで今年は厳しい。特に、4～5月は厳しくなる。  |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）           | ・しばらくは新型コロナウイルスの影響が続くと思うので、悪い傾向が続く。   |
|    |          | タクシー運転手                | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、少し期待したいが、まだすぐに仕事が増えるとは思えず、何とも言えない。病院の送迎も少なく、会社からのオーダーも僅かである。駅から乗り込む客もかなり減っていて、まだまだ先が見えない。   |
|    |          | その他サービス〔保険代理店〕（経営者）    | ・このまま下降が続き、単価や客数が減少していく。  |
|    |          | 設計事務所（経営者）             | ・今年度は何とか官庁案件に支えられてきたが、来年度の予測は難しい。新型コロナウイルスが急速に収束するとは考えにくく、民間の設備投資は期待できそうもない。  |
|    |          | 設計事務所（職員）              | ・新型コロナウイルスの影響が顕在化してきたこともあるかもしれないが、建築業界の景気の先行きは不透明である。官公庁プロポーザルは案件の大小に関係なく急激に競争率が上昇しており、民間も含め発注が縮小している（東京都）。   |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）            | ・3月の期末に向けて景気は良くなると思うが、その後は落ち込むのではないかと。  |
|    |          | その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者） | ・営業する相手と会う機会を持ってないので、更に厳しくなっていく。  |
|    |          | その他住宅〔住宅資材〕（営業）        | ・年度末に向けて建材需要が回復すると思われたが、大型物件もなく低迷している（東京都）。   |
|    | ×        | 乗用車販売店（総務担当）           | ・決算月後の反動が大きくあり、売上は厳しくなると予想している。   |
|    | ×        | その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）      | ・東京オリンピック開催でまた新型コロナウイルス感染者数が増える（東京都）。   |
|    | ×        | 一般レストラン（経営者）           | ・例年なら、3～4月は歓迎宴会があり、大人数での宴会予約があるはずだったが、今年は4人以上で飲食するということなので、まず無理である。   |
|    | ×        | 旅行代理店（従業員）             | ・遠足など、来年度の教育旅行の見積り時期であるが、バス料金の価格低下が顕著で、法令違反料金でない限り受注できないような状況になっている。団体旅行が蒸発しているなか、教育旅行というパイの奪い合いがし烈になることが想定される。   |
|    | ×        | タクシー運転手                | ・新型コロナウイルスの影響が全てであるが、今のところタクシーも新型コロナウイルスに負けている。少し楽観的かもしれないが、これまで以上に節約に努めて、ワクチン接種により好景気になるのをひたすら待つ（東京都）。   |
|    | ×        | ゴルフ場（従業員）              | ・人が外に出て旅行や買物をするなど、経済効果を期待すると、新型コロナウイルス感染症の拡大につながる。海外との交流も同じことが言える。この悪循環は簡単には抜けられない。   |
|    | ×        | ゴルフ場（経理担当）             | ・通常は、株価が上向くと来場客増加や会員権相場上昇といった現象がみられるが、株価が3万円を超えていても实体经济との乖離が続いており、そのような動きは現在は限定的で、今後も期待し難い。3か月後には緊急事態宣言も解除されているだろうが、政府が外出自粛やテレワークを哀願する姿も空しく、昼間の外出は増加を続けているのが現状である。これは、国民には不便を強いておきながら、代表者自身が夜遊びを繰り返す所業と、利権にまみれる国民の代表者、奉仕者に対する憎悪や強い不信感が国民の根底にあるがゆえの行動であり、こうした負の感情が国民を支配する限り、新型コロナウイルス禍を乗り越えることは困難であり、明るい見通しが立つ余地はない。 |
|    | ×        | 美容室（経営者）               | ・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。   |
|    | ×        | その他サービス〔学習塾〕（経営者）      | ・緊急事態宣言の影響で、一部地域で閉鎖している校舎もあるため、売上がどんどん落ちている。ちょうど年度替わりのタイミングで卒業生も多く、経営的に悪くなっているため、景気も悪くなる。   |

| 分野                          | 景気の先行き判断     | 業種・職種  | 景気の先行きに対する判断理由   |
|-----------------------------|--------------|--|--|
|                             | ×            | 設計事務所（経営者）   | ・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現状を打破するため、社員全員が、過去の仕事の経緯のなかから営業を展開するなどして頑張っているが、新しい仕事がない。年度末ということで、新年度に向けて頑張りたいが、士気が上がらない。緊急事態宣言が終局を迎えているが、果たして本当に良くなるのか、どうしたら良くなるのか分からない。 |
|                             | ×            | 設計事務所（所長）  | ・新型コロナウイルス感染対策に官公庁の予算が向けられ、建設業などの業種にはなかなか予算が付かないのが現状である。   |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(南関東) |              | その他サービス業〔警備〕（経営者）  | ・入札案件の仕事が始まるので、良くなると見込んでいる。  |
|                             |              | その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）                                       | ・業種によると思うが、受注が増えてきている。   |
|                             |              | 食料品製造業（経営者）  | ・新型コロナウイルスワクチン次第である。また第4波が来ないことを祈っている。   |
|                             |              | 出版・印刷・同関連産業（経営者）   | ・今月よりは受注量が増える予定である（東京都）。   |
|                             |              | 出版・印刷・同関連産業（所長）  | ・物事がようやく動き出してきていると感じるので、良くなっていく。   |
|                             |              | 出版・印刷・同関連産業（営業担当）  | ・法人関係の注文数は以前と比べて低調のままで変わらない。今までは来店客が少なく、通信販売が多かったのだが、最近は新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いているのか、来店客が少しずつ増えてきていると店頭で感じている（東京都）。  |
|                             |              | 化学工業（総務担当）   | ・緊急事態宣言解除後に個人消費がどこまで回復してくれるか。一般国民への新型コロナウイルスワクチン接種が始まる4月以降、聖火リレーも行われ、少しは明るい方向へ転換するのではないかと。   |
|                             |              | 電気機械器具製造業（経営者）   | ・新型コロナウイルスの影響で空調が見直され、当社の製品もその恩恵を受けている（東京都）。   |
|                             |              | 精密機械器具製造業（経営者）   | ・潜在的な国内消費は、数字では分からないが非常に多いと思われる。新型コロナウイルスの影響が徐々に解消されれば、輸出に頼らない内需拡大という良い結果になると予測している。ただし、一気に活性化すると端的になる。ただでさえ消費材は海外に頼っていることもあり、原材料などの調達に奪い合いになりそうだと危惧している。      |
|                             |              | その他製造業〔化粧品〕（営業担当）  | ・緊急事態宣言の解除により、季節的にも外出する人が増えると予測している（東京都）。  |
|                             |              | 建設業（従業員）   | ・得意先での契約が決まりつつある。それに伴って見積りの件数も増えてきている。   |
|                             |              | 金融業（役員）  | ・新型コロナウイルスワクチンの接種開始や温暖な気候になることから、消費者心理の好転もうかがえるため、宿泊、観光業での消費増加を期待している。各取引先は、消費動向の変化に対応して販売方法や商品構成を変えてきており、消費者心理の好転に期待している。                                     |
|                             |              | 不動産業（従業員）  | ・緊急事態宣言が解除されれば人が動き、ホテル需要の改善が見込まれる（東京都）。  |
|                             |              | 広告代理店（営業担当）  | ・緊急事態宣言が解除されれば人もお金も回るようになる。イベントが復活してくると、売上が伸びる見込みもありそうである（東京都）。  |
|                             |              | 化学工業（従業員）  | ・大きな動きはないが、様子を見ているような節がある。東京オリンピック開催の有無ではないかと。   |
|                             |              | プラスチック製品製造業（経営者）   | ・新型コロナウイルスの感染者数は減りつつあるが、ワクチン接種も遅れ気味であり、全体の動きが良くなるとは思えず、大きくは変わらない。  |
|                             |              | プラスチック製品製造業（経営者）   | ・医療品容器の新企画が立ち上がれば売上は伸びるが、時期の確約が取れないので不安定な動向が続く。  |
|                             |              | 金属製品製造業（経営者）   | ・業種によるが、現状の受注量を確保できそうである。  |
|                             | 金属製品製造業（経営者） | ・厳しいながらも設備関係の保守などで仕事を続けている。新型コロナウイルスが収束し、仕事が戻ってくるのを待つしかない。 |  |
|                             | 金属製品製造業（経営者） | ・新型コロナウイルスが収束しないことには、完全な景気回復は難しい。                          |  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-------------------------|---|
|    |          | 建設業（経営者）                | ・公共案件が出始めたので参加はするものの、落札できるかが鍵である。行政の新年度予算では、扶助費がかなり上がった一方で、建設投資費がかなり下がっている。国土強靱化予算は果たして市町村へ回ってくるのだろうか。  |
|    |          | 輸送業（経営者）                | ・新年度が始まるが、目新しい改善策も今のところ見当たらず、現状に大きな変化が生じるとは思えない（東京都）。   |
|    |          | 輸送業（経営者）                | ・景気が上向く材料が見当たらない（東京都）。  |
|    |          | 輸送業（総務担当）               | ・荷主の国内出荷量が低迷していることと、輸出量が全くないことから、今後も現在の状態が続くと予想している。  |
|    |          | 通信業（広報担当）               | ・新型コロナウイルスワクチンが一般の人に行き渡るまでは、低迷している状況を脱することはできない（東京都）。   |
|    |          | 金融業（従業員）                | ・緊急事態宣言の再発出で、業種を問わず事業者からは売上回復の見通しが立たないとの厳しい声が聞かれる。なかでも固定客を中心に営業してきた理美容室では、外出自粛要請により客の来店頻度が低下していることを要因に挙げている（東京都）。                                 |
|    |          | 金融業（支店長）                | ・取引先にも新型コロナウイルスの感染状況に対する不安感がある。ワクチン接種が進み、感染状況に改善の兆しが見えないと景気回復は望めない。   |
|    |          | 不動産業（総務担当）              | ・緊急事態宣言が解除される見通しが立ったのは好材料だが、一度遠のいてしまった客が戻るには、それなりの時間が掛かる。この先2～3か月は今の最悪の状況が多少改善される程度ではないか（東京都）。  |
|    |          | 広告代理店（従業員）              | ・東京オリンピック、パラリンピックが開催されれば、それに付随するイベント等の予定が多少あるが、予断を許さない状況である。  |
|    |          | 税理士                     | ・米国では新型コロナウイルスワクチンが年末までに行き渡るとかいうような朗報がある。日本もワクチン接種が進み、東京オリンピックが開催されるなど良い条件が整えば景気は良くなると思うが、うまくいかなかったときには前年と同じような状況になるのではないかと（東京都）。                 |
|    |          | 社会保険労務士                 | ・良くなる要因が見当たらない（東京都）。  |
|    |          | 経営コンサルタント               | ・気温が高くなるため、新型コロナウイルスの感染状況が下火になることが想定されるものの、余り期待はできない。   |
|    |          | その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）    | ・緊急事態宣言が解除されても、景気の先行き不透明感が根強く、低迷した状態がしばらく続く。  |
|    |          | その他サービス業〔映像制作〕（経営者）     | ・新型コロナウイルスの収束が見えないなか、年度末、新年度も、学校関係やイベントなどの受注は見込めない（東京都）。  |
|    |          | 出版・印刷・同関連産業（営業担当）       | ・筆耕関連の取引業者から業務を縮小するとの連絡が入っている（東京都）。   |
|    |          | 一般機械器具製造業（経営者）          | ・直近の景気の上向きは、年度末における取引先の事情による一時的なものと考えている。   |
|    |          | 建設業（営業担当）               | ・新型コロナウイルスの感染状況が改善しているとは考えられない。そのため、設備投資額は現状より更に悪化しそうだと感じている。   |
|    |          | 金融業（総務担当）               | ・新型コロナウイルスのワクチン供給や感染状況が大幅に改善されないと、各企業の安定した運営が成り立たないので、現状ではまだまだ景気は悪くなる。また、リモートワークやテレワークが当たり前になると、賃貸物件の空室、業後の飲食やレジャー、交通機関等への経済効果が上らず、経済に影響がある（東京都）。 |
|    |          | 税理士                     | ・一部の業種以外は新型コロナウイルスの影響を受け続けており、年内は回復の望みは薄いようである。株価の高値は金余りと思われ、市場に流通する方向に向かわなければ、恩恵にはならない。  |
|    |          | その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者） | ・既存契約の値上げができないなかで、人手不足による募集単価の上昇により、収益が圧迫されている（東京都）。  |
|    |          | その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）    | ・案件数が減少している（東京都）。   |
|    |          | その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）   | ・新年度に向けた案件は、これまでより良い状況ではないことが見込まれる。   |
|    | ×        | 建設業（経営者）                | ・新型コロナウイルスが収束するまでは将来の景気は不透明であり、収束したとしても戻るには時間が掛かる。  |
|    | ×        | 建設業（経営者）                | ・企業はまだしばらくは設備投資を渋るとみている。  |

| 分野                    | 景気の先行き判断        | 業種・職種  | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------|-----------------|--|---|
|                       | ×               | 金融業（従業員）   | ・飲食業は限界に近づいてきている。そのため、品数を減らしたり、量を減らしたりして、何とか収益を確保しようとしている。しかし、客がそれに気づき、足が遠のくという悪循環に陥っている。                 |
|                       | ×               | 不動産業（経営者）  | ・新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら営業しているが、早急な収束を願うのみである（東京都）。   |
|                       | ×               | 経営コンサルタント  | ・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くとみられ、製造業にはゆっくりと大きな波が来ている（東京都）。  |
| 雇用<br>関連<br><br>(南関東) |                 | 人材派遣会社（営業担当）   | ・来期予算が取れている企業も多く、派遣契約も継続の見込みである（東京都）。   |
|                       |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・新型コロナウイルスが収束し、東京オリンピックが開催されるようになれば、景気は上向く。   |
|                       |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種によって経済に好影響が与えられれば、企業の雇用意欲も復活する。逆に、局所的なバブル発生も予想され、急激な需要に人の供給が追い付くかどうか不安もある（東京都）。          |
|                       |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・1～2か月後には緊急事態宣言が解除されている可能性が高く、各社の採用方針が定まっていると思われる。物流系の求人は引き続き堅調で、製造系企業も一時期の減産から回復傾向にある。                   |
|                       |                 | 人材派遣会社（営業担当）   | ・求人数、求職者数共に増加傾向にあり、年度末に向けて来月以降も業務量が多くなっていく（東京都）。  |
|                       |                 | 人材派遣会社（営業担当）   | ・新型コロナウイルスワクチンの普及と、東京オリンピック開催を契機に、回復基調の変化が見込まれる。具体的な根拠はまだないものの、上向きに転換する（東京都）。                             |
|                       |                 | 求人情報誌制作会社（営業）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種により、実質的な行動、精神的な面でも余裕が出てくれば、2～3か月先の景気もやや良くなるのではないかと。安心して外出できる、会食できるなどの環境が整えば、自然と経済も回ってくる。 |
|                       |                 | 職業安定所（職員）  | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスワクチンが普及していけば、景気は回復する見込みがある。   |
|                       |                 | 職業安定所（職員）  | ・緊急事態宣言が解除され、暖かくなれば新型コロナウイルスの感染者数も減少し、新しい生活様式のなかでの経済活動が活発になることが予想される（東京都）。                                |
|                       |                 | 民間職業紹介機関（経営者）  | ・ウィズコロナ対応方法がそれぞれに見えてきた感がある（東京都）。  |
|                       |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・新型コロナウイルスの影響が短期間で収束するとは思えない（東京都）。  |
|                       |                 | 人材派遣会社（社員）   | ・前年度のペースを上回る希望退職制度の実施や、海外への事務業務移管などを行う企業も出てきており、コスト削減の動きは今後も継続するものとみている（東京都）。                             |
|                       |                 | 人材派遣会社（支店長）  | ・新型コロナウイルス感染防止対策や予防に伴う官公庁委託案件が特需的に増えているが、民間企業でのニーズは低調であり、この傾向はこの先も続く（東京都）。                                |
|                       |                 | 人材派遣会社（営業担当）   | ・求人数は横ばいである。派遣スタッフの雇用については、2021年3月末で大幅に減少すると予想していたが、思ったよりは雇用維持傾向と見受けられる。ただし、まだ回復には向かっていない。                |
|                       |                 | 求人情報誌制作会社（営業）  | ・少しずつ求人を始める企業も出てきているが、景気は大きく変わらない（東京都）。   |
|                       |                 | 職業安定所（職員）  | ・新型コロナウイルス感染が収束に向かわない限り、雇用動向の改善は見込めない。今後のワクチン接種の効果や緊急事態宣言解除後の動向次第で、良くも悪くもなる可能性がある。                        |
|                       |                 | 民間職業紹介機関（経営者）  | ・企業の採用予算が増えないまま進行する。その結果、学生には十分な情報が届かず、気の毒な状況を迎えそうである（東京都）。   |
|                       | 民間職業紹介機関（経営者）   | ・販売に力強さを感じないので、製造も安定し、中期的な変化はないとみている（東京都）。   |   |
|                       | 学校〔大学〕（就職担当）    | ・現在のところ変化する要素はないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。  |   |
|                       | 求人情報誌制作会社（広報担当） | ・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明なため、新卒、中途共に採用計画が未定、又は大きく減少する企業が多い。業種により中途採用は復調傾向ではあるが、まだ新型コロナウイルス発生以前に戻っているようには感じられない（東京都）。 |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------|---|
|    |          | 職業安定所（職員）      | ・新型コロナウイルスの影響により、求人数は前年同月と比べて大幅に減少している。今後の感染状況にもよるが、景気が急速に回復するという事は想定し難い。         |
|    | ×        | 求人情報誌製作会社（所長）  | ・中小企業は変わらないとみている。採用が多少始まったとしても、新型コロナウイルスをきっかけにデジタル化が進み、雇用を元に戻すことはほぼない。            |
|    | ×        | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・例年、年度が替わってからの新しい事業展開やいろいろな計画を、多い時は50数件もらうのだが、今回は支店、営業所を出すという2件だけであり、求人自体が激減している。 |

## 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野              | 景気の先行き判断     | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------|--------------|---|---|
| 家計動向関連<br>(甲信越) |              | 高級レストラン（経営者）  | ・このまま新型コロナウイルスの感染が抑えられ、ワクチン接種が進めば、人の動きも多少は戻ると期待する。  |
|                 |              | 観光型旅館（経営者）  | ・新型コロナウイルスの感染者数が減少したため、県内では県民限定の観光誘客事業が始まり、それをきっかけに人が動き出している。ただし、現状は0%なのが4月に30%、5月で50%程度までの回復見込みである。                                  |
|                 |              | その他サービス〔葬祭業〕（経営者）   | ・子供が少なくなったので、後の心配を自分でしていかなければならなくなっている。お別れの会や永代供養墓、墓じまい、仏壇の処分、遺品整理などの相談が、本当に多くなってきている。  |
|                 |              | 商店街（代表者）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種のタイムスケジュールが見え始め、多少希望が持てるようになってきている。後は東京オリンピックが開催できるかどうかで、ムードは変わってくる。   |
|                 |              | 一般小売店〔家電〕（経営者）  | ・エアコン等の白物家電と共に、テレビ等の動きも良くなってくと期待している。また、リフォーム工事等も出てくるのではないかと。   |
|                 |              | 百貨店（営業担当）   | ・新型コロナウイルスの感染者数が減ってきていることと、ワクチンがスムーズに接種できるようになれば、良くなっていく。感染拡大のリバウンドがなければ、景気は上がっていく。   |
|                 |              | 百貨店（店長）   | ・非常に難しいが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、その効果が表れて緊急事態宣言が解除されて、人々も外出するようになれば、小売業にも当然その恩恵があるのではないかと。  |
|                 |              | コンビニ（経営者）   | ・新型コロナウイルスが落ち着けば、きっと上向く。現状、いろいろな会合ができない状態なので、飲み会も少ない。これからは飲み会にも動きが出てくるのではないかと。  |
|                 |              | コンビニ（経営者）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるので、景気は少しずつ良くなっていく。   |
|                 |              | コンビニ（経営者）   | ・新型コロナウイルスの収束や東京オリンピック開催による期待がある。   |
|                 |              | コンビニ（エリア担当）   | ・天候の安定化、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、やや良くなる。   |
|                 |              | 自動車備品販売店（従業員）   | ・新型コロナウイルス感染者数が落ち着いてきており、来客数も徐々に伸びてきているため、景気は良くなっていく。   |
|                 |              | その他専門店〔酒〕（店長）   | ・2～3か月先は相当遠く感じるが、今よりも良くなっていないと本当に大変である。ただし、悪くなる可能性も十分ある。  |
|                 |              | 一般レストラン（経営者）  | ・高齢者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種が、4月から始まるので、5月の連休くらいには、来客数も増えることとみている。数が増えることで、売上増加が見込めるのではないかと期待感が非常に強い。ワクチン接種事業等が余り遅れないように政策が進んでくれることを願っている。 |
|                 | 都市型ホテル（支配人）  | ・県独自の「県民支えあい県民宿泊割」の利用客が増えている。また、首都圏を除く地域の緊急事態宣言が月内に前倒し解除されれば、宿泊を伴った人の往来が増えてくる。  |   |
|                 | 都市型ホテル（スタッフ） | ・希望的観測だが、緊急事態宣言の解除やGo Toキャンペーンの再開となれば、前年のキャンペーン期間中のように動きが出るのではないかと。また、新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に進むにつれ、団体利用も動き出すと思う。現状では、先の予約はほぼないので、宣言解除やキャンペーン再開が前提の予測である。 |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|----------------|--|
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）   | ・1～2月は前年4～5月の緊急事態宣言時並みの客足、売上であった。3月になれば、宣言も解除され、動きが良くなると予想している。天候も良くなってきているので、客足も出てくる。   |
|    |          | 観光名所（職員）       | ・当地は観光、宿泊、運輸関連の就労者が多く、景気はどん底である。新型コロナウイルス感染の第3波が落ち着いてきたこともあり、Go To Travelキャンペーンが再開されることに、大いに期待している。                              |
|    |          | 遊園地（職員）        | ・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるものの、感染予防の徹底とホームページ、メルマガ、SNS等で、積極的に情報発信と話題作りを行い、集客につなげていくつもりである。  |
|    |          | ゴルフ場（経営者）      | ・新型コロナウイルスのワクチンが普及し始めたことは明るい兆しと考える。感染まん延地域との往来を控える等の措置を継続しつつ、エリアごとにしっかりと新型コロナウイルスを減らしながら、安全なエリアでは活発な経済活動を推進するといった、実態に即した政策を期待する。 |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・これ以上悪くなりようがないという意味で、変わらない。  |
|    |          | 一般小売店〔家電〕（経営者） | ・新型コロナウイルス禍がどの程度収まって、ワクチン接種がどの程度景気に影響してくるのか、様子見がしばらく続きそうである。都会より田舎の方が動きは慎重であるため、商材の動き等も、期待できない。                                  |
|    |          | スーパー（経営者）      | ・新型コロナウイルス禍が収束しないと良くならない。幸運なことに、新型コロナウイルス禍に関係のない病院や保育園への野菜、肉、その他商材の納品があり、何とか食いつないでいる。  |
|    |          | コンビニ（店長）       | ・現状、新型コロナウイルスのワクチン接種が話題になっているが、一般に行き渡るまでには、まだ時間が掛かりそうなので、2～3か月先も今の状況と大きく変わることはないような気がする。   |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）    | ・変わらないというか、分からない。  |
|    |          | 家電量販店（店長）      | ・新型コロナウイルスの収束や東京オリンピック需要がなければ、回復しないと思われる。  |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）    | ・半導体不足の早期解消が見込めず、新型コロナウイルスの抑制の見通しも不透明なため、販売回復は見込めない。   |
|    |          | スナック（経営者）      | ・これ以上悪くなりようがないので、どん底のまま変わらない。新型コロナウイルスワクチンを接種した人は、速やかに今まで通りの生活に戻れるようにしてもらいたい。1日でも早く、ワクチン接種を進めてほしい。                               |
|    |          | スナック（経営者）      | ・年が明け、今年に入ってから、一層、新型コロナウイルスの影響を直接受けるようになり、客が全く来ない日も結構ある。やはり、ある程度ワクチンを打たないと収まらないと思うので、今後もしばらく厳しい状況が続く。                            |
|    |          | 旅行代理店（副支店長）    | ・Go To Travelキャンペーンの再開、緊急事態宣言の解除によって多少回復することを期待するが、景気低迷が長期化しているため、個人客の動きは期待できるが、一般企業や任意団体等については当面は自粛が継続され、今後の景気は変わらない。           |
|    |          | タクシー運転手        | ・新型コロナウイルスの薬が普及しなければ、収まらないのではないかと。   |
|    |          | 通信会社（経営者）      | ・薄い光が見えつつある現状だが、良い方向に向かうにはもう少ししばらく時間が掛かるのではないかと。   |
|    |          | 通信会社（社員）       | ・特に強調する材料がないため、大きな売上の伸びは期待薄である。新サービスやキャンペーンなどで、加入見込みを確保せざるを得ない。  |
|    |          | 設計事務所（経営者）     | ・仕事の依頼はまだまだ多く、全てには対応できていない。  |
|    |          | 住宅販売会社（経営者）    | ・緊急事態宣言が近日に解除されたとしても、地方の景気回復には時間を要するため、変わらない。  |
|    |          | スーパー（経営者）      | ・前年の巣籠り需要の反動が来て、やや悪くなる。  |
|    |          | スーパー（経営者）      | ・所得減少による買い控え傾向があり、価格競争は激化している。また、近隣に競合店の出店計画があり、更に競争が激化すると予想している。  |
|    | x        | 衣料品専門店（経営者）    | ・全く人通りがなく、客が来ない。   |

| 分野             | 景気の先行き判断 | 業種・職種                      | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------|----------|----------------------------|--|
|                | ×        | スナック（経営者）                  | ・毎回、否定的な回答になるが、新型コロナウイルスは本当に厄介である。先の見えない状態なので、良くなる要素が1つもない。何か良い案があったら教えてほしい。   |
|                | ×        | その他レジャー施設<br>[ボウリング場]（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染状況に左右されるところが大きいが、緊急事態宣言が解除され、Go Toキャンペーンの再開等がされれば、少しは良くなるかもしれない。しかし、人の動きが活発になると、また感染者が増えてしまい、逆戻りする可能性もある。 |
| 企業<br>動向<br>関連 |          | *                          | *  |
| (甲信越)          |          | 食料品製造業（総務担当）               | ・今が底ではないか。今後は、新商材の投入効果や緊急事態宣言の解除、ゴールデンウィーク等による売上増に期待する。  |
|                |          | その他製造業 [ 宝石・貴金属 ]（経営者）     | ・緊急事態宣言が解除されれば、これまでの反動で多少良くなる。3月は展示会、催事も数多く企画されており、期待している。また、新型コロナウイルスのワクチン接種への道筋ができたことから、今後のいろいろな企画を立てやすくなってきている。     |
|                |          | 金融業（経営企画担当）                | ・緊急事態宣言の解除及び新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々に行われることで、感染者数が減少し経済活動が正常に向かえば、景気は上向いてくる。実体経済がそこまで戻るかどうかはまだ時間を要すると考えている。                 |
|                |          | 新聞販売店 [ 広告 ]<br>（総務担当）     | ・一部ではあるが新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、今後国民全員に行き渡る。そうなれば人の動きも出始め、経済も動き始め、広告出稿、観光業等にも活気が戻ってくる。                                    |
|                |          | 食料品製造業（製造担当）               | ・緊急事態宣言が解除されるので、多少は良くなると思う。ただし、生活習慣が変わりつつあるなか、今までと同じでは、良くならない。   |
|                |          | 食料品製造業（営業統括）               | ・近隣都市における新型コロナウイルスの感染状況は、下げ止まりの様相を呈している。また、ワクチン接種も大分先になる見通しのため、人の流れや景気が回復するのはしばらく先に延びそうである。                            |
|                |          | 窯業・土石製品製造業（経営者）            | ・先行きの見通しは、新型コロナウイルスの状況次第で、予想が立たない。   |
|                |          | 金属製品製造業（総務担当）              | ・新型コロナウイルスの影響が少ないため、変わらない。   |
|                |          | 一般機械器具製造業（経営者）             | ・受注量はおおむね安定している。   |
|                |          | 電気機械器具製造業（経営者）             | ・やや良くなってきているものの、相変わらず部品の入荷は悪いため、生産がストップする可能性も考えられる。  |
|                |          | 電気機械器具製造業（営業担当）            | ・先行きの見通しが読めず、受注、生産量共に上向く要因がない。   |
|                |          | 建設業（経営者）                   | ・新型コロナウイルスの状況次第で、ワクチン接種が進み、人々が安心して生活できるようになれば、景気は上向くと思うし、期待している。   |
|                |          | 金融業（調査担当）                  | ・製造業と非製造業の景況感格差が拡大する見通しであり、新型コロナウイルスの影響が、下押しすることも予想される。  |
|                |          | *                          | *  |
|                | ×        | 出版・印刷・同関連産業（経営者）           | ・毎月の資金繰りがとても大変である。   |
| 雇用<br>関連       |          | -                          | -  |
| (甲信越)          |          | 職業安定所（職員）                  | ・緊急事態宣言が解除される見込みと新型コロナウイルスのワクチン接種スケジュール等が明らかになること等により、状況が改善してくる。   |
|                |          | 職業安定所（職員）                  | ・新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられることを期待して、人材確保を考えている企業からの声がある。  |
|                |          | 職業安定所（職員）                  | ・東京オリンピックなど、世界的なイベントや新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、徐々に回復する。   |
|                |          | 人材派遣会社（営業担当）               | ・景気回復が見込めないなかで、政府内も問題や課題が多く、しばらくはこの状況が続く。  |
|                |          | 求人情報誌製作会社（経営者）             | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しない限り、先行きが不透明で求人募集は少ない。  |
|                |          | 民間職業紹介機関（経営者）              | ・企業業績にばらつきが大きく、底上げに至っていない。   |
|                |          | *                          | *  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----|----------|-------|----------------|
|    | x        | -     | -              |

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断     | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------------------|--------------|---|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(東海) |              | 商店街（代表者）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が徐々にスタートするため、景気は絶好調になると考える。  |
|                            |              | 一般小売店〔土産〕（経営者）  | ・緊急事態宣言の解除に伴い良くなるはずである。   |
|                            |              | コンビニ（商品企画担当）  | ・3月の緊急事態宣言の解除見込みや、4月以降高齢者向けの新型コロナウイルスワクチン接種開始などの環境変化により、現状のような閉塞感は薄れ、客足が徐々に戻ってくると予測する。  |
|                            |              | 旅行代理店（経営者）  | ・3か月後は新型コロナウイルスも終息し、ワクチンも少しずつ接種できるようになるため、景気は少し良くなると思う。   |
|                            |              | 商店街（代表者）  | ・緊急事態宣言解除もあるので、期待したい。   |
|                            |              | 一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールが見えてきたため、景気はやや良くなると判断した。  |
|                            |              | 一般小売店〔書店〕（営業担当）   | ・新型コロナウイルスの影響が引き続き残ると思われるが、新年度向けの受注が引き続き確保できると予測される。  |
|                            |              | 百貨店（企画担当）   | ・新型コロナウイルスの感染拡大第3波も緊急事態宣言の発出によって新規感染者数の減少が続き、日々のマスコミ報道と気温の高まりとがあいまって、買物やランチなど近隣への外出に対する抵抗感が下がっている。お得意様向けの特招会やハウスカードの優待企画を実施した場合の反応が前月と比較して徐々に良くなってきており、この先ワクチン接種がある程度進めば、一層外出に対する抵抗感が薄まると感じられる。 |
|                            |              | 百貨店（経理担当）   | ・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少傾向にあり、徐々に景気は上向くのではないかと考える。  |
|                            |              | 百貨店（経理担当）   | ・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の進展によって、反発消費が盛り上がり上がると思う。  |
|                            |              | 百貨店（業績管理担当）   | ・新型コロナウイルス第3波の収束、ワクチンの普及などにより徐々に客の購買意欲が上昇することを期待している。   |
|                            |              | スーパー（経営者）   | ・新型コロナウイルス感染終息なくして来客数の増加は期待できない。ワクチン接種とその効果に期待している。   |
|                            |              | スーパー（店員）  | ・緊急事態宣言解除の動きが出ているので、それに伴って飲食店や人の動きが大きく変わってくると思う。外出を控えていた人が購入する手土産の果物などの売上を期待している。   |
|                            |              | スーパー（ブロック長）   | ・新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向であり、春に向かって暖かくなり新型コロナウイルス感染者の落ち着きが見られれば、外食、観光、新生活への消費が活発になる。   |
|                            |              | スーパー（販売担当）  | ・気候も暖かくなりいろいろなイベントのため来客数が増えると思われるので、景気は今よりは良くなると思う。   |
|                            |              | コンビニ（企画担当）  | ・来月には緊急事態宣言も解除される見込みであり、気候も暖かくなることで人の動きが今月より活発になることが予想される。  |
|                            | コンビニ（エリア担当）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり来客数が回復してくることに期待したい。  |   |
|                            | コンビニ（エリア担当）  | ・緊急事態宣言が解除となれば人の動きは多少活発となりそうだが、まだまだ客の動向は慎重で、家庭内需要は継続されると思われるので、夕夜間の品ぞろえは継続して実施する。                               |   |
|                            | コンビニ（エリア担当）  | ・緊急事態宣言が今月で解除され、冬が終わり新型コロナウイルスの感染状況も少し落ち着き、春の行楽等の需要が少し見込める状況になってきている。急激な売上、来客数の回復はないが、米飯、パンや飲料など基幹商品の販売伸長が見込める。 |   |
|                            | コンビニ（商品開発担当） | ・客単価は前年を上回る状況であり、緊急事態宣言解除により来客数の増加は見込めるため、現状より好転すると思う。  |   |
|                            | コンビニ（本部管理担当） | ・新型コロナウイルス禍のなか、3月初旬までには宣言解除の見通しとワクチン接種で、世間は平常を取り戻すと予測する。そのため、今後は人の動きが活発化し景気は上向きになると期待する。                        |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種           | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-----------------|---|
|    |          | 衣料品専門店（売場担当）    | ・緊急事態宣言の解除に加え、今後新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいくと、個人消費も高まり、それに伴い景気も回復していくと思われる。                                     |
|    |          | 衣料品専門店（販売企画担当）  | ・人の動きが出れば、多少は上向いてくると思う。   |
|    |          | 家電量販店（店員）       | ・大学入学後、オンライン授業が入る可能性がある。パソコンの大学内での販売説明会も開催が見送られ、高性能なモバイルノートパソコンが店舗で売れそうである。                               |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）    | ・緊急事態宣言の成果と気温の上昇もあり、新型コロナウイルス感染も落ち着いてくるのではと思われる。それにより外出が増え、消費も上がるのではないかと見込む。                              |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）     | ・今は皆とても我慢をしているため、新型コロナウイルスの感染が落ち着いたということがはっきりしてくれば、我慢していた反動で景気は良くなると考える。                                  |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）    | ・新型コロナウイルス感染者数が減ってきたことに加え、ワクチン接種が始まった。気温の上昇とともに、客との会話でも出掛ける雰囲気になってきている。3月は繁忙期でもあり、上向き傾向である。               |
|    |          | その他専門店〔雑貨〕（店員）  | ・とにかく新型コロナウイルス禍による消費マインドの低下が大きく、今後このまま収束していけば、景気も回復すると思われる。   |
|    |          | 高級レストラン（経営企画）   | ・緊急事態宣言解除後の利用を期待している。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）    | ・緊急事態宣言の解除及び新型コロナウイルスのワクチン接種開始に伴い、今よりは幾らか良くなると考える。  |
|    |          | その他飲食〔仕出し〕（経営者） | ・気温の上昇とワクチン接種開始により、以前の状態には戻らないが、徐々に回復する。  |
|    |          | 都市型ホテル（総支配人）    | ・東京の緊急事態宣言解除と行楽シーズンでの人の往来増加を見込む。ただし、現状では予約は非常に鈍い。   |
|    |          | 都市型ホテル（営業担当）    | ・緊急事態宣言が解除になると、需要が少し良くなってくるのではないかと。レストランの営業時間も1時間延長になるので、集客がしやすくなると思われる。                                  |
|    |          | 旅行代理店（経営者）      | ・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンの再開に期待している。3月7日までに緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが解除後すぐに再開されることを念頭に置いて判断する。 |
|    |          | 通信会社（企画担当）      | ・春の人が動く時期を迎え、新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば、改善に向かうのではないかと思う。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）      | ・受験を終えた子供たちの携帯の機種変更が増える。学割も様々な通信会社から出ているので、それに乗って機種を購入する人や時期的に機種変更のタイミングの人たちが来店してくれるとよい。                  |
|    |          | 通信会社（営業担当）      | ・この業界は3月が最大の繁忙期である。期待したいが不安もある。   |
|    |          | レジャーランド（職員）     | ・新型コロナウイルスの第3波が収束し、緊急事態宣言が解除されれば、客足はある程度戻ってくると考えている。前年3月は、感染拡大に伴い臨時休業を余儀なくされたので、今年の春休みは感染防止対策を徹底して客を迎えたい。 |
|    |          | 美容室（経営者）        | ・緊急事態宣言が解除されれば、客も外出が増え、髪を意識するようになるのではないかとと思う。   |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）     | ・緊急事態宣言の解除で人の動きが回復する。それに合わせたキャンペーンなど効果が出ると考える。  |
|    |          | 商店街（代表者）        | ・良くなる環境がほとんど整っていないのが現状である。客の行事やイベント等の縮小が復活しないとなかなか伸びてこないと思う。  |
|    |          | 商店街（代表者）        | ・年明けより、来客数、販売量共に悪くなってきている。新型コロナウイルス禍から脱出しにくい限り、今後もしばらくの間はこの傾向が続くと感じている。                                   |
|    |          | 商店街（代表者）        | ・ワクチン接種によって少しでも社会が元どおりになれば良いが、供給量からみるとまだまだ時間が掛かりそうである。  |
|    |          | 商店街（代表者）        | ・新型コロナウイルスのワクチンを接種しないことには、緊急事態宣言が解除されても余り変わっていかないと思う。それには10月頃まで掛かるのではないだろうか。                              |
|    |          | 一般小売店〔結納品〕（経営者） | ・現在の政府の新型コロナウイルス対策ではなかなか収まらないと思う。したがって、景気も悪いままである。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------|---|
|    |          | 一般小売店〔土産〕<br>(経営者)   | ・生活様式の変化によって、ビジネス客の移動が減少したまま、団体旅行は復旧せず、辛うじてマイカー利用の家族旅行が少々である。前年比30%ダウンまで戻れば上々とみる。   |
|    |          | 一般小売店〔贈答品〕<br>(経営者)  | ・新型コロナウイルスの感染状況は、3か月先もまだ現状と変わらないことが容易に想像できる。残念だが客足は伸びてこないだろう。客は付き合いの幅を狭めているため、ギフト関係の来客数は3か月先でも戻らず、今のマイナスの状況が続くと考え。3か月程度では今までと変わらない。   |
|    |          | 一般小売店〔酒類〕<br>(経営者)   | ・緊急事態宣言解除後も飲食店への客足はすぐには戻らない。アルコール離れが更に進んで、飲食店でのアルコールは限られた人だけでの消費が続くと思われる。   |
|    |          | 一般小売店〔生花〕<br>(経営者)   | ・やはり今しばらくはこの状態が続くと思う。   |
|    |          | 一般小売店〔果物〕<br>(店員)    | ・3か月ほどでは変わらない。  |
|    |          | 一般小売店〔和菓子〕<br>(企画担当) | ・新型コロナウイルスの影響がどのようになっていくかが読めない。   |
|    |          | 百貨店(売場主任)            | ・緊急事態宣言が解除されたら気兼ねなく来店する客が増えると思う。客に電話をすると、新型コロナウイルス禍で外出できないので取り置いてほしいという話も聞く。テレワークでビジネスシューズが売れなかったが、代わりにカジュアルなスニーカーなどが売れている。遠出ができないため、近場ということで若い客の来店も多いが、なかなか売上には結び付かない。   |
|    |          | 百貨店(営業担当)            | ・緊急事態宣言が解除されても、しばらくは自粛傾向が続くと思われる。   |
|    |          | 百貨店(販売促進担当)          | ・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスの第4波への警戒感で景気は戻らないと予測する。   |
|    |          | 百貨店(計画担当)            | ・新型コロナウイルスの感染状況は一進一退が続くと思われるので、しばらくの間は定期的に売上の増減が繰り返されると思われる。  |
|    |          | 百貨店(販売担当)            | ・緊急事態宣言解除により客足は戻らと思うが、大きな好転はまだ望めない。オンライン化が進み、実店舗での購入メリットがないとこの先伸びていくのか不安も残る。  |
|    |          | 百貨店(販売担当)            | ・客の数は増えているが、まだ春物を買うとかバレンタイン商品をたくさん買うといった様子はなかった。  |
|    |          | スーパー(商品開発担当)         | ・緊急事態宣言が解除され、影響が多少あるかもしれないが、現状と売上、来客数などはほぼ変わらないと思う。ここ数か月の数字を見ても大きな変化はなく、この先も同様に大きな変化はないのではないかと感じる。  |
|    |          | スーパー(販売担当)           | ・秋に大きな競合店がオープンする。それまでは来客数ダウン、客単価アップで全体としては売上が前年比100%にいかないという状態が続く。  |
|    |          | スーパー(総務)             | ・巣籠り環境はまだ変わらないと思う。新型コロナウイルスのワクチン接種もスタートしたばかりのため、景気は今と変わらないと考える。   |
|    |          | コンビニ(店長)             | ・緊急事態宣言は解除されたが、まだ飲食店等への県からの時短要請は少しの間ではあるが残っており、当面の間、売上の回復は緩やかであろうと思われる。   |
|    |          | コンビニ(店員)             | ・緊急事態宣言が解除され、気温も上がり過ごしやすくなるため、売上が上がると期待したい。   |
|    |          | 衣料品専門店(経営者)          | ・新型コロナウイルスの感染が収まって、年配客は外出を控える傾向がまだまだ続くと思われる。  |
|    |          | 家電量販店(営業担当)          | ・新型コロナウイルスに対するワクチンの提供がまだされておらず、依然不安な状態が継続されている。   |
|    |          | 乗用車販売店(経営者)          | ・またいつ新型コロナウイルスの感染が拡大するか分からず先が見通せない。   |
|    |          | 乗用車販売店(経営者)          | ・自動車購入の補助金もそろそろ打ち切りになるであろうし、今以上に良くなる要素が今はない。  |
|    |          | 乗用車販売店(従業員)          | ・客の様子から、新型コロナウイルス禍の雰囲気は落ち着いているような印象を受ける。ただし、新車の生産調整が続くとすると、これ以上の売上は見込めない。また、サービス工場への入庫も相変わらず節約のために控えられているため、売上が落ち込んでいる。本来なら就職で車を購入する客が増える時期であるが、リモートなどで出社の機会が減るため、車の購入をためらっている客も散見される。しばらくは代わり映えしない状況が続くように感じる。 |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-------------------------|---|
|    |          | 乗用車販売店（従業員）             | ・新車の増販が見込める要素はないが、メーカーが定期的に新車を投入している。また、客の消費が車に回ってきている感じもあり、悪くもならないと思われる。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）             | ・新型コロナウイルスの感染状況が、ひとまずは落ち着くと期待される。広告媒体による大々的な決算セールのお知らせや、客の気分が軽くなってれば店頭へも足を運んでもらえると期待したい。しかし、客の財布のひもは、まだまだ固いままだと感じている。   |
|    |          | 乗用車販売店（販売担当）            | ・車の販売量は元々1～2月は落ち込む。3～5月は増えてくると予想するが、新型コロナウイルスの影響がどうなるか分からない。  |
|    |          | 住関連専門店（営業担当）            | ・建築現場の新築、改修工事共に、新型コロナウイルスの感染状況から慎重な姿勢が強く、延期や中長期的に様子を見る客が多い。   |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当） | ・1月の数値は売上高が前年比マイナス10.8%、来客数は前年比マイナス16.6%で、当県に緊急事態宣言が発出された影響かと思われる。今のところ2月末には解除される見込みだが、2月も非常に厳しい状況が続いている。   |
|    |          | 一般レストラン（従業員）            | ・ワクチンを接種した人数が増えて団体客の利用が入るまで、夏くらいまでは期待できそうにない。   |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）             | ・緊急事態宣言が今後どうなるか分からず、2～3か月先の新型コロナウイルスの感染状況も予測が付かない状況である。このような状態が続くと、週末しか来客のない非常に限定的な景気回復しか見込めない。新型コロナウイルスのワクチン接種で感染者数が収まり、気候も良くなって経済政策も採られれば外出は増えるであろうが、非常に見通しにくいことから、現段階では景気は今の状況から変わらないと判断する。                                |
|    |          | 観光型ホテル（支配人）             | ・今後も宴会の予約は皆無に等しく、宿泊者数も20%程度にとどまっている。4月からは既に新型コロナウイルス禍の影響を受けているので、前年比での見方はできない。それよりも年度末の決算次第では、4月からの新年度自体が迎えられるかどうか不安である。  |
|    |          | 都市型ホテル（従業員）             | ・大学入学試験、資格試験も予定どおり開催され、その対応に当たった人の話などを聞くと、いろいろなイベントがコントロールされてきているように感じる。よほどのことがない限り、景気は変わらないと考える。   |
|    |          | 旅行代理店（経営者）              | ・暖かくなれば旅行シーズンのはずだが、ワクチン接種が行き届くには1年以上掛かるので、今の状況を乗り切るには支援しかないと思う。客もGo To Travelキャンペーンの再開に期待している人もいれば、余りGo To Travelキャンペーンで人が動き過ぎると旅行はしたくないという人もいるので、Go To Travelキャンペーン再開には慎重になってほしい。Go To Travelキャンペーンの予算を使って旅行事業者を支援できないであろうか。 |
|    |          | 旅行代理店（経営者）              | ・暖かくなるとともにワクチン接種も始まり、新型コロナウイルスの感染は減っていくと思われるが、経済活動でのオンライン会議や講演会の普及によって、人の動きが以前の状況に戻るには明らかに時間が掛かると考えられる。今後オンライン飲み会も増えれば、居酒屋需要も横ばいになっていく。   |
|    |          | 旅行代理店（営業担当）             | ・緊急事態宣言が解除される見通しではあるが、Go To Travelキャンペーンの再開は依然不透明な状態にあり、旅行需要が増える見込みが立たない。また、新型コロナウイルスの変異種ウイルスによる第4波の心配もあり、引き続き旅行や移動を自粛する傾向があると見込まれ、旅行需要は増えないと思われる。  |
|    |          | 旅行代理店（営業担当）             | ・東京オリンピック、パラリンピックが開催されるか否かで、その先しばらくの方向性が決まりそうである。今のところ、最悪のシナリオが想定される。   |
|    |          | タクシー運転手                 | ・長い間繁華街は人出が少なく景気の悪い状態が続いている。新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、景気の悪い状態が少し続くのではないかと思う。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                    | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|--------------------------|---|
|    |          | タクシー運転手                  | ・当地では緊急事態宣言が少し早めに解除されるが、依然として飲食店の営業は夜9時までの1時間延長されるだけであり、歓送迎会などももろもろのイベントもストップしている状態で、まだまだ見通しは全然立たない。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるため、3か月後には飲食店が少しずつでも良くなることを願う。 |
|    |          | タクシー運転手                  | ・新型コロナウイルスの感染が収束しても、しばらくは景気は戻らない。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）               | ・現状の傾向が維持されられると思われる。  |
|    |          | 通信会社（サービス担当）             | ・新年度が始まり少し上向きになるようにも感じるが、新型コロナウイルスによる収入減少で、安いサービスへの変更や解約も増加しそふに思われる。  |
|    |          | 通信会社（営業担当）               | ・回線廃止や安価な商品に変更する申込みが減っているの<br>で、このまましばらく良い状態が続くと思われる。   |
|    |          | テーマパーク職員（総務担当）           | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されるが、全国民に行き渡るのはまだ先になる。  |
|    |          | 観光名所（案内係）                | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の影響がどれだけ早く出るかによって大分変わらなと思うが、現在の予定の5～6月では、余り効果は現れていないと思われる。   |
|    |          | ゴルフ場（支配人）                | ・4～5月になるとゴルフにとって絶好のシーズンとなる。前年は新型コロナウイルスの影響が大きく、最悪のシーズンとなったが、今年は今の状態のまま順調に推移するものと思われる。   |
|    |          | その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当） | ・新型コロナウイルス終息の見通しが立たない。  |
|    |          | 美顔美容室（経営者）               | ・当地では新型コロナウイルスの感染者数は余り多くはないが、怖がっている人が多くいる。  |
|    |          | 美容室（経営者）                 | ・新型コロナウイルスの影響である。   |
|    |          | その他サービス〔介護サービス〕（職員）      | ・緊急事態宣言が解除の方向に向かえば、季節的な要素もあり改善傾向と見込んでいる。一方で、介護保険制度における福祉用具レンタルサービスの上限価格更改の影響もあり、既存契約の売上は減少する見込みである。   |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）              | ・悪くもならず良くもならず、悪い状態での横ばいが続いていく。  |
|    |          | その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）        | ・住宅リフォーム、企業事務所の改装工事など安定して受注している。  |
|    |          | その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）     | ・緊急事態宣言が解除されれば期待はできるが、見通しが全く付かない状況である。  |
|    |          | 一般小売店〔書店〕（経営者）           | ・恐らく東京オリンピックも開けないだろうし、余り明るい話題がないため、景気はやや悪くなると判断した。  |
|    |          | 百貨店（総務担当）                | ・緊急事態宣言が解除されるが、テレワークなどによりオフィスワーカーが減少しており、衣料品を始めランチや夕食需要は減少する。Go To Travelキャンペーンもまだまだ先のようにあり、出張や旅行客需要もなく、ワクチンの一般接種もまだ見えてない状況であり、まだまだ厳しい状況は続く。          |
|    |          | スーパー（店長）                 | ・前年の新型コロナウイルス特需との比較をしていくと、かなり厳しい戦いになるだろうと予測される。   |
|    |          | スーパー（店長）                 | ・緊急事態宣言が解除され新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり出したことで、少しずつだが以前に戻りつつあると思われる。  |
|    |          | スーパー（支店長）                | ・まだまだ新型コロナウイルス禍からの脱却ができないと思われる。仮に脱却してもすぐに回復するとは思えない。持続化給付金を再度強く要望する。  |
|    |          | スーパー（販売担当）               | ・需要を掘り起こせるような商品が期待できない。今まで必要のあったマスク等の衛生用品も品余り状態になりつつあり、季節用品の状況も芳しくない感じである。  |
|    |          | コンビニ（店長）                 | ・緊急事態宣言が解除されても、購買マインドはなかなか回復しないと思われる。   |
|    |          | 家電量販店（フランチャイズ経営者）        | ・テレビやパソコン等のリモートワーク需要も一巡して、店に活気がない。緊急事態宣言が解除されても、Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの方に消費が向くのではないか。   |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）              | ・ここに来て新型コロナウイルスの感染が長期化している影響が出てきている様子で、車の所有台数を減らす客や、保険を解約する客がちらほらと出てきた。   |

| 分野                         | 景気の先行き判断  | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |   |
|----------------------------|-----------|---|---|---|
|                            |           | 乗用車販売店（経営者）   | ・4月以降は例年のことではあるが販売需要は一気に下がる。ただし、関東圏の緊急事態宣言が解除されれば地方においても活動が活発になることが予想される。   |   |
|                            |           | 乗用車販売店（従業員）   | ・何となくではあるが不透明感がある。このままストレートに良くなると思えないし、今月が良すぎただけとも思う。なぜ良いのかの理由も定かでないため、先々に今以上はないかもしれないと感じる。   |   |
|                            |           | その他専門店〔貴金属〕（経営者）  | ・ワクチン接種の状況次第でもあるが、これから半年は低迷すると思われる。年内にワクチン接種が行き渡ることができれば、来年からは回復を期待したい。それでも消費動向は、飲食や旅行から回復し貴金属は最終かと思われる。  |   |
|                            |           | その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）  | ・客先の人員の削減や規模縮小の計画が具体的になり、取引量の減少は避けられない。   |   |
|                            |           | 都市型ホテル（経営者）   | ・予約が全然入らない。   |   |
|                            |           | パチンコ店（経営者）  | ・新型コロナウイルス禍にあって従来よりも集客能力が落ちているため、景気はやや悪くなると判断した。  |   |
|                            |           | 理美容室（経営者）   | ・客との話から、給料は余り上がらないが物の値段は段々と上がっているのので、景気はやや悪くなっていくと思う。   |   |
|                            |           | 設計事務所（職員）   | ・景気対策以前に、新型コロナウイルスの影響がしばらく続くと思う。  |   |
|                            |           | その他住宅〔住宅管理〕（経営者）  | ・2～3月は法人の異動も多いが、本年は新型コロナウイルスの影響で少ない。まだこの状態が続くと、厳しさが増す。  |   |
|                            |           | ×   | 商店街（代表者）  | ・良くなる方法を教えてほしい。   |
|                            |           | ×   | コンビニ（店長）  | ・新型コロナウイルスの終息が見えてくるまでこの状況が続くと考える。                         |
|                            |           | ×   | 一般レストラン（経営者）  | ・新型コロナウイルスの影響がまだまだ収束しないと思われる。                             |
|                            |           | ×   | 一般レストラン（従業員）  | ・当地では飲食業支援金が出るが、たったの10万円では何にもならない。もっと持続化給付金のような対策を出してほしい。 |
|                            |           | ×   | テーマパーク（職員）  | ・ワクチンが行き渡るまでは不安定である。                                      |
|                            |           | ×   | 理容室（経営者）  | ・これからもまだまだ我慢が必要である。                                       |
|                            |           | ×   | 設計事務所（経営者）  | ・種まき案件がほとんどない。つまり、先の実施設計の当てはなれないため、確実に悪くなる。               |
|                            |           | ×   | 住宅販売会社（経営者）   | ・緊急事態宣言解除以降、景気が上向くのを期待するしかない。今は予測できない状況である。               |
|                            | ×         | 住宅販売会社（従業員）   | ・住宅建築やリフォームは、数か月後に景気が良くなると思う理由が全く見当たらない。  |   |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(東海) |           | 新聞販売店〔広告〕（店主）   | ・新型コロナウイルス感染者数の減少とともに、折込チラシの出稿量が増えてきている。  |   |
|                            |           | 化学工業（総務秘書）  | ・ワクチン接種が始まったので、街に人が戻り明るい雰囲気が出てくるのではないかと。宴会などは新型コロナウイルス発生以前の半分から減り、接待習慣が復活しないなど新常态もあるだろうが、我慢明けの特需は期待できるのではないかと。ただし、元々競争力のない店にはさほど人は戻らず淘汰されてしまうのではないかと。 |   |
|                            |           | 一般機械器具製造業（営業担当）   | ・引き合いが増えているので、ここから受注となる案件も増えていくことが予想される。  |   |
|                            |           | 電気機械器具製造業（経営者）  | ・新型コロナウイルスの影響が段々と収束すると同時に、設備投資も行われるという期待から、景気はやや良くなっていくのではないかと考える。  |   |
|                            |           | 輸送用機械器具製造業（管理担当）  | ・緊急事態宣言の解除で一気に外出が増え、一時的でも景気が回復しそうである。   |   |
|                            |           | 輸送業（従業員）  | ・緊急事態宣言解除の反動で、個人消費、特に飲食や観光業界の回復が見込める可能性がある。   |   |
|                            |           | 輸送業（エリア担当）  | ・新型コロナウイルス禍の1年が過ぎたが、ワクチン接種が始まったことによって明るい兆しが見え、将来の見通しが立ってきた。人々は、これから停滞していたものをばん回しようという基調になると思う。こうした世界中の期待感が経済に反映していくとの予測から、2～3か月後の景気は回復していくと考える。       |   |
|                            | 通信業（総務担当） | ・全国民のワクチン接種が唯一の明るい要素である。効果が少しずつでも検証されれば、先取りする事業が出現して、結果として景気は良くなっていく。 |   |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|---------------------|---|
|    |          | 金融業（従業員）            | ・これから新型コロナウイルスの関連で飲食店などには営業時間の規制が掛かるかもしれないため、景気とイコールで考えることが難しいが、工場などの生産性は若干上がりつつあるので、将来を考えるとどちらともいえないイメージである。         |
|    |          | 広告代理店（制作担当）         | ・今春以降、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、次第に経済も回復してくると思われる。  |
|    |          | 会計事務所（職員）           | ・緊急事態宣言の影響もあり、外出自粛が続くストレスがたまっている。一方、チケットが即完売になる舞台もある。今後宣言が解除され、また、ワクチンの接種が進めば、これまでの反動から一気に消費に向かうのではないかと。              |
|    |          | その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者） | ・当社では、通常は一生懸命働く一方でしっかり休暇を取り、働きすぎない方針を採っている。現在は一極集中の受注だが、他社からも少しずつ発注がきている。まだまだ苦難の状態が続くと思うが、正直、先は不確定で判断は難しい。            |
|    |          | 食料品製造業（経営企画担当）      | ・劇的な改善は期待できないものの、春夏物の新商品の発売による消費の拡大に期待したい。  |
|    |          | 窯業・土石製品製造業（社員）      | ・注文が非常に増えており前年の2倍以上となっている製品があり、前倒しの依頼もあるのでしばらくは堅調と思われる。   |
|    |          | 一般機械器具製造業（経営管理担当）   | ・受注量、販売量の見込みから判断する。   |
|    |          | 電気機械器具製造業（経営者）      | ・新型コロナウイルスも若干は落ち着き、先々には若干の回復が見込めそうだが、一方で鉄鋼の値上げ等マイナスの要因もあるため、景気は変わらないと判断した。  |
|    |          | 電気機械器具製造業（総務担当）     | ・通信業界における設備投資は当分の間、堅調と思われる。   |
|    |          | 輸送用機械器具製造業（品質管理担当）  | ・当地の航空機業界は現在底にあり、良くなることも悪くなることもない。何か新しいことが始まらなければこのままであると思うため、景気は変わらないと判断した。  |
|    |          | 輸送用機械器具製造業（総務経理担当）  | ・現状と何ら変わることはない。中国向けもしばらくは堅調と思われる。気掛かりなのは半導体の生産量が自動車業界にどれだけ影響を与えるかであるが、需要自体は堅調に推移すると思っている。                             |
|    |          | 輸送業（経営者）            | ・消費財は好調で生産財は微減の状況は変わらないと思われる。   |
|    |          | 輸送業（従業員）            | ・当県や関西圏では、緊急事態宣言の解除が前倒しになりそうである。そうなれば、少しずつ全体の荷動きは増えていくと思われる。ちょうど3月は繁忙期に当たるため、受注量については期待したい。                           |
|    |          | 輸送業（エリア担当）          | ・宅配は前年比では増えているが、前月比や前々月比では伸びていない。   |
|    |          | 通信業（法人営業担当）         | ・仕事が5割減少、休業手当なしの実質失業者は90万人との調査もある。海外に比べ倒産や失業者数は少ないが、世間の雰囲気はとも上向きとは言い難い。上向くためには、なお一層の内需拡大や5Gへのインフラへの設備投資等が必要である。       |
|    |          | 金融業（企画担当）           | ・景気にはやや改善傾向がみられるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないとなかなか劇的に変わってこない。当面、現状の景気が続くと思われる。  |
|    |          | 不動産業（経営者）           | ・3月の天候は例年とは異なり晴れの日が少ない予報であること、今後も新型コロナウイルスの影響を少なからず受けて支出を控えることから、今後も売上の厳しい状況は継続すると思われる。                               |
|    |          | 不動産業（経営者）           | ・資産の現金化や移動などで、活発な取引は続くと思われる。  |
|    |          | 行政書士                | ・補助金を得て助かっているからであり、良くなっているとは思えない。   |
|    |          | 会計事務所（職員）           | ・緊急事態宣言の発出以降、見た目としては新型コロナウイルスの感染者数は減少している。解除後にGo Toキャンペーンの再開などで旅行業や飲食業が活気付けば、感染者数の増加は懸念されるが、景気は今後それほど落ち込んでいかないとと思われる。 |
|    |          | その他サービス業〔ソフト開発〕（社員） | ・4月になると予算が付くことで新しい案件が発生すると思われるが、すぐに要員追加の要請があるとは思えない。  |

| 分野           | 景気の先行き判断 | 業種・職種             | 景気の先行きに対する判断理由  |
|--------------|----------|-------------------|---|
|              |          | パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問） | ・新型コロナウイルスのワクチン接種がスタートすれば、景気は回復モードに入るが、接種が遅れるという予想もあり、景気はまだまだ悪いと思われる。   |
|              |          | 鉄鋼業（経営者）          | ・鋼材の値上げが悪影響を及ぼし、受発注量が減っていく懸念を持っている。この時期は、年度末なので通常は他の月より1割ほど良いが、現状は他の月より悪い水準であるため、平年より10%くらい落ちている。                                   |
|              |          | 金属製品製造業（従業員）      | ・仕事量確保の不安に加え、鉄鋼材料を中心にした品不足や価格高騰でコスト高の不安も重なる。  |
|              |          | 電気機械器具製造業（営業担当）   | ・今後も削減傾向と思われる。  |
|              |          | 建設業（役員）           | ・今後は異動の時期が落ち着くので客の動きは減り、住宅への関心が薄くなるので来場者数、成約数共に減ると見込む。  |
|              |          | 建設業（経営者）          | ・政治家を見てみると、国民が一生懸命頑張っても希望が持てないと感じる。   |
|              |          | 通信業（法人営業担当）       | ・残念ながらワクチン接種が始まっても、財布のひもが緩むまではいかない。気持ちが安心に向かえる要素がない。東京オリンピック景気も期待できないため景気好転のチャンスはなく、逆にどんどん倒産や失業者が増えることは、素人でも察しが付く。                  |
|              | ×        | 食料品製造業（営業担当）      | ・時短営業が続くなかでは受注量の回復も見込めない。   |
|              | ×        | 出版・印刷・同関連産業（営業担当） | ・今の世の中の状況で景気が良くなるわけがない。新型コロナウイルス禍で困っている人と困っていない人の差がはっきり出ている。本当に困っている人は非常に大変だと思う。今後景気はもっと悪くなる。                                       |
|              | ×        | 金属製品製造業（経営者）      | ・引き続き引き合い数量も減少している。   |
|              | ×        | 公認会計士             | ・新型コロナウイルス禍で悪化した財政状態を改善するためには数年掛かり、その間、様々な経営改善をしなければ回復は困難と思われる。そのような状況下で多くの廃業や失業が発生すると思われる。今後の新型コロナウイルスの影響次第では、景気の急激な悪化が発生する可能性がある。 |
| 雇用関連<br>(東海) |          | -                 | -   |
|              |          | 人材派遣会社（企画統括）      | ・新年度に向けた採用の動きと、緊急事態宣言解除と新型コロナウイルスのワクチン接種開始の動きにより、多少の改善が見込まれる。   |
|              |          | アウトソーシング企業（エリア担当） | ・当地区の自動車製造業については、回復し良い方向へ向かっていたが、2月13日に発生した福島県沖の地震の影響で生産ラインの稼働停止があり、3月以降の生産体制にも影響が出ると予想される。また、今後の生産体制に半導体不足の影響が出ないか懸念される。           |
|              |          | 新聞社〔求人広告〕（営業担当）   | ・緊急事態宣言が解除されれば、非正規雇用からにはなると思うが求人活動も回復してくると考えている。  |
|              |          | 職業安定所（職員）         | ・新型コロナウイルス感染も落ち着いてきており、2月に入っても運輸、製造業で大口求人が出てきている。   |
|              |          | 職業安定所（次長）         | ・県内での新型コロナウイルスの感染者数が減少しており、この状況が更に続き緊急事態宣言等が解除されたら、今の状況よりは良くなると思う。新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が現れてくると想定すると、現状より改善すると考える。                     |
|              |          | 職業安定所（次長）         | ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の延長による停滞感も、前倒しで解除の動きがあり、業種によりばらつきはあるものの、新規求人数の前年同月比のマイナス幅も徐々に改善されている。この傾向が更なる改善に向かうものと思われる。                 |
|              |          | 民間職業紹介機関（支社長）     | ・面接の通過率が新型コロナウイルス発生以前に戻りつつある。   |
|              |          | 民間職業紹介機関（窓口担当）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種や東京オリンピックなどから先が明るい見通しを肌で感じるようになると、少しずつではあるが各業界とも上向きの要素になり得るため、一時縮小傾向にあった求人依頼も増加するのではと感じている。                        |
|              |          | 人材派遣業（営業担当）       | ・ワクチン接種が始まっても、当面新型コロナウイルスの影響から脱出することは困難と想定する。   |
|              |          | 人材派遣会社（社員）        | ・忘新年会に続き歓送迎会の利用も控えるよう発表され、良くなる見込みがない。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種           | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-----------------|--|
|    |          | 人材派遣会社（営業担当）    | ・4月採用数が増加傾向にあると考えていたが、思ったほどの採用増加とはならず、新卒配属が落ち着くまでは、派遣・中途採用の変化は大きくないとする。  |
|    |          | 人材派遣会社（営業担当）    | ・求人件数が戻ってこない状況から、緊急事態宣言が解除されない限り先行きに不透明感がある。   |
|    |          | 新聞社〔求人広告〕（営業担当） | ・既に限界の状態が続いており、今と変わらないか、場合によっては更に悪化する。一時期カンフル剤となったG o T oキャンペーン施策も、一時停止前の失敗により今後は期待できず、東京オリンピックの判断次第では消費マインドが更に硬直化して、景気の悪化につながる。 |
|    |          | 職業安定所（所長）       | ・新規求職者は増加していないが、企業が採用を手控えているため再就職へのハードルが上がり、求職者の滞留が続いている。  |
|    |          | 職業安定所（職員）       | ・新型コロナウイルスのクラスターが多く発生しているなかでの緊急事態宣言解除やG o T oキャンペーン再開の報道で人の移動があり、新型コロナウイルス感染の再拡大が懸念される。ワクチン接種も4月以降であり、楽観した見方はできない。               |
|    |          | 職業安定所（次長）       | ・求人数に特段の変動は見受けられない。また、現時点で変動の予兆とみられる動きも把握できない。   |
|    |          | 民間職業紹介機関（営業担当）  | ・4月新卒採用の段取りに着手している会社も増え、年度明け以降も一定の求人数は残り続けるが、6月以降ぐらいから求人件数、転職希望者数も増えてくると想定する。  |
|    |          | 学校〔専門学校〕（就職担当）  | ・医療従事者である看護師養成課程の本学において、新型コロナウイルスの影響は採用に直接反映される。前年と比べ、採用説明会への病院の参加件数が減少しており、採用の鈍化を感じている。   |
|    |          | 人材派遣会社（営業担当）    | ・ワクチン接種が始まったが、引き続き感染リスクはあり、新型コロナウイルス禍による不景気が継続しそうである。  |
|    | x        | 人材派遣会社（営業担当）    | ・2～3か月後は、主要客の請負取引における予算削減の影響により業務終了者が増えている時期で、拠点のエンジニア稼働率は今月よりも大幅にダウンしていることが予想される。   |

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断 | 業種・職種                 | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------------------|----------|-----------------------|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(北陸) |          | コンビニ（店舗管理）            | ・緊急事態宣言の解除やワクチンの普及など、新型コロナウイルス禍の閉塞感を打破する雰囲気があり、好転するはずである。   |
|                            |          | 一般レストラン（統括）           | ・景気が良くなると考える理由は3つある。ワクチン接種の開始、首都圏や関西圏の緊急事態宣言の解除、年度末から新年度で人が動く時期であることなどから、2月よりも消費者が動き始め、景気が上向きになるとみている。  |
|                            |          | 商店街（代表者）              | ・今が最悪の状況であってほしい。連鎖的に悪くなる可能性はあるが、何とかしのげば良くなる可能性は高いと考える。  |
|                            |          | 商店街（代表者）              | ・3月7日の緊急事態宣言の解除以降については様子見の状態が続くだろう。ネット通販は前年並みに推移しているが、平均単価は低い。前年の花見シーズンより始まった新型コロナウイルス禍だが、今年は期待したい。   |
|                            |          | 百貨店（販売促進担当）           | ・自粛ムードは和らぐが、いきなり旅行や集まりに行くとは考えにくい。引き続き、巣籠り需要を切り口に総菜や取り寄せの食関連や、ウェア、寝具等のリラクシング用品の住関連を中心に動きがあるとみている。  |
|                            |          | スーパー（店長）              | ・ワクチンの効果は未知数だが、心理的には前向きに捉えている。  |
|                            |          | 乗用車販売店（従業員）           | ・新型コロナウイルスの影響が気になるが、通常3月は繁忙期であり、期待している。   |
|                            |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（統括） | ・全国的な新型コロナウイルス感染者数の減少による緊急事態宣言解除の流れから、新生活の動きがある程度は活発になるとみている。また、1～2月の自粛生活や豪雪など雪の影響による行動控えなどの反動から、衣料や服装、住居、余暇関連商材で動きがあるとみている。この時期の動きが活発になれば、上半期はある程度景気が持ち直しになると期待している。 |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|----------------|--|
|    |          | 観光型旅館（経営者）     | ・感染者数の減少、医療関係者へのワクチン接種で新型コロナウイルスに対する免疫ができることなどにより、Go To Travelキャンペーンの再開や、東京オリンピックなど、明るい話題が出てきているように見える。  |
|    |          | 通信会社（職員）       | ・新型コロナウイルスワクチンの動向によるが、多少接種に時間が掛かって、期待感が景気を後押ししそうである。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）     | ・携帯電話業界にとって、毎年恒例の繁忙期がやってくる。販売数が増加し、景気が良くなることに期待したい。  |
|    |          | テーマパーク（役員）     | ・緊急事態宣言の解除やGo To Travelキャンペーンの再開などがあれば、やや良くなると思う。  |
|    |          | パチンコ店（経理）      | ・当県では、新型コロナウイルスの影響が小さくなってきているとみている。  |
|    |          | 競輪場（職員）        | ・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の開始などにより、客足が安定することを見込んでいる。  |
|    |          | 美容室（経営者）       | ・高齢者のワクチン接種が始まるので、高齢者の来店が多くなることに期待したい。   |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）    | ・2月後半から土地の問合せが増えるとともに、大雪でカーポートが潰れたり、屋根の直しが必要になったりした家も多くあり、家づくりの商談が増えている。土地の契約予定も増えてきているので、今後住宅の契約は増えると思っている。   |
|    |          | 住宅販売会社（営業）     | ・県内においては、新型コロナウイルスの感染が縮小傾向にあることや、冬の大雪により抑圧された気持ちが一定程度解放されるとみている。   |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、明るい話題をちらほらと聞くが、どれほどの景気回復になるか、まだ未知数である。   |
|    |          | 一般小売店〔精肉〕（店長）  | ・総菜に関しては、前年に少し届かないくらいの推移がずっと続いている。鶏や豚などの安い商材の動きが良く、牛などではブランド牛などの動きが今一つである。進物用が少ない気がする。今後は新型コロナウイルスの影響次第ということになるが、良くなる方向に向かってくれればという感じである。  |
|    |          | 一般小売店〔鮮魚〕（役員）  | ・緊急事態宣言が解除されれば、多少なりとも消費活動が活発化するとは考えるが、感染者数次第ではないかと考える。   |
|    |          | 一般小売店〔書籍〕（従業員） | ・良くなる要素はない。  |
|    |          | 百貨店（売場主任）      | ・3～5月は前年実績を超えるのは間違いないが、一昨年実績に対してどうなのかが1つの判断基準になる。今後もアパレルブランドの撤退や期間限定店舗の出店終了が続くため、油断できない状況が続く。  |
|    |          | 百貨店（販売担当）      | ・当店では3月に一部店舗改装を予定している。現時点では、新型コロナウイルスの感染状況はやや落ち着きが見え、緊急事態宣言の解除も予定されているので、心理的に楽になって近所への買物が増加すると期待している。そのため、改装オープン時は盛り上がりを見込んでいる。しかし、本格的に人々の行動が変わるのは、ワクチンなどの安心材料が増えてくるまで掛かると考える。店舗では買いやすい価格帯の商材や必需品などを増強し、需要低下を防止する体制を進めている。 |
|    |          | スーパー（店長）       | ・ワクチン接種が進み、行動がアクティブになっていくなかで、内食化傾向で伸びていた商品が低迷する反面、来客数の増加が鍵になると考えるため、イベントやセール強化、復活を検討していく。  |
|    |          | スーパー（店舗管理）     | ・総合的に来客数の増加は見込めない。ワクチンの効果も不透明な部分が多いため、過度な期待はできない。  |
|    |          | コンビニ（経営者）      | ・新型コロナウイルスによる影響がある。  |
|    |          | コンビニ（営業）       | ・ワクチンの接種状況や世評によるマインドの変化を期待しているが、先行きは不明である。   |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）    | ・ワクチンの予定が大幅に遅れているようで、当面は新型コロナウイルス発生前の売上水準には戻ってこないと思っている。   |
|    |          | 衣料品専門店（店舗運営）   | ・残念ながら回復に向かう要素が見当たらない。   |
|    |          | 家電量販店（本部）      | ・ワクチンに期待しているが、すぐには景気に影響が出ないと考える。   |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）    | ・新型コロナウイルスの影響で街中の人出は一向に増えていない状態で、まだまだ状況は変わらないとみている。  |

| 分野   | 景気の先行き判断 | 業種・職種                    | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------|----------|--------------------------|---|
|      |          | 乗用車販売店（役員）               | ・春を迎えたこともあるが、ワクチン接種が進むにつれて、新型コロナウイルスの感染拡大が縮小傾向になるとみている。一方で、2月にあった東北地方の地震により部品供給に支障が出ており、車の生産に遅れがみられるため、売上が4月以降にずれ込むことが懸念される。  |
|      |          | 自動車備品販売店（役員）             | ・緊急事態宣言の延長や解除等に市民は振り回されて、いい加減にうんざりしているという声が多いという実態があり、今はどんな状況下でも無駄な出費を抑えて自粛するという傾向が続くとみている。   |
|      |          | その他専門店〔酒〕（経営者）           | ・Go To Eatキャンペーンの締切りが1月から2月に延長され、更に2月から4月まで延長となっている。しかしながら、プレミアムが付いても購入するための現金が回ってこないというのが現状であり、この先も景気は良くなるならず、このままの状態が続くのではないかと考える。  |
|      |          | 高級レストラン（スタッフ）            | ・3か月後の状況を予測することはできないが、新型コロナウイルスワクチンの効果を感じられるのは、まだまだ先の話になると考える。  |
|      |          | 一般レストラン（店長）              | ・新型コロナウイルスの影響次第である。   |
|      |          | 観光型旅館（スタッフ）              | ・3か月先の予約保有状況を前年と比べてみると、10月時点では114%、12月時点では85.4%、1月時点では36%である。Go To Travelキャンペーンの一時停止の影響で、大きく悪化している。   |
|      |          | 都市型ホテル（スタッフ）             | ・宿泊、レストラン、宴会共に、前年4～5月の底に次ぐ低い売上が1月に続き2月も続いており、全く先がみえない。緊急事態宣言は対象地域以外にも大きな影響が出ていると強く感じている。  |
|      |          | 旅行代理店（従業員）               | ・Go To Travelキャンペーンの停止が終わって旅行に行く人が増えてきたとしても、すずめの涙にしかならない。客の間で、団体旅行にかなりの拒否感が芽生えているのではないかと考える。個人旅行ならインターネット販売事業者に勝てるはずもなく、厳しい状況が続くとみている。  |
|      |          | タクシー運転手                  | ・まだまだ新型コロナウイルスの感染状況が収まらないことから、しばらくはこのままの状態が続きそうである。ワクチン接種が始まって状況が安定するまで、タクシーの仕事は回復しないようにみえる。  |
|      |          | タクシー運転手                  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が、一般の人まで始まらなければ難しいと考える。  |
|      |          | 通信会社（営業担当）               | ・3月中旬までは今の状況が続くとみている。   |
|      |          | 通信会社（役員）                 | ・ここ数か月前と同様に、前年同期並みの契約者数で推移すると考える。   |
|      |          | 住宅販売会社（従業員）              | ・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡り、経済が回り始めるまでにはまだまだ時間が掛かりそうである。   |
|      |          | 一般小売店〔事務用品〕（店員）          | ・新型コロナウイルス禍で働き方がますます変わり、従来のオフィス関連用品の需要が見込めない。   |
|      |          | スーパー（総務担当）               | ・今後、廃業が増えていくと考える。   |
|      |          | 衣料品専門店（経営者）              | ・新型コロナウイルスによる先行きの不透明感は、すぐには収まらないと考える。   |
|      |          | 家電量販店（店長）                | ・新型コロナウイルス禍の先行きが見えないため、特別定額給付金などの特需がない限り先行きは良くなさそうである。  |
|      |          | スナック（経営者）                | ・当地では4月に選挙があるため、新型コロナウイルスと選挙という悪い要因が重なって、楽観できないとみている。   |
|      |          | その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人） | ・新学期に入る前に子供のスクール退会者が出てくるが、それにあわせて新規会員獲得のための販売促進が例年のようにできなければ、前年同様大変厳しいスタートになるとみている。   |
|      |          | 住宅販売会社（従業員）              | ・一部のエリアで飲食店が時短営業となり、先行きは不透明であるとみている。  |
|      | x        | コンビニ（店長）                 | ・雪さえ積もらなければ、来店客の動きは例年より1割減少しているものの、通常どおりになりつつあると感じる。しかし、当社では粗利が固定費を下回る月が3か月続いており、事業が維持できない状態が続いている。過去の内部留保もここ1年で使い果たしており、今後事業を維持するためにやむなく人員の整理や採算の取れない事業所の閉鎖を模索しなくてはいけないくらい、経営がひっ迫している。 |
| 企業動向 |          | 一般機械器具製造業（経理担当）          | ・自動車部品関係を中心に旺盛な受注が入ってきており、材料や人員の確保に追われる状況が当面続くと見込んでいる。  |

| 分野               | 景気の先行き判断 | 業種・職種             | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------------------|----------|-------------------|---|
| 関連<br>(北陸)       |          | 通信業（営業）           | ・緊急事態宣言が緩和され、国や県の補助金が活用されれば、現在よりも大幅に良くなる考える。  |
|                  |          | 食料品製造業（経営企画）      | ・期待を込めてではあるが、新型コロナウイルス禍であっても、新しい形でゴールデンウィークの需要があるのではないかと考える。  |
|                  |          | 金属製品製造業（経営者）      | ・2～3か月先の受注量から、やや良くなる。   |
|                  |          | 一般機械器具製造業（総務担当）   | ・新型コロナウイルス禍ではあるが、国内市場の客の来社が増えてきて、引き合いも増加している。また、生産回復により一時帰休が2月末で終了している。   |
|                  |          | 精密機械器具製造業（役員）     | ・国内外共に不安要素は多い状況ではあるが、予約分等を含めて全体的な販売量や生産数量は増えてきている。  |
|                  |          | 金融業（融資担当）         | ・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスワクチンの接種開始など、事態の改善となる材料が出てきている。感染者数の推移にもよるが、3か月先は現在より改善していることを期待する。   |
|                  |          | 不動産業（経営者）         | ・2か月ほど先には、一般客や法人関係客が少し出てくるように聞いている。   |
|                  |          | プラスチック製品製造業（企画担当） | ・回復の兆しは出てきているが、まだ当分は予断を許さない状況が続くとみている。本格的な回復にはかなりの時間を要すると考える。   |
|                  |          | 建設業（経営者）          | ・新型コロナウイルス禍で低迷を続ける業種や廃業に向かう事業者と、回復に向かう業種や事業者との二極化が更に進み、全体としては良くも悪くもならないと考える。  |
|                  |          | 建設業（役員）           | ・決して見通しは良くないものの、受注動向からすると、先行き悪化の懸念が前月よりは多少和らいだ感がある。   |
|                  |          | 金融業（融資担当）         | ・宿泊、旅客、飲食及びこれらと関連の深い業種は厳しい状況が続いている。その他の業種においては受注回復の兆しもみられ、全体では底を脱しつつある。   |
|                  |          | 新聞販売店〔広告〕（従業員）    | ・2月も前年同月の売上を下回っている。新型コロナウイルス禍で落ちた売上は、ここ数か月80%台後半に落ち着いてきている。しかし、この辺が売上の頭打ちで、完全復旧は難しいと考える。  |
|                  |          | 税理士（所長）           | ・政府主導の資材購入や電力関係の会社など大手企業を中心とした需要は潜在的に高いのではないかとみている。特に工事関係は順調である。ただし、これは工事をする会社が減少していることが大きく影響している。個々をみていると受注状況は良いのだが、全体の工事需要が高まっているとは思えない。全体としてはそれほど悪くはならないと期待している。 |
|                  |          | 司法書士              | ・新型コロナウイルスの影響による個人事業者破産についての相談を受けている。   |
|                  | x        | -                 | -   |
| 雇用<br>関連<br>(北陸) |          | 人材派遣会社（社員）        | ・年度が替わり、また、徐々にではあるが新型コロナウイルスの感染拡大の鎮静化に伴い、多少なりとも求人が増加するのではないかと考える。   |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種による現状打破への期待感から、少しずつ景気が上向くとみている。  |
|                  |          | 人材派遣会社（役員）        | ・派遣登録者数が増加しない。  |
|                  |          | 求人情報誌製作会社（編集者）    | ・雇用の回復になるような大型雇用が出てこない。   |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（営業）     | ・ワクチン接種の結果など、新型コロナウイルス禍で確たる安心がないと、活動が戻らないのではないかという声が多い。   |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・求人数は前月よりも増加傾向にあるが、ここ1年新型コロナウイルスの影響に耐えてきた事業所の経営が、今後耐え得るのか不明である。   |
|                  |          | 職業安定所（職員）         | ・ワクチン接種が開始になるが、新型コロナウイルスの影響は、まだ落ち着きをみせない。   |
|                  |          | 民間職業紹介機関（経営者）     | ・新型コロナウイルス禍で企業は採用を自重している。できるだけ現有戦力で乗り切りたい気持ちが強くみられる。ただ、1年先や新卒採用には前向きであり、企業の説明会や面接会は盛況である。   |
|                  | x        | -                 | -   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----|----------|-------|----------------|
|----|----------|-------|----------------|

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断  | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------------------|-----------|---|--|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(近畿) |           | 百貨店（売場マネージャー）   | ・前年の3月から、時間短縮営業や部分休業などが余儀なくされ、売上は大幅に減少していた。今年は緊急事態宣言も解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種への期待から、売上や来客数が増加すると予想される。  |
|                            |           | 百貨店（外商担当）   | ・恐らく緊急事態宣言の解除明けの3月からはイベントも再開する見込みで、インバウンドを除く消費は、ほぼ新型コロナウイルスの感染前の水準に戻ると期待される。   |
|                            |           | 一般小売店〔花〕（経営者）   | ・緊急事態宣言が解除となるため、取引先の営業も始まった。経済が動き出せば、徐々に景気は良くなると予想される。   |
|                            |           | 一般小売店〔衣服〕（経営者）  | ・緊急事態宣言が解除されれば、多少は来客数、売上共に増加することが予想される。  |
|                            |           | 一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）   | ・緊急事態宣言が解除されれば、店舗もオープンするため、必然的に売上は上がる。   |
|                            |           | 百貨店（売場主任）   | ・新型コロナウイルスの感染対策で来客数が少ないなか、カテゴリーや企画によっては成功している部分もある。感染防止のための規制が弱まれば、客足も回復することから、更に改善していくことが期待される。   |
|                            |           | 百貨店（販促担当）   | ・いよいよ新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、気候も暖かくなる。無意識に我慢してきた心理が開放されることで、ファッションや旅行などの様々な需要が高まると予想される。新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるものの、明るく楽しい話題づくりをキーポイントに、外出を促す仕掛けができればと考えている。 |
|                            |           | 百貨店（サービス担当）   | ・新型コロナウイルスの感染拡大により、前年は営業を自粛し、食品以外の売場は閉めていたため、今月は良くなると予想される。  |
|                            |           | 百貨店（マネージャー）   | ・新型コロナウイルスの感染者が日々減少しているほか、ワクチンの接種が始まり、株価も高値で推移しているため、現在よりもやや良くなると予想している。   |
|                            |           | 百貨店（販売推進担当）   | ・緊急事態宣言も3月から解除され、今後は人出の増加が予想される。解除による解放感で、景気が浮揚することを期待している。  |
|                            |           | 百貨店（外商担当）   | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種が少しずつ進むのに伴い、人々の安心感が広がり、購買意欲の向上につながると考えられる。   |
|                            |           | 百貨店（特選品担当）  | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の開始や、気温の変化など、現状に比べると、マイナス要素よりプラス要素の方が多い。  |
|                            |           | 百貨店（マネージャー）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化することで、感染症対策が安定する。また、東京オリンピック関連の需要や、緊急事態宣言の解除によるリベンジ消費など、消費の増加につながる要素に期待している。  |
|                            |           | 百貨店（宣伝担当）   | ・新型コロナウイルスの感染者数が減少してきた2月中旬以降から、人出が増えている。また、免税対象ではないが、中国の春節に伴って在日外国人客の需要が高まり、一部のブランドで売上が急増している。3月以降は、これまでの買い控えの反動による需要を期待し、あらゆる施策を用意している。               |
|                            |           | 百貨店（マネージャー）   | ・新型コロナウイルスへの慣れや、ワクチン接種の具体的なスケジュールの決定による、安心感や気の緩みなどで、消費意欲が高まると予想される。それらを確実に取り込むための対策が、より一層求められる。  |
|                            | スーパー（店長）  | ・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスのワクチンの効果次第であるが、春の行事が再開されていくため、人の移動に伴って景気が刺激される可能性が高い。          |  |
|                            | コンビニ（経営者） | ・企業でのリモートワークのスタイルが定着しつつあるため、緊急事態宣言が解除されても、周辺での日中の労働者人口は元に戻らないが、今よりも多少は良くなることが期待される。 |  |
|                            | コンビニ（経営者） | ・新型コロナウイルスのワクチンができれば、感染は収束に向かうと予測されるため、テレワークも多少は少なくなり、ビジネス街にも人が戻ってくる。               |  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                  | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|------------------------|--|
|    |          | コンビニ（経営者）              | ・緊急事態宣言の解除後、今まで制限されていた娯楽や買物の時間帯を気にすることがなくなれば、改善が進むと予想される。  |
|    |          | コンビニ（店長）               | ・緊急事態宣言の解除とともに、人の動きも戻る。  |
|    |          | コンビニ（店員）               | ・新型コロナウイルスの影響で、近隣の公園などで過ごす人が多く、休日も弁当やおにぎりなどがよく売れている。暖かくなれば、外で過ごす人がもっと多くなり、コンビニの利用が増えそうである。   |
|    |          | コンビニ（店員）               | ・緊急事態宣言が解除になり、外出する人が増えると予想される。   |
|    |          | コンビニ（店員）               | ・緊急事態宣言が解除され、暖かくなるため、客足も戻ってくる。   |
|    |          | 衣料品専門店（店長）             | ・これから3～5月は販売が伸びるシーズンに入る。新型コロナウイルスの感染も、ひとまずは収束の方向に向かっており、上向きになることを期待している。   |
|    |          | 衣料品専門店（販売担当）           | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、少しは普通の生活が戻ると予想される。   |
|    |          | 衣料品専門店（営業・販売担当）        | ・今は近辺を歩いている人や、来店客も少ないが、2～3か月後には出歩く人も増えそうである。   |
|    |          | 家電量販店（店員）              | ・緊急事態宣言の解除をきっかけに、今よりも来客数が増える。ステイホームでのストレスが発散され、購買意欲は更に高まると感じる。   |
|    |          | 家電量販店（店員）              | ・引っ越しの下見での来店が増え、成約率も上がる。また決算月でもあるため、売上も増えるなど、景気は良くなる見込みである。  |
|    |          | 家電量販店（企画担当）            | ・新生活需要や引っ越し需要により、大型家電などがセットで大きく動く予想される。  |
|    |          | 家電量販店（人事担当）            | ・新生活関連の需要が、遅れて出てくると期待している。また、今年は気温が低く、花粉症対策の家電の動きも遅れていたが、今後は動きが出てくると予想される。   |
|    |          | 乗用車販売店（販売担当）           | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、外出の機会も増え、車の買換え需要にも拍車がかかると予想される。   |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）           | ・決算期になるため、電気自動車に興味を持つなど、客の購買意欲が増す。   |
|    |          | 乗用車販売店（販売担当）           | ・新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールにもよるが、先が見通せることによる安心感が生まれれば、市場の回復も見込まれる。  |
|    |          | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当） | ・緊急事態宣言の解除後は、景気の回復がある程度見込まれる。  |
|    |          | 高級レストラン（スタッフ）          | ・緊急事態宣言が解除されるほか、春という季節柄、人の流れは必ず増えると予想される。  |
|    |          | 高級レストラン（企画）            | ・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーン事業も再開される。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）           | ・新型コロナウイルスのワクチンの普及や、感染減少への期待、季節の変化、東京オリンピックの準備の開始などで、徐々にではあるが景気は良くなっていくことが期待される。ただし、大阪に関してはまず訪日客からの来日が始まらなければ、景気の回復は進まない。                  |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）            | ・3月下旬頃から少しずつ予約が入っているが、Go To Travelキャンペーンの再開までは、引き続き厳しい状況が続くと予想される。   |
|    |          | 観光型旅館（経営者）             | ・緊急事態宣言の解除を目前に、少しずつ回復してきている。   |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）           | ・緊急事態宣言の動向により、宴席を開催するかどうか決めている企業が多く、3月初旬まではほぼキャンセルとなった。その反動で、3月下旬からは予約が少しずつ戻ってくると予想している。一方、レストランは2～4名のランチ利用が順調であるが、3月下旬以降はディナーの予約も戻ってきている。 |
|    |          | 都市型ホテル（フロント）           | ・関西では緊急事態宣言が解除予定で、春休みも間近であるため、旅行者の増加に期待している。また、リモートワークや巣籠り消費によるデイユースも伸びているため、今後も利用の増加に期待している。  |
|    |          | 都市型ホテル（管理担当）           | ・緊急事態宣言が解除され、多少は回復してくるものの、新型コロナウイルスの感染者数の動向や、Go To Travelキャンペーンの再開の動きから目が離せない。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                      | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------------|---|
|    |          | 都市型ホテル（販売促進担当）             | ・新型コロナウイルスの感染者数と宿泊者数の動きはつながっており、少しずつ感染者が減少しているため、緊急事態宣言の解除後は上向く。ただし、Go To Travelキャンペーンが実施されなければ、大きくは改善しないと予想している。実際に、前回の緊急事態宣言の解除後も、急に良くはならなかった。先の予約状況は、研修関係のグループやスポーツの団体は動き出しており、単価を安くしたビジネス客も集客できている。 |
|    |          | 都市型ホテル（客室担当）               | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染が収束すれば、抑えられていた消費が回復すると予想される。   |
|    |          | 都市型ホテル（総務担当）               | ・関西の3府県の緊急事態宣言は2月末で解除されると見込みであり、関東圏についても3月7日には解除されると見込まれる。それに伴い、春休みやゴールデンウィーク期間の宿泊需要や飲食店の来店客は、ある程度回復すると予想される。   |
|    |          | 旅行代理店（従業員）                 | ・Go To Travelキャンペーンの再開が期待される。   |
|    |          | 旅行代理店（役員）                  | ・Go To Travelキャンペーンの再開や、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始に対する期待感、東京オリンピックの開催に向けた高揚感などから、若干は良くなると予想される。  |
|    |          | タクシー運転手                    | ・緊急事態宣言が解除される見通しのため、先行きへの期待は大きい。  |
|    |          | タクシー運転手                    | ・兵庫、大阪、京都では緊急事態宣言が解除されると発表されたため、徐々にではあるが、人出が回復すると期待している。  |
|    |          | 通信会社（社員）                   | ・春以降、新型コロナウイルスのワクチンなどの動きも出てくるが、まだ半年以上はリモートワークの状況も変化しないと予想されるため、インターネットサービスへの加入は、ある程度の伸びが期待される。  |
|    |          | 通信会社（企画担当）                 | ・新型コロナウイルスの影響でデジタルシフトが進んでいるが、現状は予算が立てられない企業が多い。来期の予算でデジタルトランスフォーメーションを進めたいという声があるため、受注は増える。   |
|    |          | 通信会社（企画担当）                 | ・新型コロナウイルスの感染が収束すれば、アミューズメント施設への客足が戻ることが期待される。  |
|    |          | 観光名所（経理担当）                 | ・季節的にも新型コロナウイルスの感染者が減少するため、5月になれば宣言は完全に解除されると予想される。ワクチンの確保ができていないため、接種はなかなか進まないものの、時間が経過するにつれて徐々に経済も回復が進むと予想される。  |
|    |          | ゴルフ場（従業員）                  | ・緊急事態宣言が解除されれば、来場客が多くなり、単価も上昇する。  |
|    |          | その他レジャー施設<br>[複合商業施設]（職員）  | ・新型コロナウイルスの感染者数も順調に減少し、ワクチンの接種も始まったことから、当面は回復傾向が続く。   |
|    |          | その他レジャー施設<br>[イベントホール]（職員） | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種状況によるが、順調に接種が進めば、イベントの開催も上向きになると予想している。   |
|    |          | その他サービス[マッサージ]（スタッフ）       | ・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期になると来客数が減少する。例年、春先は客が増加するが、今年は新型コロナウイルスの影響で、どうなるか分からない。  |
|    |          | その他サービス[学習塾]（スタッフ）         | ・緊急事態宣言が解除されて新学期が始まり、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着けば、習い事などをする気持ちの余裕が出てくると期待している。   |
|    |          | 住宅販売会社（経営者）                | ・緊急事態宣言も解除されるため、今までの自粛ムードが改善される。  |
|    |          | 商店街（代表者）                   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅れており、しばらくは今のよう状況が続くと予想される。   |
|    |          | 一般小売店[珈琲]（経営者）             | ・はっきり言って、先行きは分からない。   |
|    |          | 一般小売店[野菜]（店長）              | ・東京オリンピックの開催もどうなるかが分からず、仮に開催しても無観客となるなど、寂しい大会になる。現在、小さな商売を続けている店は上向く要素がなく、当社も3月一杯で閉店することになっている。   |
|    |          | 一般小売店[呉服]（店員）              | ・新型コロナウイルスのワクチンの効果が現れ、経済が安定してくれば、元の状態に戻る。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------------|--|
|    |          | 一般小売店〔菓子〕<br>(営業担当) | ・緊急事態宣言が解除され、気候も良くなれば、今の状況よりも少しは良くなることを期待している。   |
|    |          | 百貨店(売場主任)           | ・新型コロナウイルス禍による売上の減少は落ち着くものの、以前の売上に戻るまでには至らない。また、商材間の好不調の格差が更に拡大すると予測される。特に、スーツを中心としたビジネス商材は更に厳しい。客の購買が全体的に上向き要素に欠けるほか、取引先も不安定な状態のため、厳しい状況が続くと予想される。                  |
|    |          | 百貨店(売場主任)           | ・新型コロナウイルスの感染開始から1年が経過し、前年比では上向きになりつつあるが、インターネット通販などの利用の増加や、外国人観光客が戻らないことから、来客数や買上客数は微増にとどまる。  |
|    |          | 百貨店(売場主任)           | ・緊急事態宣言が3月に解除される見込みで、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるため、感染が沈静化し、人の動きがどう変化するのが最大の焦点である。今のところは人の動きが完全に戻るとは考えにくく、当面は現状維持の状態が続くと予想している。  |
|    |          | 百貨店(企画担当)           | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるとはいえ、2～3か月では感染への不安感を払拭するまでには至らない。ここ数か月は、現状維持で推移するのではないかと予想している。   |
|    |          | 百貨店(商品担当)           | ・日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染対策が習慣となった生活様式が続けば、夏に掛けての気候の変化も加わり、感染収束への見通しが実感できるようになる。そうなれば、経済活動が活気を取り戻し、順調に動き出す。ただし、間もなく決定する東京オリンピックの開催可否や、秋の衆議院選挙なども絡み、景気の見通しは不透明である。 |
|    |          | 百貨店(営業推進担当)         | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、好材料が増えたと感じる一方、ワクチン接種後の生活様式が今と大きく変わるわけではないことも分かってきた。その結果、反動消費があるとは期待できず、企業活動が上向きにならなければ、個人消費の回復もない。   |
|    |          | 百貨店(店長)             | ・業績アップのためには、Go Toキャンペーンの再開といった経済支援策などで人の動きが増えないことには、消費の増加につながらない。  |
|    |          | 百貨店(店長)             | ・新型コロナウイルスの感染状況が見通せない。   |
|    |          | スーパー(店長)            | ・現在のように外食を控える分、食品を扱う小売店への需要が増えるという状況は、今後も続くとは予想される。  |
|    |          | スーパー(店長)            | ・テナントの退店が増えている。  |
|    |          | スーパー(店長)            | ・緊急事態宣言は解除されても、まだまだ自粛ムードは強く、飲食業、観光業のダメージは計りしれない。当然、小売業である当社への影響も大きい。   |
|    |          | スーパー(店員)            | ・年配の客がかなり減っている。新型コロナウイルスのワクチンもまだ少ないため、当分は変わらないと予想される。  |
|    |          | スーパー(企画担当)          | ・新型コロナウイルスの感染状況は急変しないと予想されるため、今の状態が続く。   |
|    |          | スーパー(開発担当)          | ・関西では緊急事態宣言が今月末で解除されるが、まだまだ新型コロナウイルス禍が続くなか、景気が良くなるとは思えない。株価も下がっており、新型コロナウイルスのワクチンがどれだけ広がるかに懸かっている。   |
|    |          | コンビニ(経営者)           | ・新型コロナウイルスの感染がもう少し収束しなければ、変わらない。   |
|    |          | コンビニ(店長)            | ・急に新型コロナウイルスの影響が改善するとは思えない。  |
|    |          | コンビニ(店員)            | ・緊急事態宣言が解除されるが、客との会話からは、まだしばらくは買物を抑える生活が続くと感じる。  |
|    |          | コンビニ(店員)            | ・来月のリニューアルオープンにより、乗客数の増加が期待される。  |
|    |          | 家電量販店(経営者)          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れから、感染の収束がまだ見通せない。先行き不透明感も払拭できないため、消費意欲が改善するとは思えない。   |
|    |          | 家電量販店(店員)           | ・購買につながる情報の入手方法が多様化することで、多くの情報が簡単に手に入るが、偏った情報が多いことも実感している。店舗での販売では、来店した客に寄り添った情報を伝えることで、状況の改善につながれば、販売も上向きになると感じる。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                    | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|--------------------------|---|
|    |          | 乗用車販売店（経営者）              | ・何が売れるのが、需要の動向が判断できない。  |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）              | ・新車の販売や、車検の予約数が減少している。  |
|    |          | 乗用車販売店（営業担当）             | ・新型コロナウイルスのワクチンが普及し、効果が出るまでは変わらないと予想される。  |
|    |          | その他専門店〔医薬品〕（経営者）         | ・新型コロナウイルスの感染予防に必要な衛生関連の雑貨は、引き続き動きが良い。ただし、業種を問わず、ほとんどの小売店ではマスクや消毒薬を値下げして販売しており、ドラッグストア以外でも購入できるため、需要が分散している。一方、2月中旬以降は暖かくなり、花粉が多く飛ぶ日もあるため、それらに関連する商品の動きは活発となっている。 |
|    |          | その他専門店〔宝石〕（経営者）          | ・新型コロナウイルスの感染が収まりつつあるため、順調にいけば、景気にプラスの要素が出てくる。株価の推移と景気は余り関係がないため、新型コロナウイルスの感染状況次第となる。   |
|    |          | その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）      | ・緊急事態宣言が解除となっても、ドラッグストアは関連商品の売上が維持できると予想される。新型コロナウイルス禍が落ち着いた後の売上を懸念している。  |
|    |          | その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）     | ・高騰する株価が実体経済を反映したものではないことは、皆が把握している。消費マインドの回復には時間が掛かる。  |
|    |          | その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）   | ・近く緊急事態宣言が解除される見込みであるが、当分、来客数の回復は見込めそうにない。  |
|    |          | その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター） | ・再びマスクの受注量が増加しているが、すぐに落ち着くと予想される。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）             | ・春には人の動きがあるため、新型コロナウイルスの感染者が増加し、再び緊急事態宣言が発出されるのではないかと心配している。  |
|    |          | 一般レストラン（企画）              | ・関東圏では新型コロナウイルスの感染者数の減少が鈍化しており、緊急事態宣言の解除後のリバウンドも懸念されるなど、先行きは全く見通せない。新型コロナウイルスのワクチン接種による効果に期待したい。  |
|    |          | 一般レストラン（店員）              | ・団体の1組当たりの来客数が増え、客単価も上がってきている。緊急事態宣言が解除されると、更に人出が多くなる。  |
|    |          | その他飲食〔ファーストフード〕（店員）      | ・ここ3か月間は余り変わらず、新型コロナウイルスの影響で来客数がかなり減少している。2月下旬は感染者数が少し抑えられていると感じるが、来客数の変化はない。   |
|    |          | 観光型ホテル（経営者）              | ・新型コロナウイルス感染症による大打撃を受けている。  |
|    |          | 都市型ホテル（管理担当）             | ・新型コロナウイルスの感染状況や、緊急事態宣言などの政府の方針に大きく左右されるため、先行きは読みにくい。   |
|    |          | 旅行代理店（店長）                | ・Go To Travelキャンペーンの再開で、客が若干戻ってくる可能性はあるが、まだ内容などが決まっていないため、現時点では何ともいえない。   |
|    |          | 観光名所（企画担当）               | ・国内客向けの集客策を実施しても、余り反応はなく、全く先がみえない。緊急事態宣言が解除されても、動きは鈍いと予想している。   |
|    |          | 遊園地（経営者）                 | ・新型コロナウイルスの感染第3波が収まりつつあり、人の動きが活発になることを願っているが、先行きの不透明さは変わらず、楽観はできない。   |
|    |          | 競輪場（職員）                  | ・例年であれば、ゴールデンウィークとなるため良くなるが、今年は新型コロナウイルスの影響で見通せない。  |
|    |          | 競艇場（職員）                  | ・緊急事態宣言が発出中であるが、前年から電話やインターネット投票が好調であり、大きな売上減もなく、高止まりが続いている。今後も現在の状況を維持しながら、推移していくことが予想される。   |
|    |          | その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）      | ・大阪は緊急事態宣言が発出中で、2月のコンサートは3月と5月に延期となった。3月からはプロ野球のオープン戦や公式戦が予定されているが、新型コロナウイルスの感染状況次第では、中止や無観客となる可能性がある。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないとしている。                            |
|    |          | その他住宅〔展示場〕（従業員）          | ・大阪府では、来月から緊急事態宣言が解除される見通しであるが、大型の集客イベントは開催できないため、しばらく来場者数に変化はない。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                         | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-------------------------------|--|
|    |          | その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）             | ・新型コロナウイルスのワクチンの報道をみても、一般の市民が接種できるのはいつになるか分からない。まだしばらくは、現状が好転することはないと予想される。  |
|    |          | その他住宅〔情報誌〕（編集者）               | ・新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化が、少しずつ住まいの選択の変化に現れ、市場を動かしている。首都圏が中心ではあるものの、在宅ワークによる働き方の変化が、各種の消費行動に影響を及ぼし、今後更に広がる気配が感じられる。                        |
|    |          | 一般小売店〔時計〕（経営者）                | ・暖かくなってくれば、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着いてくるが、マスクを始めとする様々なウイルス対策は続く。そういった不自由さは、暖かくなるにつれて煩わしくなると予想され、買物をして明るく過ごす生活は今のところ想像できない。                      |
|    |          | 一般小売店〔事務用品〕（経営者）              | ・関西では緊急事態宣言が解除されたものの、何がかわるのかという感覚があり、まだまだ景気は戻らないと予想される。  |
|    |          | スーパー（経営者）                     | ・前年の4～5月は、今回の緊急事態宣言に比べて制限の範囲も大きく、学校も休校となったため、売上が前年比で2けた以上跳ね上がった。この動きが3月中旬から顕著となったが、今年はそのほどの需要はない。大手企業を中心に、数字を作るための売出しが増えるのではないかと、警戒している。 |
|    |          | スーパー（店長）                      | ・新型コロナウイルスの影響の収束はまだまだ感じられない。来店1回当たりの買上点数は前年比で伸びているが、来店回数減少に歯止めが掛からない。  |
|    |          | スーパー（企画担当）                    | ・前年は新型コロナウイルスの感染拡大で売上が一気に伸びたため、前年比では数字が厳しいという状況にある。来客数の減少傾向は変わらず、客単価も下がり気味であり、もう1品を買ってもらったための対策が必要となっている。                                |
|    |          | スーパー（経理担当）                    | ・行楽シーズンを迎えるが、緊急事態宣言が解除されても、例年のような需要は見込めない。景気の悪化や所得の減少への懸念が強く、売上の伸びも徐々に鈍化することが予想される。  |
|    |          | スーパー（販売促進担当）                  | ・一部恩恵を受けている業種もあるが、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれて、徐々に景況感の減退が本格化すると予想される。  |
|    |          | スーパー（社員）                      | ・新型コロナウイルス禍が少しずつ収束していくなか、飲食店の営業時間の拡大や、外食疲れの反動により、客の食品需要が飲食店にシフトする可能性が高まると予想される。  |
|    |          | 乗用車販売店（経営者）                   | ・新型コロナウイルスの感染者数は減少すると予想されるが、収入の減少による個人消費の減少が徐々に顕在化してくる。その一方で、株高の恩恵に浴する人々はごく一部だと感じる。  |
|    |          | その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）        | ・大企業が入っているビルはリモートワークが進んでおり、自販機はただの箱になっている。ホテルも休業しており、なかなか厳しい。  |
|    |          | 旅行代理店（支店長）                    | ・緊急事態宣言が解除された後も、客の気持ちが旅行に行きたいというマインドには傾かない。Go To Travelキャンペーンがすぐに始まるとも思えず、状況は悪化すると予想される。   |
|    |          | タクシー運転手                       | ・新型コロナウイルスの影響で、ビジネス関係にとどまらず、夜の会食も自粛され、予約が激減している。   |
|    |          | テーマパーク（職員）                    | ・緊急事態宣言が解除されると、すぐに元どおりの生活に戻るのかといえば、恐らくそうではない。来場者の回復には、数か月の期間が必要であることは、容易に想像ができる。   |
|    |          | 住宅販売会社（経営者）                   | ・需要層の動きがいつ戻るのか、予想も立たない。  |
|    |          | 住宅販売会社（総務担当）                  | ・インターネット予約やオンラインでの折衝を進めているが、やはりメインの展示場への来客数が減っているため、契約は減少傾向にある。  |
|    |          | その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者） | ・消費は減少傾向にあり、今後は倒産件数や労働者の雇用状況が悪くなる。金融機関の融資姿勢も一段と厳しくなると予想される。  |
|    | x        | 一般小売店〔衣服〕（経営者）                | ・新型コロナウイルスの感染がどのように落ち着くのか、全く見当が付かないが、現在のような中途半端な状態が急に安定し、国民の意識も明るく変わっていくとは思えない。先が見通せない不安が非常に大きい。   |

| 分野                     | 景気の先行き判断            | 業種・職種  | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------------------------|---------------------|--|---|
|                        | ×                   | コンビニ（店長）   | ・新型コロナウイルスのワクチンも供給状況が定かではなく、働いている留学生の中には資金面で学校が続けられなくなったり、帰国しようにも飛行機が飛んでいないなど、深刻な状況に陥っている。  |
|                        | ×                   | 衣料品専門店（経営者）  | ・商品が売れなくなった今、今後どのように生活していけばよいか、指針を示してほしい。   |
|                        | ×                   | 衣料品専門店（経営者）  | ・新型コロナウイルス感染症に効果のあるワクチンの接種が、来年以降にずれ込む公算が大きい。今後1年間は、前年と大差のない状況が続くと考えられる。   |
|                        | ×                   | 住関連専門店（店長）   | ・これまでも不況の際は、企業や個人が年度替わりの時期に予算や計画を下方修正する傾向がみられたため、今春も同様の傾向になると予想している。  |
|                        | ×                   | 住関連専門店（店員）   | ・新型コロナウイルスの影響で生活困窮者が増えているため、良くはならない。  |
|                        | ×                   | その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）  | ・緊急事態宣言が解除されれば、外出は増えるものの、宝飾品の購入を考えるような余裕のある人は少ない。また、倒産や事業を整理する同業者も、これからまだまだ増えることが予想される。   |
|                        | ×                   | その他小売〔インターネット通販〕（経営者）  | ・個人店舗のできることは、従来の販売方法を続けることしかなく、衰退する一方である。   |
|                        | ×                   | その他飲食〔ジャズバー〕（店員）   | ・新型コロナウイルスの影響で、客離れが続いている。消費者の意識も変わってきていると感じる。   |
| 企業<br>動向<br>関連<br>(近畿) |                     | 木材木製品製造業（経営者）  | ・年末から開始した新規事業の評価が良く、徐々に注文が増えつつある。今後もその効果で、増収増益が見込まれる。   |
|                        |                     | 電気機械器具製造業（経営者）   | ・当社は紫外線関連の技術をベースに、様々な製品を開発している。今までは、一方的に新型コロナウイルスの悪影響を受けてきたが、最近になり、紫外線は新型コロナウイルスの殺菌に有効であるとの認識が高まっている。前年の中頃には紫外線とオゾンガスを利用した製品を開発し、販売を始めたため、それらが業績に貢献することを期待している。 |
|                        |                     | 食料品製造業（営業担当）   | ・新型コロナウイルスの感染者は少しずつ減少しており、自粛ムードも徐々に緩和されるため、少しは良くなる。   |
|                        |                     | 繊維工業（総務担当）   | ・スポーツ用の靴下に関しては、取引先からの受注量が増加傾向にある。ただし、そのなかでも屋内用の製品に限っては、3密を避ける傾向からか、注文がほとんどない。   |
|                        |                     | 化学工業（経営者）  | ・飲食店向けの商材を扱っている取引先は相変わらず厳しいが、その他の業界では問合せも増えているため、多少は良くなってくる。  |
|                        |                     | 化学工業（企画担当）   | ・原料コストの上昇を販売価格に転嫁できず、惨たんたる状況となっている。ただし、今後は緊急事態宣言の解除により、消費が戻ってくると予想される。  |
|                        |                     | 窯業・土石製品製造業（管理担当）   | ・関西圏や中部圏では2月末に緊急事態宣言が解除される見通しであるほか、新型コロナウイルスのワクチン接種も当初の予定どおりではないものの、徐々に始まる。   |
|                        |                     | 一般機械器具製造業（経営者）   | ・現在の景況は最悪であるが、少しずつ回復してほしいと願っている。  |
|                        |                     | 輸送用機械器具製造業（役員）   | ・搬送設備の新規引き合いが増えている。特に、産業機器関係の塗装ラインの引き合いが増加している。   |
|                        |                     | 輸送業（商品管理担当）  | ・3～4月は引越しシーズンとなるため、家具などの売上が増える。   |
|                        |                     | 通信業（管理担当）  | ・緊急事態宣言解除による景気の回復で、ほんの少し上向く。  |
|                        |                     | 金融業〔投資運用業〕（代表）   | ・株価は30年前のバブル期以来の高水準に迫ろうとしているが、いざ投資するとすると、二の足を踏まざるを得ない。この不況のなか、株価高騰の理由がはっきりせず、いつかのタイミングで一気に暴落しそうで怖い。   |
|                        |                     | 広告代理店（営業担当）  | ・3月には緊急事態宣言も解除となるため、広告出稿は戻ってくると予想されるが、感染の発生以前の水準には戻らない業種も多い。  |
|                        | 経営コンサルタント           | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むという前提で、経営者たちは事業のプランを立て始めている。当社に対しても、事業再構築補助金についての問合せが急増している。 |   |
|                        | その他サービス業〔店舗開発〕（従業員） | ・緊急事態宣言が間もなく解除となり、駅ナカでも各店の営業時間が少しずつ元どおりになる。新型コロナウイルスの感染防止に留意しながらも、徐々に回復が進むと予想される。            |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------------|--|
|    |          | その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）   | ・東京オリンピック関連の需要により、大型商業施設や百貨店の売上改善が期待される。ターミナル駅の売場での入込も増加していると感じる。  |
|    |          | 食料品製造業（従業員）         | ・緊急事態宣言も解除となり、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まるものの、簡単には元の状況に戻らない。   |
|    |          | 繊維工業（団体職員）          | ・新型コロナウイルスの感染収束が望まれる。緊急事態宣言も解除の見込みであり、市場の動きに期待している。  |
|    |          | 繊維工業（総務担当）          | ・まだまだ回復の兆しは見えてこない。和装については着て出掛ける機会が減っていることもあり、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まなければ、購入への意欲も出てこないように感じる。回復は来年以降になるのではないかと予想している。 |
|    |          | パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）  | ・取引先の様子には変化がなく、様子見の状態であるため、受注量が安定しない。  |
|    |          | 出版・印刷・同関連産業（企画営業担当） | ・新型コロナウイルスのワクチン次第となるが、企業のコスト削減の動きは続くため、余り変化はない。  |
|    |          | 化学工業（管理担当）          | ・自動車関連や、電気・電子部品関連の取引先からは、現在の状況が続くという情報を得ている。   |
|    |          | プラスチック製品製造業（経営者）    | ・先行きの雰囲気は重苦しいが、特に大きなマイナス要素は見当たらないため、現状維持が予想される。  |
|    |          | 金属製品製造業（経営者）        | ・半導体不足による自動車関連への影響には、多少の不安があるが、当面は今の状態が続く。   |
|    |          | 一般機械器具製造業（設計担当）     | ・新型コロナウイルスの影響が続きそうである。   |
|    |          | 電気機械器具製造業（営業担当）     | ・新規の案件が少なく、若干はあるものの、少額の案件が多い。  |
|    |          | 電気機械器具製造業（宣伝担当）     | ・緊急事態宣言下の現状も、明らかな荷動きの鈍化はみられなかったため、状況に大きな変化はない。   |
|    |          | 電気機械器具製造業（営業担当）     | ・新型コロナウイルスの影響が出ることが予想される。  |
|    |          | 建設業（経営者）            | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、打撃を受けた企業は設備投資にまで手が回らず、最低限の補修程度しか期待できない。一方、体力のある企業は粛々と計画目標を実施するなど、企業間格差は広がると予想される。           |
|    |          | 建設業（経営者）            | ・緊急事態宣言が解除されても、この状況はもう少し続く。その意味では状況は変わらず、本格的に企業活動が再開しなければ改善しないと感じる。  |
|    |          | 輸送業（営業担当）           | ・学習機の売れるシーズンであるが、品切れが発生しているため、売上は落ちる。  |
|    |          | 金融業（営業担当）           | ・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、良くならない。自粛行動にも限界があり、特に若い世代はおとなしくできないため、感染者が再び増加して緊急事態宣言が発出され、景気は良くならないと予想される。               |
|    |          | 新聞販売店〔広告〕（店主）       | ・緊急事態宣言は2月末で解除になるが、すぐに好転するとは考えにくい。   |
|    |          | 広告代理店（営業担当）         | ・紙媒体、Web媒体共に、広告売上は前年を下回る状況が続くと予想される。   |
|    |          | 司法書士                | ・緊急事態宣言が解除されるが、新型コロナウイルスの感染が収束したわけではないため、今後も厳しい状況が続く。  |
|    |          | その他サービス〔自動車修理〕（経営者） | ・緊急事態宣言が解除になっても、すぐに景気は良くならない。  |
|    |          | その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者） | ・新型コロナウイルスの影響が続くなかで、少しは先行きが見えてきたが、決定的な材料がないため、動きは変わらない。  |
|    |          | その他非製造業〔商社〕（営業担当）   | ・新型コロナウイルスのワクチンがどこまで有効なのかは不明であり、緊急事態宣言の解除の影響がどう出るのかも分からないが、感染が収束しても、少なからず影響は残ると予想される。                            |
|    |          | その他製造業〔履物〕（団体職員）    | ・緊急事態宣言は2月末で解除されそうであるが、依然として新型コロナウイルスの感染収束が見通せない。まだしばらくは、先のみえない苦しい状態が続きそうである。                                    |
|    |          | 建設業（経営者）            | ・3～4月の行事や宴会がなくなれば、飲食業に関わる業種では、いよいよ存続を考える店も出てくる。春のイベントが自粛になれば、住宅などでも消費意欲の減退につながる。                                 |
|    |          | 輸送業（営業担当）           | ・企業間の荷物が激減し、通販関連の荷物も約1年ぶりに減っている。   |

| 分野                   | 景気の先行き判断     | 業種・職種                        | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------------|--------------|------------------------------|---|
|                      |              | 金融業（副支店長）                    | ・今後の3か月間も、新型コロナウイルスの影響が続くと予想され、景気の回復は見込めない。   |
|                      | ×            | 金属製品製造業（営業担当）                | ・建築や住宅向けの受注が減少するなか、原料となる鋼材の値上げにより、採算の急激な悪化が予想される。   |
|                      | ×            | 不動産業（営業担当）                   | ・新型コロナウイルスのワクチンもなかなか入ってこず、まだまだ新型コロナウイルスの影響は続く予想される。これから春以降、景気は悪くなっていく可能性がある。  |
|                      | ×            | その他非製造業〔電気業〕（営業担当）           | ・新型コロナウイルスの影響で企業活動が活発化しないため、今後が見通せない。   |
| 雇用<br>関連<br><br>(近畿) |              | 人材派遣会社（役員）                   | ・PCR検査のCT値が下げられたともいわれているが、新型コロナウイルスの感染者数が低位で安定してきた。緊急事態宣言が解除され、ワクチンの接種が進み、東京オリンピックの開催が決まれば、良くなると予想される。  |
|                      |              | 人材派遣会社（営業担当）                 | ・緊急事態宣言が解除されれば、観光業や飲食業界に明るい兆しがみられることを期待したい。   |
|                      |              | 新聞社〔求人広告〕（管理担当）              | ・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かれば、国内に安心感が広がり、消費意欲や企業の求人意欲も高まる。ただし、4～5月頃に再び感染が拡大し、3度目の緊急事態宣言が発出されて景気が悪化するという懸念は残る。   |
|                      |              | 民間職業紹介機関（職員）                 | ・今後は現状よりも良くなると予想される。ただし、根本策がない状況では、緊急事態宣言が繰り返される可能性もあり、見通しは暗い。  |
|                      |              | 人材派遣会社（経営者）                  | ・今後も新型コロナウイルスの感染の収束次第であり、決め手になるのはワクチンが全ての人にいつ行き届くのかに尽きる。少なくともその計画の見通しがつくまで、各企業は慎重にならざるを得ない。一方、新年度からは少しずつ景気は上向き、ゴールデンウィーク明けから徐々に活発になっていくと予想される。今の派遣注文も、5月中旬から6月に掛けての1か月単位の注文が中心となっている。 |
|                      |              | 人材派遣会社（営業担当）                 | ・2～3か月の短期間では新型コロナウイルスのワクチンを接種できる人も限られるため、経済への影響は小さく、大きな変化もない。   |
|                      |              | 人材派遣会社（支店長）                  | ・IT業界は大きく落ち込むことはない予想されるが、新型コロナウイルスの感染収束の状況次第でかなり変わりそうである。ただし、既に高い株価については、大きく低下することも考えられる。   |
|                      |              | 職業安定所（職員）                    | ・2月は、1月の反動で新規求職者数が前年比で増加しているほか、新規求人数の減少が続いているため、有効求人倍率の低下が懸念される。一方、紹介件数の減少幅が縮小しており、年度末に向けて就職活動が活発化する兆しがみられる。  |
|                      |              | 職業安定所（職員）                    | ・景気は今よりも良くなるものの、緊急雇用安定助成金が期限を迎えれば、やむを得ず解雇者が出てくる。  |
|                      |              | 職業安定所（職員）                    | ・今後2～3か月は現状と変わらないと予想されるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まれば、人が動き始めるため、少しは改善が進むと期待している。   |
|                      |              | 学校〔大学〕（就職担当）                 | ・全てにおいて、不透明感が拭い切れない。  |
|                      |              | アウトソーシング企業（社員）               | ・退職者が出たため求人を掛けたが、応募がない。その一方、業務内容は増える見通しのため、人手不足のままでの運営となる。  |
|                      |              | 新聞社〔求人広告〕（担当者）               | ・関西の地元企業からは、緊急事態宣言が解除されても、すぐに回復基調に戻る様子はみられない。   |
|                      |              | 職業安定所（職員）                    | ・企業の採用意欲の低下により、新規求人数の減少傾向が続いているほか、求職者も雇用保険の個別延長給付が終了しても、新型コロナウイルスへの懸念で就職活動に消極的な人が多いなど、雇用環境の改善の兆しがみられない。   |
|                      |              | 民間職業紹介機関（営業担当）               | ・今月と比べて大きく変わることはないが、前年との比較では、求職者側の新卒学生の間で、準備をしている人としていない人の差が広がると感じる。その結果、数か月後には準備をしてきた質の高い学生が早々と内定し、準備をしてこなかった学生は更に遅れをとることになる。新型コロナウイルスを理由に就職活動をせず、就職浪人をするといった動きが、更に増えることが懸念される。      |
| ×                    | 学校〔大学〕（就職担当） | ・求人数が減少しており、買手市場へ移行が肌で感じられる。 |   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----|----------|-------|----------------|
|----|----------|-------|----------------|

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断         | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------------------|------------------|---|--|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(中国) |                  | 乗用車販売店（店長）  | ・予想以上に来客数が増加し始め、店がにぎわいを取り戻してきていることから、今後、販売台数も単価も伸長する。                                    |
|                            |                  | 都市型ホテル（企画担当）  | ・新型コロナウイルスが落ち着いてきており、気温も徐々に上昇するため、景気は持ち直してくる。人々の外食や旅行への枯渇感が反動となり、景気回復の後押しをする。            |
|                            |                  | 観光名所（館長）  | ・新型コロナウイルスが終息に向かい、観光業も回復する。  |
|                            |                  | 競艇場（企画営業担当）   | ・4月にG1競走、5月に企画レースが開催されるため、売上が増加する。   |
|                            |                  | 商店街（理事）   | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種が進むと、人々に安心感が生まれ、景気もやや良くなる。   |
|                            |                  | 商店街（代表者）  | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、人が街に出て、活気を取り戻す。   |
|                            |                  | 商店街（代表者）  | ・気温が上がり、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると、新型コロナウイルスの影響が緩和し、経済活動に動きが出てくる。                             |
|                            |                  | 一般小売店〔眼鏡〕（経営者）  | ・気温が上がり、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まることで、感染者数が減少し、景気はやや良くなる。                                      |
|                            |                  | 一般小売店〔靴〕（経営者）   | ・新型コロナウイルス対策補助金を活用し、非対面で低リスクの新事業を伸ばすことができれば、景気は良くなる。                                     |
|                            |                  | 百貨店（売場担当）   | ・客が新型コロナウイルスの感染を防ぐ自分の行動パターンを持ちつつあり、その範囲内で買物を楽しんでいる。新型コロナウイルスのワクチン等の効果が出れば、景気は少しずつ好転していく。 |
|                            |                  | 百貨店（外商担当）   | ・今後、気温が上がり、新型コロナウイルスが落ち着くことで、景気はやや良くなる。  |
|                            |                  | 百貨店（営業企画担当）   | ・新型コロナウイルスの影響が緩和することで、客の動きが良くなる。   |
|                            |                  | 百貨店（外商担当）   | ・2～3か月後には新型コロナウイルスのワクチンが浸透し、客の購買意欲が徐々に上昇してくる。  |
|                            |                  | スーパー（店長）  | ・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、新入学シーズン、ゴールデンウィークに向けて多くのプラス材料があることから、景気はやや良くなる。                     |
|                            |                  | スーパー（販売担当）  | ・これまで自粛していた宣伝広告やイベントを再開させる予定であるため、今後、来客数が増加する。   |
|                            |                  | スーパー（営業システム担当）  | ・緊急事態宣言の解除をきっかけに外での花見需要が増加し、食品や酒等の需要も増加する。   |
|                            |                  | コンビニ（エリア担当）   | ・緊急事態宣言の解除や新年度に入ること、景気はやや良くなる。   |
|                            |                  | コンビニ（エリア担当）   | ・ゴールデンウィークや東京オリンピックが控えているので、景気は少しずつ良くなる。   |
|                            |                  | コンビニ（支店長）   | ・週末のイベント開催等で人の動きが復活する。   |
|                            |                  | コンビニ（副地域ブロック長）  | ・緊急事態宣言の解除で、一気に観光客が増加し、来客数も増加していく。また、イベントが再開されれば、再開が更に回復を後押しする。                          |
|                            | 衣料品専門店（代表）       | ・気温の上昇や新型コロナウイルスのワクチン接種者の拡大により、新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、経済活動が活発になる。 |  |
|                            | 家電量販店（販売担当）      | ・決算期や夏商戦に入ること、景気はやや良くなる。  |  |
|                            | 乗用車販売店（統括）       | ・新型車効果により景気はやや良くなる。   |  |
|                            | 乗用車販売店（営業担当）     | ・決算もあり、商談の数が増加している。営業時間の短縮要請などが緩和されれば、景気は上向きになる。                |  |
|                            | 乗用車販売店（営業担当）     | ・来客数が徐々に増加しており、今後、景気はやや良くなる。                                    |  |
|                            | 自動車備品販売店（経営者）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大で景気はやや良くなる。                                 |  |
|                            | 自動車備品販売店（経営者）    | ・新型コロナウイルスのワクチンなどの明るい話題も増え、人々の気分も少し前向きになっていることから、景気はやや良くなる。     |  |
|                            | その他専門店〔和菓子〕（経営者） | ・緊急事態宣言の解除で景気は更に良くなる。   |  |
|                            | その他専門店〔土産物〕（経営者） | ・新型コロナウイルスの感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されれば、観光客が増加する。                     |  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|-------------------------|--|
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）  | ・新型コロナウイルスが全国的に落ち着きつつあり、また、新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいく。今後、新型コロナウイルスの感染者数が減少し、東京オリンピックも開催の方向に向かえば、5月頃から景気は上向いてくる。      |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当） | ・週を追うごとに来客数が増加しており、景気はこのまま回復基調をたどる。  |
|    |          | 高級レストラン（事業戦略担当）         | ・Go Toキャンペーンの再開で来客数が増加する。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）            | ・緊急事態宣言の解除が与える心理的効果は大きい。新型コロナウイルスのワクチン接種とともに、ウィズコロナの生活様式がより浸透すれば、客の安心感につながり、景気はやや良くなる。                           |
|    |          | 一般レストラン（経営者）            | ・外出自粛要請が解除され、少しずつではあるが、街に人が戻ってくるため、経済活動が活発になり、2～3か月後には景気はやや良くなっている。現在は過去に経験したことがないほど厳しい状況にあるので、これ以上景気が悪くなることはない。 |
|    |          | 一般レストラン（店長）             | ・自粛も解除され、徐々にではあるが来客数も回復しつつある。5月以降の団体予約も増加してきており、新型コロナウイルスのワクチンが出回れば、客の流れも更に良くなる。                                 |
|    |          | 観光型ホテル（副支配人）            | ・Go To Travelキャンペーンが再開すれば宿泊の予約数が増加する。  |
|    |          | 都市型ホテル（企画担当）            | ・緊急事態宣言の解除により個人のイベントが増加し、宿泊、レストランいずれも需要が増加する。  |
|    |          | 旅行代理店（支店長）              | ・新型コロナウイルスのワクチン接種で、新型コロナウイルスが終息に向かえば、東京オリンピック・パラリンピックを始めとするビッグイベントが開催され、旅行需要の回復につながる。                            |
|    |          | タクシー運転手                 | ・緊急事態宣言の解除で、少しずつ人の動きが戻ってくる。  |
|    |          | タクシー運転手                 | ・春が来て、暖かくなり、花見のシーズンに入るため、徐々に人の動きが良くなる。   |
|    |          | タクシー運転手                 | ・建設関係の人は年度末まで仕事があり、遊びたがっている様子があるため、景気はやや良くなる。  |
|    |          | 通信会社（営業担当）              | ・新型コロナウイルスが沈静化しつつあり、プロ野球開幕による晴れのムードが高まることで、景気は春先に向けて上向く。   |
|    |          | テーマパーク（営業担当）            | ・緊急事態宣言の解除で人の動きが良くなる。  |
|    |          | テーマパーク（管理担当）            | ・Go To Travelキャンペーン等の国の施策により景気はやや良くなる。   |
|    |          | 観光名所（館長）                | ・緊急事態宣言が解除され、気候も良くなるため、来客数が増加する。   |
|    |          | その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）  | ・新型コロナウイルスが落ち着き、新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始したことで、人の動きが良くなる。   |
|    |          | 設計事務所（経営者）              | ・客からの問合せや来客数が伸びつつある。また、客と面談したときの客の感触も良くなっているため、今後、契約件数が増加する。   |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）             | ・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の開始など新型コロナウイルスの終息に向けての好材料が出てきているので、今後、景気はやや良くなる。                                      |
|    |          | 住宅販売会社（営業担当）            | ・新型コロナウイルスのワクチンの普及により、景気は回復傾向に向かう。   |
|    |          | 住宅販売会社（営業所長）            | ・年度末から新年度に掛けて、人の動きが活発になり、新型コロナウイルス終息後の急速な生活スタイルの変化への対応の動きも出てくるため、一時的に景気は良くなる。                                    |
|    |          | 商店街（代表者）                | ・自治体発行のプレミアム付商品券発行などで今はまだ購入機会につながっているが、間もなく期限が来るのでその後どうなるか心配なところがある。   |
|    |          | 商店街（代表者）                | ・新型コロナウイルスがやや落ち着き、少しずつ外出者が増加しているが、景気は変わらない。  |
|    |          | 一般小売店〔食品〕（経営者）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の完了がいつになるか不透明なため、景気は変わらない。  |
|    |          | 一般小売店〔茶〕（経営者）           | ・新型コロナウイルス発生以降の経済活動がなかなか想定ができず、今後、景気が変わるとは考えられない。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                            | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------------------|---|
|    |          | 一般小売店〔印章〕<br>(経営者)               | ・新型コロナウイルスのワクチン接種がまだ先になりそう<br>で、明るい見通しが立たないため、景気は変わらない。   |
|    |          | 一般小売店〔洋裁附属<br>品〕(経営者)            | ・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、現在の状況<br>が続く。   |
|    |          | 百貨店(経理担当)                        | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりつつあるが、<br>まだ時間が掛かりそうなので今の状況がしばらく続く。  |
|    |          | 百貨店(営業担当)                        | ・客の年齢層が高いため、新型コロナウイルスが終息しないと、<br>売上が回復しない。  |
|    |          | 百貨店(営業担当)                        | ・新型コロナウイルスのワクチン接種などが順調に進めば外<br>出する客も増加する。Go Toキャンペーンが再開すれば、<br>来客数も多少増加するが、衣料品の需要がどうなるかは<br>不透明である。     |
|    |          | 百貨店(営業担当)                        | ・今後も来客数は横ばいで推移する。   |
|    |          | スーパー(店長)                         | ・来客数の減少だけでなく、客単価の低下や買上点数の減少<br>も起きており、悪い状況が続く。  |
|    |          | スーパー(店長)                         | ・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は現状と変わ<br>らない。   |
|    |          | スーパー(店長)                         | ・買物回数の減少による来客数の減少が続く。   |
|    |          | スーパー(店長)                         | ・新型コロナウイルスが終息し、人々が安心して生活できる<br>ようになるまでは現状に大きな変化はない。一時的に景気<br>が上昇してもすぐに落ち込む。                             |
|    |          | スーパー(総務担当)                       | ・今後も景気は変わらない。   |
|    |          | スーパー(業務開発担<br>当)                 | ・新型コロナウイルスで自粛している客の行動や気持ちが縮<br>こまってしまっている。購買意欲を高めてもらおうという<br>企画してみるが、反応は余り良くなく、今後も景気は変わ<br>らない。         |
|    |          | スーパー(販売担当)                       | ・新型コロナウイルスの感染者数が増加し、来客数が減少し<br>ており、今後もこの状況が続くと景気は良くなるらない。   |
|    |          | スーパー(販売担当)                       | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないと景気は良くな<br>らない。   |
|    |          | 衣料品専門店(経営<br>者)                  | ・新型コロナウイルスが落ち着かないと景気に変化はない。   |
|    |          | 家電量販店(店長)                        | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むまで景気は回復<br>しない。   |
|    |          | 家電量販店(企画担<br>当)                  | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種が始まるが、新型コ<br>ロナウイルスの影響による現在の厳しい状況がそれほど改善<br>することはない。                                  |
|    |          | 乗用車販売店(営業担<br>当)                 | ・集客イベント等ができず、量が利益を生む状況から質を上<br>げていく必要があるが、すぐにはできないため、景気は変わ<br>らない。                                      |
|    |          | 乗用車販売店(業務担<br>当)                 | ・新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明であるため、<br>今後も景気は変わらない。   |
|    |          | その他専門店〔時計〕<br>(経営者)              | ・現状を維持しながら、売上を回復していかなければなら<br>ない。これ以上売上が減少すると経営が難しくなる。  |
|    |          | 一般レストラン(経営<br>者)                 | ・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチ<br>ンの接種が進んでも、1年間続いている新型コロナウイルスに<br>対する不安はすぐには解消されず、ライフスタイルが元に戻<br>るには時間が掛かる。 |
|    |          | スナック(経営者)                        | ・2～3か月で景気が良くなる見込みはない。新型コロナウ<br>イルスのワクチン接種が医療機関で始まっているが、効果が<br>出るのは、まだまだ先の8月頃になるため、景気は変わら<br>ない。         |
|    |          | その他飲食〔サービス<br>エリア内レストラン〕<br>(店長) | ・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらな<br>い。  |
|    |          | 観光型ホテル(営業担<br>当)                 | ・新型コロナウイルスの終息が見込めないと景気は良くな<br>らない。  |
|    |          | 都市型ホテル(総支配<br>人)                 | ・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあるもの<br>の、景気はGo To Travelキャンペーンの再開動<br>向、ワクチン接種の進捗状況により大きく左右されるため先<br>行きは不透明である。 |
|    |          | 旅行代理店(経営者)                       | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の結果が出てから3～<br>6か月後には景気の回復が期待できる。   |
|    |          | タクシー運転手                          | ・新型コロナウイルスの影響で、売上が通常と比べ2～3割<br>減少しており、しばらくはこの状況が続く。   |

| 分野                         | 景気の先行き判断 | 業種・職種              | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------------------|----------|--------------------|--|
|                            |          | 通信会社（企画担当）         | ・新年度、春に向けての新サービスの紹介や活発なキャンペーンの展開が難しい。客が新型コロナウイルスに順応しており、今後、サービス需要が大幅に伸長するとは思えない。 |
|                            |          | 通信会社（経理担当）         | ・先行きが不透明な状況が続いているため、今後も特に変化はない。  |
|                            |          | 通信会社（工事担当）         | ・新型コロナウイルス禍の客の様子からは景気が良くなるとは考えられない。  |
|                            |          | ゴルフ場（営業担当）         | ・新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、企業、個人いずれも新型コロナウイルス対策が前年よりはできているが、団体の予約はまだ難しいため、状況は余り変わらない。 |
|                            |          | 美容室（経営者）           | ・少しずつ回復はしているが、まだまだ新型コロナウイルスがどう転ぶかわからず、冠婚葬祭が少ないため、今後も厳しい状況が続く。                    |
|                            |          | 設計事務所（経営者）         | ・自地域の新型コロナウイルスの状況は改善しているが、東京や東京近隣地域の新型コロナウイルスの状況が改善されるまで、しばらくは自粛ムードが続く。          |
|                            |          | 設計事務所（経営者）         | ・空き家や古家の耐震等状況調査の依頼は少しずつ出てきているが、新築の物件が出てこないため、今後も変わらない。                           |
|                            |          | 商店街（代表者）           | ・客の購買力がかなり低下しており、今後どうしても欲しい商品しか購入してもらえない状況が続く。                                   |
|                            |          | スーパー（店長）           | ・新型コロナウイルス禍で実績を伸ばしてきた反動で景気はやや悪くなる。   |
|                            |          | 家電量販店（店長）          | ・本来ならこれから新生活関連の需要が盛り上がってくるが、新型コロナウイルスの影響で特に会社関係が異動を抑制すると売上が減少し、景気はやや悪くなる。        |
|                            |          | 乗用車販売店（店長）         | ・客の購入意欲が低下し、来客数や商談件数が大幅に減少しており、数か月先も大変厳しい状況になる。                                  |
|                            |          | 乗用車販売店（営業担当）       | ・決算が終了し、客の動きが悪くなる時期になるため、景気はやや悪くなる。  |
|                            |          | その他専門店〔布地〕（経営者）    | ・新型コロナウイルスのワクチンが行き届き、人が安心して外出するようにならないと、景気の回復は難しい。                               |
|                            |          | 放送通信サービス（総務経理担当）   | ・新型コロナウイルスの長期化で、家計の支払能力にプラス要因が見当たらないため、景気はやや悪くなる。                                |
|                            |          | 美容室（経営者）           | ・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。  |
|                            | ×        | 百貨店（販売計画担当）        | ・商品取引先の減産や規模の縮小で商品販売に支障が出てくると、景気は悪くなる。   |
|                            | ×        | スーパー（財務担当）         | ・キャッシュレス還元事業終了後の買い控えや、所得減少による節約により、来客数や買上点数が減少し、売上も減少する。                         |
|                            | ×        | コンビニ（エリア担当）        | ・新型コロナウイルスが終息しない限り、来客数も売上も増加しないので、景気は悪くなる。                                       |
|                            | ×        | 住関連専門店（営業担当）       | ・毎月いろいろなイベントを開催しているが、全部失敗しており、今後も景気は悪くなる。  |
|                            | ×        | 通信会社（広報担当）         | ・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと、購買行動が活発化せず、景気は悪くなる。   |
|                            | ×        | 美容室（経営者）           | ・2～3か月では景気は回復に向かわない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと変化が出てくる。                                 |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(中国) |          | *                  | *  |
|                            |          | 木材木製品製造業（経理担当）     | ・2月まではやや悪いが、今後、景気は回復してくる。  |
|                            |          | 化学工業（総務担当）         | ・新型コロナウイルスに対応した事業継続の仕組みが構築されつつあり、徐々に落ち着いてきているため、今後、景気はやや良くなる。                    |
|                            |          | 窯業・土石製品製造業（総務経理担当） | ・鉄鋼業向け生産量が回復し、雇用調整も中止する計画になっており、今後、景気はやや良くなる。                                    |
|                            |          | 鉄鋼業（総務担当）          | ・数か月先の受注予測も回復傾向にあるため、今後、景気はやや良くなる。   |
|                            |          | 輸送業（総務担当）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が浸透すれば、心理的な面からも良くなる。  |
|                            |          | 輸送業（支店長）           | ・ライフスタイルや購買行動の変化で、通販やフリーマーケット市場は今後も伸長する。   |
|                            |          | 通信業（営業企画担当）        | ・新型コロナウイルスの感染者も少なくなり、緊急事態宣言による制限が緩和するため、客の経済活動が活発化する。                            |

| 分野               | 景気の先行き判断 | 業種・職種              | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------------------|----------|--------------------|---|
|                  |          | 会計事務所（経営者）         | ・総務系間接部門からのアウトソーシング業務受託が稼働する予定である。新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるのが心理的プラス要因として働くため、今後、景気はやや良くなる。                         |
|                  |          | 農林水産業（従業員）         | ・新型コロナウイルスのワクチンの効果でどれだけ状況が好転するのか分からないが、現状では景気は変わらない。  |
|                  |          | 食料品製造業（経営者）        | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種時期が発表されたが、詳細は未定である。新型コロナウイルス禍の国民の生活不安が払拭されないと、厳しい状況が続く。                                     |
|                  |          | 食料品製造業（総務担当）       | ・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種でどうなるか分からないが、現状では景気は変わらない。   |
|                  |          | 繊維工業（監査担当）         | ・特に売上拡大につながる要因はないので、前年並みになる。  |
|                  |          | 化学工業（総務担当）         | ・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、今後も景気は変わらない。  |
|                  |          | 鉄鋼業（総務担当）          | ・今後も景気に大きな変化はない。  |
|                  |          | 非鉄金属製造業（業務担当）      | ・金属価格の高騰もこれ以上は期待できないため、景気は変わらない。  |
|                  |          | 金属製品製造業（総務担当）      | ・新型コロナウイルスが終息すれば、景気は回復に向かい、設備投資も増加するが、現時点では状況が好転するという情報はない。   |
|                  |          | 一般機械器具製造業（総務担当）    | ・受注量や販売量の動きから判断すると、景気は変わらない。  |
|                  |          | 輸送用機械器具製造業（総務担当）   | ・景気の回復にはあと半年は掛かる。   |
|                  |          | 輸送用機械器具製造業（経営企画担当） | ・明らかに悪化している訳ではないが、主要客からの受注内示は都度、変化しており、先行きがはっきりと見通せる状況ではないため、景気は変わらない。  |
|                  |          | 建設業（経営者）           | ・新型コロナウイルスの影響で見合わせていた事業が少しずつ動き始めているため、現在の状況が続く。   |
|                  |          | 建設業（総務担当）          | ・当面は現状が継続する。  |
|                  |          | 輸送業（総務・人事担当）       | ・今後、受注数量が増減する要素がないため、景気は変わらない。  |
|                  |          | 通信業（営業担当）          | ・受注量が減少、引き合いも少ないことから、年度内は厳しい状況が続く。その後も、景気回復が見込める好材料が見当たらないことから、厳しい状況は変わらない。                                   |
|                  |          | 金融業（貸付担当）          | ・緊急事態宣言の解除で、企業の売上や収益は持ち直してくるが、急速な回復は見込めない。  |
|                  |          | 金融業（融資企画担当）        | ・地元完成車メーカーの世界販売が当面は伸び悩むため、地元自動車部品メーカーの受注も伸び悩む。  |
|                  |          | 広告代理店（営業担当）        | ・新型コロナウイルスの先行きが不透明なため、客からの受注量や販売量が増加する見込みがない。   |
|                  |          | 一般機械器具製造業（管理担当）    | ・国土強じん化計画のSS事業補助金が終了したため、今後、景気はやや悪くなる。  |
|                  |          | 電気機械器具製造業（総務担当）    | ・装置関連は特に汎用品ではなく取引先の製造工程等により仕様が違うことから、対面営業を主としている。今後も電話やリモートなどによる営業活動が続けば、受注につながるため、景気はやや悪くなる。                 |
|                  |          | 不動産業（総務担当）         | ・例年どおり、賃貸物件の需要時期を過ぎるため、悪くなる。  |
|                  | x        | -                  | -   |
| 雇用<br>関連<br>(中国) |          | 人材派遣会社（支社長）        | ・派遣などの有期雇用離れが起きており、完全回復はないが、緩やかな回復傾向は続く。  |
|                  |          | 人材派遣会社（経営戦略担当）     | ・新型コロナウイルスの影響が緩和することで、営業活動の時間が捻出でき、新規受注が増加するため、景気はやや良くなる。   |
|                  |          | 求人情報誌製作会社（経営者）     | ・新型コロナウイルスのワクチンの接種が進むことを考えると、これ以上景気が悪くなるとは考えられない。   |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）     | ・新型コロナウイルスの拡大にやや歯止めが掛かってきた感があり、今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展すれば、消費活動や企業活動も徐々に回復する。                                   |
|                  |          | 民間職業紹介機関（職員）       | ・飲食店の営業時間短縮が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まったことで、出口戦略が描けそうな雰囲気になってきている。採用を抑制していた企業も折を見て人材募集の再開へかじを切り始めるため、景気はやや良くなる。 |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種               | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------------|--|
|    |          | 民間職業紹介機関（求人・人材採用担当） | ・新型コロナウイルスの終息を見据えて、削減していた店舗の人員数を元に戻すことに備えるといった求人計画をする企業も出てきているため、今後、景気はやや良くなる。   |
|    |          | 学校〔大学〕（就職支援担当）      | ・新型コロナウイルスのワクチンの情報が出始めたので、明るい兆しが出てくる。  |
|    |          | その他雇用の動向を把握できる者     | ・新型コロナウイルスのワクチン導入に対する期待感、国や地方公共団体の支援などにより、景気は徐々に回復する。  |
|    |          | 人材派遣会社（社員）          | ・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大で、経済活動は徐々に元に戻ってくるが、2～3か月では上向きにはならない。   |
|    |          | 人材派遣会社（支店長）         | ・新年度を迎え、ほとんどの業界の採用が落ち着く。新卒採用も始まり、新年度からスタートする新入社員の育成や配置などの様子によって5月頃から動きが出てくる。   |
|    |          | 求人情報誌製作会社（営業担当）     | ・新型コロナウイルスが終息する見通しが立てば、求人活動も活発になる。   |
|    |          | 求人情報誌製作会社（広告担当）     | ・先行き不透明感は拭い切れず、まだまだ良くなる気配はない。ただ、どの企業も、依然として、新卒採用には前向きで、超売手市場時のように無理をしてまでは採用しないが、良い人材がいれば積極的に採用するスタンスは変わらない。新卒採用、中途採用共に数合わせの時代は終わり、今後ますます、良い人材を採用する傾向が強くなり、格差が生じてくる。  |
|    |          | 職業安定所（雇用関連担当）       | ・緊急事態宣言が完全に解除されないと地方経済は回復しない。  |
|    |          | 職業安定所（事業所担当）        | ・新型コロナウイルスの影響が多業種にわたっているが、雇用調整助成金等の申請は減少に転じている。ただ、企業は、緊急事態宣言の延長や先行き不透明感などから、求人活動について慎重になっている。雇用保険関係を前年と比べると、1月の適用事業所数は2.6%の増加、1月の被保険者数は10.7%の減少、1月の資格喪失者数は7.7%の減少となっている。1月の新規求職者数は前年と比べ4.0%減少しているが、1月の有効求職者数は前年と比べ18.0%増加している。 |
|    |          | 学校〔短期大学〕（進路指導担当）    | ・周辺企業の動向を見ても、新卒採用の動きが鈍化しており、新型コロナウイルスの終息のめどが立たない限り、その流れはしばらくは変わりそうにない。   |
|    |          | 職業安定所（所長）           | ・11月までは宿泊業を中心に業績が回復傾向にあったが、12月の新型コロナウイルスの感染拡大、Go To Travelキャンペーンの停止、年明けの大雪、関西圏での緊急事態宣言の影響が大きく、求人を取り消すケースが相次いでいる。   |
|    | x        | -                   | -  |

#### 10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                         | 景気の先行き判断 | 業種・職種        | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------------------|----------|--------------|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(四国) |          | 衣料品専門店（経営者）  | ・新型コロナウイルスで来客数は減り、売上も下落しているが、3か月後になるとワクチン接種も進んでいるはずなので、かなり来客数は戻り、景気は必ず良くなる。   |
|                            |          | 一般レストラン（経営者） | ・ワクチン接種の本格化による感染状況の落ち着きや、自粛疲れにより、客単価、客足共に増加すると思う。   |
|                            |          | 通信会社社員       | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、ある程度収束する見込みが立っている。   |
|                            |          | 通信会社（営業担当）   | ・新料金プラン発表などにより業界全体での客の動きの活性化を感じている。   |
|                            |          | 商店街（代表者）     | ・新型コロナウイルスの感染者が減少傾向にあり、ワクチン接種も開始されていることから、多少は解放感で人々の行動が活発化していくように感じられる。   |
|                            |          | 商店街（代表者）     | ・緊急事態宣言が解除されようとしていること及び、ワクチン接種が始まったことで、状況はかなり明るい兆しにあると思う。ただ、第3波の影響が余りにも大きかったせいで、警戒心が解けず消費者マインドが上昇しない。商店も大変厳しい春商戦になると思う。 |
|                            |          | 商店街（事務局長）    | ・ワクチン接種が順調に行われ、今夏の東京オリンピックが終了する頃には人通りや消費が回復することを願っている。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|-------------------------|---|
|    |          | スーパー（店長）                | ・ワクチン接種等により新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、人々の消費活動が現状に比べて活発化してくると思われる。  |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）             | ・3月は気候が暖かくなることと緊急事態宣言が解除され始めたことから、もしかしたら、雰囲気が一挙に変わるかなと期待している。                                     |
|    |          | 乗用車販売店（役員）              | ・ワクチン接種が順調に進めば少し良くなっていくように感じる。  |
|    |          | その他専門店〔酒〕（経営者）          | ・少し暖かくなると人出も多くなり、花見などもあるので、売上は上昇すると思う。  |
|    |          | 一般レストラン（経営者）            | ・ワクチンの結果次第だが、効果が現れ安心感が出てきたら経済活動も活発になっていくと思う。  |
|    |          | 観光型旅館（経営者）              | ・緊急事態宣言の解除により、景気はやや回復すると思われる。   |
|    |          | タクシー運転手                 | ・新型コロナウイルスの感染が大分落ち着いてきた上、ワクチン接種も始まっており、4～5月でお遍路の予約も若干入ってきているので、今よりは多少良くなると思っている。                  |
|    |          | 競輪競馬（マネージャー）            | ・緊急事態宣言が解除される都市があることから、観光や娯楽業、外食業は集客力アップが予想され、景気の上昇が見込まれる。  |
|    |          | 一般小売店〔文具店〕（経営者）         | ・新型コロナウイルスの影響で、商店街への来街者自体が減少している。その結果、来客数も少なく、また、購入商品も数量、金額共に減少傾向にあり、しばらくはこの傾向が続くと思う。             |
|    |          | 百貨店（販売促進）               | ・今後、首都圏の緊急事態宣言が解除されても先行き不透明な状況であり、春の行楽シーズンも消費者の購買意欲は元に戻らないと予想される。                                 |
|    |          | 百貨店（営業管理担当）             | ・ワクチン接種開始のプラス要素はあるが、感染者数減少の鈍化や行動規制緩和による感染者数の再拡大が懸念される。  |
|    |          | スーパー（店長）                | ・新型コロナウイルスの影響がいろいろ出てきており、収束しない限りは、今の状況は変わらないと思う。  |
|    |          | コンビニ（店長）                | ・以前なら、卒業進学シーズンに入り良くなるはずだが、この状態では見込みは薄く、目先は早期にワクチン接種が進むのを期待するのみである。                                |
|    |          | コンビニ（商品担当）              | ・ワクチン接種はまだ一般的ではない。早く接種が完了し、イベントやレジャーなどが通常に行われるようになったら、景気回復といえるのではないかなと思う。                         |
|    |          | コンビニ（総務）                | ・新型コロナウイルス禍でニューノーマルのスタイルは変わらないと思う。今後ワクチン接種の拡大によってどのように変わっていき、また、変化が現れるのかは当分先になるのではないかなと思う。        |
|    |          | 衣料品専門店（経営者）             | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が広まればもう少し良くなるが、それまではこのままである。   |
|    |          | 衣料品専門店（営業責任者）           | ・緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が広まれば、客は安心感が出て買物をしやすくなる。また、Go To Travelキャンペーンが再開すればアパレルの需要も回復してくるのではないかと感じている。 |
|    |          | 家電量販店（副店長）              | ・ワクチン接種が行き渡り、感染者が減っていかない限り先行きは見えてこない。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）             | ・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着きつつあるが、景気が上向きにはまだまだ時間が掛かる。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）             | ・新型コロナウイルスの感染状況が大幅に改善されない限り、景気が良くなるとは思えない。  |
|    |          | その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人） | ・ワクチン接種が始まったが、一般人への接種はまだ先になりそうであり、安心して出掛けられる状況ではなく、景気が悪い状態は続くとしている。                               |
|    |          | 旅行代理店（営業担当）             | ・気候が暖かくなるにつれ、人出が多くなり、感染拡大が再び広がる可能性が懸念される。   |
|    |          | タクシー運転手                 | ・例年であれば、就職や入学等で人の動きは多いが、卒業式等のイベントは少なく、卒業式もリモートになっており、新型コロナウイルスの感染が収束しないと景気は良くなないと判断する。            |
|    |          | 通信会社（営業部長）              | ・新型コロナウイルスの影響が長期化しているため、購買を慎重にする傾向は変わらないと考える。   |
|    |          | 設計事務所（所長）               | ・街の中心部では、相変わらずマンションやオフィスビル等の開発が進んでいる一方で、飲食業等については商売を諦める人が出てきている。景気についてはどちらともいえない。                 |

| 分野                     | 景気の先行き判断 | 業種・職種              | 景気の先行きに対する判断理由   |
|------------------------|----------|--------------------|--|
|                        |          | 一般小売店〔生花〕<br>(経営者) | ・繁華街のスナックでクラスターが起り死亡者が出てから、来客数が激減し、販売も予約も入らなくなっている。インターネットの安価な商品注文はあるが、店頭販売の高額商品は予約が入ってこなくなっている。                                     |
|                        |          | スーパー(財務担当)         | ・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きにより、外食からの取り込み特需が終了する。  |
|                        |          | コンビニ(店長)           | ・レジャー利用の来客が見え始めているが、全体では来客数減少に歯止めが掛からない。   |
|                        |          | 家電量販店(店員)          | ・季節商材も落ち着き、底上げしていた要因がなくなる。   |
|                        |          | 乗用車販売業(営業担当)       | ・年末年始キャンペーンや決算キャンペーンも終了するので、苦戦すると思われる。   |
|                        |          | 美容室(経営者)           | ・一度離れた客は簡単には戻ってこないと思うので、これから少しずつ悪くなると思う。   |
|                        | x        | 商店街(代表者)           | ・これまでの景気のご概念では好況、不況を捉えきれない時代になっており、従来の考え方では好況を感じることはできないかもしれない。  |
|                        | x        | 一般小売店〔酒〕(販売担当)     | ・新型コロナウイルスの収束が見通せない状況で先行き不安である。  |
|                        | x        | 観光遊園地(職員)          | ・新型コロナウイルスの対策によって、飲食業界の営業時間が大きく左右されることが想定される。また、時短要請が解除されても客が戻ってこない状況が続き、結果としてそれに関わる業種もダメージを受け、危機的な状況になっていくことが予測される。                 |
| 企業<br>動向<br>関連<br>(四国) |          | 輸送業(経理)            | ・客から中国向けの出荷量について前年度の3倍になるとの連絡があり、他の客からもこれからアジア向け輸出量が増加するとの情報が入っている。  |
|                        |          | 通信業(企画・売上管理)       | ・都市部の緊急事態宣言の解除と、前年4月以降の広告費が激減していた影響もあり、前年比という指標では4月以降は100%を大きく上回る見込みである。   |
|                        |          | 税理士事務所             | ・新型コロナウイルスのワクチン接種により、落ち込んでいた消費が回復すると思う。  |
|                        |          | 食料品製造業(経営者)        | ・都市部の緊急事態宣言が解除され、受注量が回復基調になると予測する。   |
|                        |          | 電気機械器具製造業(経営者)     | ・客からの多くの商談が成約の方向に話が進んでいるので、当社の業界では景気は良くなる。   |
|                        |          | 電気機械器具製造業(経理)      | ・新型コロナウイルスのワクチンを保管する保冷庫の需要が伸びており、前月同様、継続的な需要が数か月継続する見込みである。  |
|                        |          | 建設業(経営者)           | ・補正予算額が多く、例年より多くの業務発注がされており、数か月先までの仕事が確保できていることから、通年での売上計上が見込めることで、景気はやや良くなる。  |
|                        |          | 輸送業(経営者)           | ・これ以上の下げ幅はないので、景気は回復する。  |
|                        |          | 通信業(総務担当)          | ・緊急事態宣言による自粛効果が徐々に現れ、感染状況が落ち着いてきたことを受け、地域全体の景気も次第に良くなると思われる。   |
|                        |          | 金融業(副支店長)          | ・ワクチン接種開始などによる新型コロナウイルスの収束への期待感から、消費者マインドや行動が回復し、取引先の業況回復が期待できる。   |
|                        |          | 農林水産業(職員)          | ・量販店の利益追求と、消費者の新型コロナウイルス禍での所得の減少等による低価格志向により、卸売価格は低調である。量販店等での消費宣伝となっている試食販売ができないことも消費者の財布のひもが緩まない要因となっており、先が見通せない状況である。             |
|                        |          | 繊維工業(経営者)          | ・新型コロナウイルス禍が収束すれば急速に回復する可能性もあるだろうが、現状では今の状態が続くと思われる。会社の売上高は前年比で下落しているが、従来実施していた展示会や営業社員の出張の取りやめ、操業時間短縮による経費の節減効果などにより、財務的には良くなりつつある。 |
|                        |          | 木材木製品製造業(営業部長)     | ・緊急事態宣言の影響を受けてしばらく景気は悪いと判断している。ワクチンの早急な接種を期待している。  |
|                        |          | パルプ・紙・紙加工品製造業(経理)  | ・多くの消費者が年末の掃除用で購入したウェットクリーナーの販売量が落ちている。また、新型コロナウイルスの影響で競合他社が増えたことも要因であると思う。  |

| 分野       | 景気の先行き判断 | 業種・職種           | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------|----------|-----------------|---|
|          |          | 化学工業（所長）        | ・緊急事態宣言が解除され、Go To Travelキャンペーンが再開し、需要の回復というシナリオは十分あると考える。ただ、本格的に効果が現れるのはゴールデンウィーク頃かと考えるので2～3か月先の景気は変わらないように思う。                           |
|          |          | 鉄鋼業（総務部長）       | ・いまだに、回復の兆しは見えていない。   |
|          |          | 建設業（経営者）        | ・2～3か月先の受注予定が非常に少ない。  |
|          |          | 輸送業（営業）         | ・ワクチン接種の開始や緊急事態宣言解除に向けた明るい報道がみられる一方で、リバウンドによる感染再拡大への強い警戒感が商流低迷に結び付いており、景気の先行き予測は極めて難しい状況にある。  |
|          |          | 広告代理店（経営者）      | ・新型コロナウイルスのワクチン接種スケジュールが遅れつつあるため、集団免疫ができてないと予測される。したがって、多くの客の販促計画は削減傾向が続くため、余り変わらない予想である。   |
|          |          | *               | *   |
|          | ×        | 一般機械器具製造業（経理担当） | ・海外では新型コロナウイルスの感染再拡大や点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。   |
| 雇用<br>関連 |          | -               | -   |
| (四国)     |          | 人材派遣会社（営業担当）    | ・新型コロナウイルスのワクチン接種拡大に伴う経済活動の活況が期待できる。  |
|          |          | 求人情報誌製作会社（従業員）  | ・異動時期に入り求人数の増加が予想される。   |
|          |          | 学校〔大学〕（就職担当）    | ・ワクチン接種が開始され、新型コロナウイルス感染者の減少が続き収束に向かえば、景気は今年より良くなっていくと思う。   |
|          |          | 人材派遣会社（営業）      | ・これから来年度に向けて、新型コロナウイルスの感染をしっかりと予防できる運営が必須になると考える。そのなかでRPAの導入などデジタル化、デジタルトランスフォーメーションを推進できる企業がこの時代を生き抜いていくかどうかの分かれ道となる。                    |
|          |          | 職業安定所（求人開発）     | ・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。現在は10都府県に緊急事態宣言が発出されており、この状況は緊急事態宣言の解除までは続くと思われるので、この2～3か月先の状況は変わらないと判断する。 |
|          |          | 民間職業紹介機関（所長）    | ・ワクチン接種の進捗次第で状況が変化すると思うが、現時点では大きな変化はないと考える。   |
|          |          | 求人情報誌（営業）       | ・サービス業を中心とした景気の悪化に伴い、求職者の数が増えている。正社員の雇用は守られても、非正規やアルバイト、パート人員は雇い続けることが難しくなっているため、失業者が増え、景気は悪化傾向と判断する。                                     |
|          |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）  | ・新型コロナウイルスを受け、少しずつ影響が出ていなかった分野の広告出稿にも影響が出始めている。   |
|          |          | ×               | 人材派遣会社（営業担当）  |

#### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の先行き判断 | 業種・職種       | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------|----------|-------------|---|
| 家計<br>動向<br>関連 |          | 百貨店（売場担当）   | ・3月の当社の雇事は前年通りに戻し、売出し等をダイレクトメールでも行い、新型コロナウイルス禍に入る前の状態で行う予定である。前年の3～5月は売上が落ちており、同じような流れで2けたが続くと予想される。また、飲食関係では、レストランだけが盛り上がり、食堂で60%前後であるが、全般的に回復してくると予想している。 |
| (九州)           |          | 住関連専門店（従業員） | ・緊急事態宣言解除による来客数の回復、及び季節の変わり目に発生するクリーニングやリフォーム需要が見込まれる。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------|---|
|    |          | 観光型ホテル（専務）     | ・3か月先には新型コロナウイルスが収束して通常の状態になると予測するが、旅行をしない理由として、新型コロナウイルスの感染防止で旅行しないのではなく、Go To Travelキャンペーンや県民割等の利用ができるかどうかで、決める人が多いことを直接、客の声を聞いて知った。当地区からは、感染者が全く出ていないため、特に利用がしやすい状況であったことも1つの要因である。                                  |
|    |          | 競馬場（職員）        | ・緊急事態宣言が解除され、客を迎え入れられる予定であるため、景気は若干良くなる。  |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・3～4月は繁忙期であるが、前年から減少している。ワクチン接種が始まり、客に明るさが戻りつつあり、商店街にも若干活気が戻り、現状より良くなる。   |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・緊急事態宣言で我慢をしていた分解放されることになり、人の動きが出るため、やや良くなる。  |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・2月末に緊急事態宣言が解除になる。3月以降やや明るい兆しになると考えられる。   |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・予定どおり緊急事態宣言が解除になり、年度末商戦が始まることに期待したい。   |
|    |          | 商店街（代表者）       | ・一般にもワクチン接種の時期が早くなれば、安心感が少し出て、新型コロナウイルス禍での生活を展開していきたいという気持ちで消費意欲につながってくることに期待している。  |
|    |          | 一般小売店〔精肉〕（店員）  | ・緊急事態宣言が解除されれば、飲食店向けの販売量も増えると予想される。   |
|    |          | 一般小売店〔生花〕（経営者） | ・3月から母の日までは卒業や退職、就職等でそれぞれ需要があり、新型コロナウイルスの影響はあるが、2月よりは上向きになると予想している。   |
|    |          | 百貨店（総務担当）      | ・緊急事態宣言が解除となり、消費が活発化することが期待できる。   |
|    |          | 百貨店（企画担当）      | ・緊急事態宣言の解除やワクチン接種、気温上昇等で新型コロナウイルス感染への脅威が減少することが予想される。   |
|    |          | 百貨店（企画担当）      | ・緊急事態宣言も解除されることから、催事やイベント等は規模を縮小しながらも開催する方向である。ワクチン接種の効果も期待されており、消費者心理は毎月より回復すると見込まれる。  |
|    |          | 百貨店（営業担当）      | ・不要不急の外出自粛や感染防止意識の継続下で、緊急事態宣言の解除があり、ワクチン接種も開始され、春の卒業・入学シーズンや友の会の新年度募集開始で、学生服採寸や受取等フレッシュ需要での来店は期待できる。また、客単価や商品単価は維持しており、購買意識の変化のなか、3密防止強化や、季節催事のネット移行・通販受注拡大での回復が見込める。慎重な行動姿勢や生活防衛意識は依然継続しているが、県外往来の回復と3世代での来店や需要が期待できる。 |
|    |          | 百貨店（販売促進担当）    | ・緊急事態宣言も解除され、来客数が増加することが見込まれる。  |
|    |          | 百貨店（プロモーション担当） | ・緊急事態宣言の解除やワクチン接種効果で、現状より上向くと考えられるが、元の消費傾向には戻らないと予想され、引き続きオンライン戦略の推進が急務である。   |
|    |          | スーパー（店長）       | ・緊急事態宣言の解除後は、新しい生活様式で流れが変わっていく。   |
|    |          | コンビニ（エリア担当）    | ・春夏に向けて、気持ち上がるのが予想される。  |
|    |          | 衣料品専門店（店員）     | ・暖かくなり新型コロナウイルスのワクチン接種で、状況は少し落ち着いてくる。   |
|    |          | 衣料品専門店（総務担当）   | ・新型コロナウイルスの感染が終息すると考えているため、現状より回復してくる傾向にある。   |
|    |          | 家電量販店（店員）      | ・家電は非常に好調である。家に居る時間が長くなっており、高級な炊飯器やコードレスクリーナー、ロボットクリーナー、高級なドラム式洗濯機に需要が多い。また、新型コロナウイルス対策用にマスクの除菌をするためのスチームアイロンであったり、リモートに適したパソコン等販売方法を工夫すれば、販売量も多くなると考えている。  |
|    |          | 家電量販店（従業員）     | ・新生活に向けて需要が増えるため、景気は良くなる。   |
|    |          | 家電量販店（広報・IR担当） | ・緊急事態宣言解除後の段階的規制緩和やワクチン接種の状況により、少なくとも現状よりも景気の回復が見込める。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                            | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----|----------|----------------------------------|---|
|    |          | 乗用車販売店（従業員）                      | ・ワクチン接種への期待感が消費を促すと予想している。  |
|    |          | その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）               | ・今後、寒い季節から暖くなるため、店での客の動きは、増加してくる。   |
|    |          | その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人） | ・前年同様、暖かくなると同時に感染が縮小し、売上も徐々に回復すると予想しており、新型コロナウイルスのワクチン接種にも期待している。ある程度の新型コロナウイルス感染収束のめどが立てば、集客イベント強化や延期していた大作映画の公開もあるため、確実に身の回りの景気は回復する。 |
|    |          | 高級レストラン（経営者）                     | ・当県では、このところ感染者がいない状況で、4月にはワクチン接種も始まり、歓送迎会等が出てくることに期待している。   |
|    |          | 一般レストラン（経営者）                     | ・今後の感染状況やワクチン接種の効果次第になるが、来店する客からも前向きな話を聞くため、徐々にではあるが状況は良くなる。  |
|    |          | 観光型ホテル（総務）                       | ・県独自の緊急事態宣言の効果で、新型コロナウイルスの感染者が減少し、気候も良くなったことで昼間の人の動きが活発化している。ホテル内の宴会場で開く音楽イベントのチケット販売状況も好調で、巣籠りから抜け出したい人々の気分を感じる。                       |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）                     | ・ワクチン接種も始まり、前回と内容が異なる可能性も大きいGo To Travelキャンペーンも再開される予定である。それでもカンフル剤にはなる。  |
|    |          | 旅行代理店（職員）                        | ・4～5月頃は、Go Toキャンペーンが再開している可能性が高い。   |
|    |          | タクシー運転手                          | ・緊急事態宣言により、感染者数が減少しており、ワクチン接種等の期待感も重なり、解除後の景気復活の望みを託してはいるものの、リバウンドの心配も強く残り、急激な回復は望めない。  |
|    |          | 通信会社（企画担当）                       | ・まだまだ、先行き不透明なもの、新型コロナウイルス禍での情報発信や新型コロナウイルス接触確認アプリ、新型コロナウイルス終息後向けの案件相談が徐々に増えている。   |
|    |          | 通信会社（営業担当）                       | ・例年、年度末に向けて販売数が増える傾向があり、今年も新型コロナウイルス禍とはいえ、少なからず良い結果が出ると予想される。   |
|    |          | 観光名所（従業員）                        | ・Go To Travelキャンペーンの段階的再開による効果に期待している。  |
|    |          | ゴルフ場（従業員）                        | ・Go To Travelキャンペーンが再開されると、その分来客数や単価が上昇すると予想される。  |
|    |          | ゴルフ場（営業）                         | ・緊急事態宣言解除後は、最初は人の動きや消費が活発になり、Go To Travelキャンペーン等の政策が再開されることで、より消費の活性化が進む。   |
|    |          | 美容室（経営者）                         | ・おしゃれ産業では、春に忙しくなり、緊急事態宣言も解除されたため、売上も上がり、少なからず上昇してくる。  |
|    |          | 美容室（経営者）                         | ・第4波が発生すると状況が悪化してくるため、3か月後には、新型コロナウイルスの感染が終息していることを望んでいる。自力で経営が継続できるよう対策を期待している。  |
|    |          | 商店街（代表者）                         | ・来店客にアンケートを実施した結果、新型コロナウイルス発生前には、毎日又は1日おきに商店街へ来街していた客が週1回になっているという結果が出ている。新型コロナウイルスの感染が終息に近づいても、以前の活気が戻るか非常に不安である。                      |
|    |          | 商店街（代表者）                         | ・商店街では、店頭販売をしているが、このままでは、今後の見通しが立たないため、通信販売の知識を身に付けているところである。   |
|    |          | 一般小売店〔鮮魚〕（店員）                    | ・ワクチン接種で新型コロナウイルスの感染が終息し、以前のようにぎわいが戻らなければ商売にならず、見通しが立たない。希望だけは失わないようにしている。  |
|    |          | 百貨店（営業担当）                        | ・米国の景気回復で今後の景気を期待できるが、ワクチンの接種が確実にいられるかどうか不透明であるため、はっきりしてくれば徐々に景気回復していくと予想される。一方、金利が上がっているため、企業に対する圧力になり、景気の先行きに足を引っ張るという微妙な状況になっている。    |
|    |          | 百貨店（業務担当）                        | ・緊急事態宣言が終了しても、春の行事やイベントは、ほとんどが中止又は延期となっており、それに伴う需要も期待できない。外出自粛や買物に慎重な姿勢は定着している感があり、マインドの改善にはしばらく時間が掛かりそうである。                            |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                            | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|----------------------------------|--|
|    |          | スーパー（企画担当）                       | ・ワクチン接種が開始されたものの、医療従事者や高齢者先行接種の方向性であり当面プラス要因には考えにくい。むしろ、飲食業界等を中心とした新型コロナウイルスの影響による倒産の発生増加が懸念され、先行き不透明感は否めない。新型コロナウイルス禍でも堅調であった業界も実績が一回りすることから、今後はこれまでどおりの業績維持は厳しいのではないかと考えている。 |
|    |          | スーパー（統括者）                        | ・来客数減少は続いているものの、今後も高品質な商品とおいしさ、安心価格による価格戦略にて、既存の客への販売量増加により、売上を確保できると考える。  |
|    |          | コンビニ（経営者）                        | ・気温上昇で季節商材が動き出す時の季節指数を除くと来客数、売上は現在と同水準で推移すると考える。売上は前年比100%、一昨年比80%前後の見込みである。   |
|    |          | コンビニ（経営者）                        | ・一般へのワクチン接種は7月以降との見込みであるため、緊急事態宣言が解除されても、人の動きは現状とさほど変わるとは考えられない。   |
|    |          | コンビニ（経営者）                        | ・来客数や客単価が下がる状況は当分続くと予想される。改善される見込みは、今のところ見当たらない。   |
|    |          | コンビニ（店長）                         | ・しばらく新型コロナウイルス禍で外出規制が続くと考えられる。   |
|    |          | コンビニ（エリア担当・店長）                   | ・新型コロナウイルスの影響で、飲食店での時短営業が継続されるようになるとコンビニエンスストアでお弁当や総菜、アルコールが増加し家飲みも増加すると考えられるが、時短営業が解除されると外食が増えてくるため、コンビニエンスストア利用が落ち着いてくる。   |
|    |          | 衣料品専門店（店長）                       | ・新型コロナウイルスの感染は、やや下火になったとはいえ、来月でこの状態が収束するとは思えず、横ばいが続く。  |
|    |          | 家電量販店（店長）                        | ・新型コロナウイルス感染急拡大等が発生すれば、また大きく来客数が減少する懸念はあるが、現在と同等の新型コロナウイルスの影響であれば、巣籠り需要は続くと思われる。   |
|    |          | 家電量販店（店員）                        | ・新型コロナウイルス禍であるが、逆にこのことが巣籠り状態を作り、プラスに働いているため、しばらくこの景気が継続すると考えられる。   |
|    |          | 乗用車販売店（従業員）                      | ・新型コロナウイルスの感染状況が変わらない限り、しばらくこの状態は変わらない。  |
|    |          | 乗用車販売店（総務担当）                     | ・自動車販売は新型コロナウイルス禍の影響を余り受けず、順調に売上を伸ばすことができている。  |
|    |          | 住関連専門店（経営者）                      | ・緊急事態宣言解除で、再度感染拡大の懸念があり、経済活動の回復には新型コロナウイルスワクチンが広く行き渡る秋頃になると予想される。  |
|    |          | その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）             | ・卒業や新入学シーズンを迎え、ゴールデンウィークも来ることから、人の動きによる燃料油の販売に期待したい。前年は緊急事態宣言下だったこともあり、今年の販売数量は前年を上回るものと予想している。  |
|    |          | その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者） | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、状況は変わらない。  |
|    |          | 一般レストラン（スタッフ）                    | ・当県は真面目な人が多く、緊急事態宣言の発出もなく感染者も少ないにもかかわらず、外出や飲食をしない。そのため、休業支援金や給付金もほぼなく、経済の悪循環になっている。  |
|    |          | 居酒屋（経営者）                         | ・飲み会が悪く取られがちであるが、ワクチン接種が進まなければ、この状況が改善されないため、このまま変わらない。  |
|    |          | その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）         | ・人の動きに伴い、新型コロナウイルスの感染者も増減する状況は変わらないと想定されるため、現状と変わらない。  |
|    |          | 都市型ホテル（スタッフ）                     | ・新型コロナウイルスのワクチン接種が一通り終わるまで、客の利用増加は見込めない。   |
|    |          | タクシー運転手                          | ・緊急事態宣言が解除になっても、客はどこで感染拡大していくのか分からないため、慎重になっており、今後の売上は見込めない。   |
|    |          | 通信会社（業務担当）                       | ・新型コロナウイルス禍で落ちてしまった売上が元に戻る気配はなく、代替案を進めているが、まだ少し時間が掛かる。   |
|    |          | 通信会社（企画担当）                       | ・光インターネットエリア拡大の販売量増加効果が、引き続き継続する。  |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種                           | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|---------------------------------|--|
|    |          | 理容室（経営者）                        | ・来店客の平均年齢が高くなっており、来店サイクルが延びているため厳しい状態である。  |
|    |          | その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当） | ・緊急事態宣言解除の方向に向かってはいるが、しばらくはその影響が継続することが想定される。  |
|    |          | 設計事務所（所長）                       | ・今月は若干上向いており、仕事量が増えているが、その結果は2～3か月先である。今月の状況は横ばいのため、変わらない。   |
|    |          | 設計事務所（所長）                       | ・新型コロナウイルスの影響で収入減少の傾向があり、一般の住宅の新築や購入は先送りになると予想され、景気回復は不透明である。  |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）                     | ・緊急事態宣言解除後には、来客数も徐々に増加傾向になると考えられるが、住宅検討に慎重な客は依然多く、景気はしばらく変わらない。  |
|    |          | 住宅販売会社（従業員）                     | ・新型コロナウイルス対策で、飲食業は景気が悪いと報道されているが、株価も上がり、預金パブル等経済対策をしており、全体的には浸透していない。景気は、良い企業もあれば、悪い企業もあるが、平均すると悪くなっている。   |
|    |          | 一般小売店〔青果〕（店長）                   | ・新型コロナウイルスの感染がキーポイントであるため、緊急事態宣言が解除され、人が動くようになると感染拡大の可能性があるので、厳しい状態が続くと懸念される。  |
|    |          | 一般小売店〔茶〕（販売・事務）                 | ・新茶時期に入り、通常であれば一番の売上になるはずである。しかし、緊急事態宣言が解除されても新型コロナウイルスの終息がない限り売上が伸びることはないかと予想しており、前年に続き、本年も期待できない。  |
|    |          | スーパー（経理担当）                      | ・前年は学校の休校等も含め、巣籠り需要があったが、今年は前年と比べて比較的落ち着いた需要となっている。  |
|    |          | 家電量販店（店長）                       | ・家電業界は新型コロナウイルス特需の恩恵を受けているが、落ち着き始めている。テレワーク関連商品や空気清浄機、高付加価値付き調理器具の売上が減少しており、緊急事態宣言解除後は、更に落ち着く可能性がある。   |
|    |          | 家電量販店（総務担当）                     | ・従来の春の移動や東京オリンピック特需等も、この先、様変わりの可能性が高く、全く先が見通せない状況である。  |
|    |          | タクシー運転手                         | ・現在の経済状況では、ワクチン接種が一般の人まで行き渡り、経済活動が戻るまで厳しい。また、新型コロナウイルスの第4波が発生した場合に、緊急事態宣言が再発出されれば、経済に与える影響はかなり大きく、早いワクチン接種が待たれる。                                       |
|    |          | その他サービスの動向を把握できる者（所長）           | ・客の受注が思うようにはいかず、経費削減、特に固定費削減の検討がされており、派遣している従業員の臨時休暇、週休3日等を考えざるを得ない状況にある。  |
|    |          | 設計事務所（代表）                       | ・新型コロナウイルスの影響が長引く。   |
|    | ×        | 商店街（代表者）                        | ・新型コロナウイルスの終息次第である。ワクチン普及で今年の東京オリンピックのころから改善すると予想されるが、これも急上昇ではなく、徐々に回復していくものと考えられる。  |
|    | ×        | 商店街（代表者）                        | ・前年4月より売上が30～40%減少となっており、この商況が続けば事業継続が不可能となる。小売業事業者への支援施策を検討してもらいたい。   |
|    | ×        | スーパー（総務担当）                      | ・前年は3月以降、日増しに新型コロナウイルス感染に対する危機感が強まり、いわゆる巣籠り需要が起これ、それが続いていた状態であった。今年はその危機感も前年ほどはなくなり、デリバリー利用や感染対策を講じた上での外食等も徐々に増加しており、そのため、スーパー業界の価格競争も以前のようにし烈になりつつある。 |
|    | ×        | コンビニ（店長）                        | ・人の動向や経営状態が悪く、経済が元に戻るには、半年以上はかかる。  |
|    | ×        | 衣料品専門店（店長）                      | ・新型コロナウイルスの影響なのか、とにかく客の動きがない。  |
|    | ×        | 乗用車販売店（代表）                      | ・新型コロナウイルスの影響で、先行き不透明である。  |
|    | ×        | 高級レストラン（経営者）                    | ・3月の予約状況は、かなり厳しい。しかし、新型コロナウイルスの感染が徐々に収束しており、緊急事態宣言の解除もあるため、リバウンドが起これば感染者数が抑えられた状態であれば、少しでもましになるのではないかと期待を若干持っている。また、東京オリンピック開催は、難しいのではないかと感じている。       |

| 分野                         | 景気の先行き判断  | 業種・職種   | 景気の先行きに対する判断理由  |
|----------------------------|-----------|---|---|
|                            | x         | スナック（経営者）   | ・3月は緊急事態宣言が解除されるとはいえ、飲食業は時短営業が要請されており、売上は期待できない。3～4月は本来なら歓送迎会シーズンで飲食業はにぎわはずであるが、会社から大人数での会食は自粛するよう指示が出ており、当分景気は悪いままと考えられる。  |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(九州) |           | 電気機械器具製造業（経営者）  | ・5月までは、フル稼働生産が続く。   |
|                            |           | 農林水産業（経営者）  | ・緊急事態宣言の効果もあり、新型コロナウイルス感染者数が全体的に落ち着いてきている。休業していた居酒屋も時短営業で感染防止対策を講じており、メーカーにも若干明るい兆しを感じられる。また、新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、活気が戻ってくると考えられるが、新年度の前半は新型コロナウイルスの後遺症が残り、元の状態に戻るには時間が掛かりそうである。 |
|                            |           | 一般機械器具製造業（経営者）  | ・体制が整うと正常な動きになるため、従来の動きが取り戻せると考えている。  |
|                            |           | 電気機械器具製造業（取締役）  | ・新型コロナウイルス終息後を見込んだ動きが出てきている。  |
|                            |           | 電気機械器具製造業（総務担当）   | ・半導体関連産業が忙しくなっている。  |
|                            |           | その他製造業〔産業廃棄物処理業〕  | ・新型コロナウイルス禍が落ち着き、供給量が増えれば相場も上がり、景気は上向きになると考えている。  |
|                            |           | 輸送業（従業員）  | ・大手通販会社からの新製品の受注が伸びている。   |
|                            |           | 金融業（営業担当）   | ・新型コロナウイルスのワクチン接種も国内で開始され、当県では緊急事態宣言が解除の方向で進んでいる。気温の上昇も感じられ、今後は人のマインドと消費動向等が以前より活発になることが予想されるため、消費行動や取引先の営業、売上等にやや期待が持てると思われる。  |
|                            |           | 経営コンサルタント（社員）   | ・緊急事態宣言解除の方向で外出が増え、購買意欲も上向き。  |
|                            |           | 家具製造業（従業員）  | ・家具業界では、ホームユースに関わる企業とコントラクト市場を主戦場とする企業とでは状況が大きく異なる。新規案件が極端に減少しているコントラクト市場では、新型コロナウイルスの終息が見通せない以上、受注における競争激化は当面続くと予想される。   |
|                            |           | 化学工業（総務担当）  | ・農業需要はやや鈍化しており、推移を注視している。   |
|                            |           | 窯業・土石製品製造業（経営者）   | ・今まで入学や転勤等で祝いの贈物があつたが、最近ではそういう注文も少なく、通常の販売も厳しい状態になっており、落ち込んでいくのではないかと危惧している。  |
|                            |           | 金属製品製造業（事業統括）   | ・東京オリンピックが開催された場合、会場付近の建築現場は動きが止まり、やはり先行きは見通せない。  |
|                            |           | 一般機械器具製造業（経営者）  | ・単価は、下げ止まり感はあるものの、今後が不透明のため、上昇の予想すら付かない。採算が取れているわけでもなく、企業として体力がいつまで持つか不安である。  |
|                            |           | 輸送用機械器具製造業（営業担当）  | ・生産計画から判断すると横ばい傾向で推移すると考えられるが、半導体不足やナイロン材料のひっ迫により生産量減少の可能性が大いにある。   |
|                            |           | 輸送業（従業員）  | ・コンテナ不足で海外から貨物が届かず、日本からも輸出ができない状況が続いている。また、海上運賃も値上がりしており、国内生産に切り替える荷主もあり、輸出入荷を取扱う倉庫は、今後影響が出る可能性がある。   |
|                            | 輸送業（総務担当） | ・緊急事態宣言の解除は、早期に方向性を指し示すべきである。営業活動も慎重にならざるを得ない状態である。                   |   |
|                            | 通信業（職員）   | ・現時点での予測として、受注量は今年度と同水準を確保できる見込みである。                                  |   |
|                            | 通信業（経理担当） | ・新型コロナウイルスの影響から先行き不透明なため、状況は変わらない。                                    |   |
|                            | 金融業（調査担当） | ・ワクチン接種開始は、1つの明るい材料ではあるが、感染再拡大の懸念は依然として払拭されておらず、消費活動の回復にはまだ相応の時間を要する。 |   |

| 分野               | 景気の先行き判断 | 業種・職種                    | 景気の先行きに対する判断理由  |
|------------------|----------|--------------------------|---|
|                  |          | 金融業（調査担当）                | ・企業の倒産件数や負債総額は前年を下回っており、今後、新型コロナウイルス関連の借入金返済が開始される。新型コロナウイルス収束の見通しは依然不透明であり、企業の資金繰りや事業継続に影響を及ぼす可能性がある。また、新型コロナウイルス関連融資制度の申込み期間が延長され、より地域企業の動向を注視していく必要がある。今後は、新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの普及、各国の経済対策等で状況が変化する可能性もあるが、現状では景気は引き続き冷え込むことが予想される。 |
|                  |          | 金融業（営業）                  | ・新型コロナウイルスの影響により、先行きは不透明であるが、緊急事態宣言解除による国内需要の回復が期待できる。  |
|                  |          | 不動産業（従業員）                | ・宿泊施設の稼働率が、低位で横ばいに推移している。   |
|                  |          | 新聞社〔広告〕（担当者）             | ・地元の好材料が少ない。  |
|                  |          | 広告代理店（役員）                | ・客の新型コロナウイルスへの対応が落ち着いてはいるものの、先行きの不透明さから、新しい動きをこちらから仕掛けたとしても、なかなか動こうとしない。  |
|                  |          | 経営コンサルタント（代表取締役）         | ・自社Webのアクセス数や問合せ数に大きな変化がない。   |
|                  |          | 経営コンサルタント（社員）            | ・来月の確定申告が終わるまでは、新しい動きはない。加えて、新型コロナウイルスの影響もあり、外出を控えている状態である。   |
|                  |          | その他サービス業〔物品リース〕（職員）      | ・緊急事態宣言の解除も見込まれ、若干の上振れも期待できるが、大きくは変動しない。  |
|                  |          | 繊維工業（営業担当）               | ・繊維業界では、まだ景気回復が期待できない。景気が戻るのが一番遅い職種といわれている。   |
|                  |          | 出版・印刷・同関連産業（営業担当）        | ・年度初めの予算執行がないため悪くなる。  |
|                  |          | 建設業（従業員）                 | ・現場担当の人手不足で大型物件の受注が難しく、会社の社内事情により、状況が大変厳しくなる。   |
|                  | ×        | 建設業（社員）                  | ・今のままでは、ゼロ債工事に期待ができない。もっと地方公共団体への働きかけを実施してもらい、ゼロ債工事が多くなるように望んでいる。   |
|                  | ×        | 金融業（従業員）                 | ・新型コロナウイルスの感染がやや落ち着きを取り戻しているものの、労働需給や雇用者所得共に弱い動きになっている。また、住宅販売も伸び悩んでいるほか、ホテルや旅館、飲食店等では、先行きを不安視する声が少ない。  |
|                  | ×        | その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役） | ・2月末で新型コロナウイルス感染対策のための緊急事態宣言が解除されたが、市町村の調査や計画、設計業務等は、業者へ委託する補正予算がほとんど計上されていないため、売上が増える可能性が少ない。このため、景気が更に悪くなることが予想される。   |
| 雇用<br>関連<br>(九州) |          | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・前年の秋から12月までは回復基調になり、1月からほぼ前年並みに戻るものと期待をしていたが、緊急事態宣言の発出で冷え込みが一段と厳しくなっている。例年、第4四半期で利益を確保していたが、2期連続で大きな赤字を抱えることになっている。  |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）               | ・求人数が、前年を上回るペースで回復している。   |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）               | ・緊急事態宣言も解除され、イベント等の動きが出ると期待している。  |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（社員）            | ・新型コロナウイルスワクチン接種等明るいニュースもあり、緊急事態宣言が解除されると、状況は良くなっていく。新聞広告の量を増やすための具体的な動きは、まだみえていないため懸念されるが、今後の動きに注視したい。   |
|                  |          | 新聞社〔求人広告〕（担当者）           | ・急回復はないが、3月には被災した道路が開通、4月には駅の新ビルがオープンするなど明るいニュースも控えており、人出も消費も刺激され、景気は上向くと考える。   |
|                  |          | 人材派遣会社（社員）               | ・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてくれば、少しずつでも景気は良くなってくると予想されるが、派遣業界でのプラス要因が出るには、もうしばらく時間が掛かる。   |
|                  |          | 職業安定所（職員）                | ・新規求人数は、前年度程度となってきたが、有効求職者は高止まりしており、改善する材料は今のところ見当たらない。   |

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種          | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----|----------|----------------|--|
|    |          | 民間職業紹介機関（職員）   | ・ ワクチン接種が順調に進み、以前の状態に戻るまでは、このままの状態が続くと考えられる。また、緊急事態宣言の影響は、新卒採用の場合には長期的な視点で見られるため、特に影響もなく、現状でも厳しい状態であるため、それが更に悪くなることは今のところ考えられない。 |
|    |          | 人材派遣会社（社員）     | ・ 3月終了スタッフの後任注文がないため、その分売上が減少する。また、新規注文も現在少なく、終了する分を上回っていない。   |
|    |          | 職業安定所（職員）      | ・ 求人数は持ち直しているものの、販売やサービスといった業種での求人が昨春以降大幅に減少したままである。   |
|    |          | 職業安定所（職員）      | ・ 雇用調整助成金を受給している事業所から、事業所整理の相談が目立つようになってきている。  |
|    |          | 学校〔大学〕（就職支援業務） | ・ 3月を前に採用活動をスタートさせた企業がある一方で、広報活動解禁前のため、採用人数に関する情報がなく、詳細な情報は得られていないが、リーマンショックやITバブル時の求人倍率推移から予測すると、新卒の就職活動は前年よりも厳しくなるものと予測される。    |
|    | x        | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・ 学生の就職ランキングで人気上位だった企業が、2022年度の新規採用の見送りや人員の削減等を発表している。4月以降になると企業が新年度に入るため、更に厳しい政策が発表されると予想される。                                   |

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野             | 景気の先行き判断 | 業種・職種              | 景気の先行きに対する判断理由   |
|----------------|----------|--------------------|--|
| 家計動向関連<br>(沖縄) |          | -                  | -  |
|                |          | 百貨店（店舗企画）          | ・ 浮き沈みの繰り返しとなるとみられるが、Go To Travelキャンペーンの再開で活気は出てくると期待している反面、周期的に東京オリンピック開催時期に感染拡大とならないか、不安である。                                     |
|                |          | コンビニ（経営者）          | ・ 暖かくなってくると来客数が伸びてくる。緊急事態宣言が解除されると観光客が増加するので、売上が期待できる。   |
|                |          | コンビニ（経営者）          | ・ 新型コロナウイルス感染に対するワクチン接種が、3月以降医療従事者を始め県民へ行われることにより、安心感をもち、夕夜間の来店客の増加が見込まれること、さらには他府県からの来県者が増加することを期待している。                           |
|                |          | コンビニ（副店長）          | ・ 緊急事態宣言が解除され、ワクチン接種が開始されれば徐々に動き始め、店舗の売上が上向きになると考える。   |
|                |          | 家電量販店（総務担当）        | ・ 新型コロナウイルスの発生から一巡するため、前年よりは売上が改善していく。   |
|                |          | 乗用車販売店（経理担当）       | ・ ゴールデンウィーク需要に向けたレンタカーの受注も入ってきていると聞く。観光関連もワクチン接種の広がりやGo To Travelキャンペーン再開に期待している模様である。   |
|                |          | 観光型ホテル（代表取締役）      | ・ 緊急事態宣言の解除がみえてきており、先行きの宿泊や飲食の予約は、今月よりも動いてきている。とはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった前年春と比べても同程度であり、前々年の状態に戻るには程遠い。Go To Travelキャンペーンの再開が待ち望まれる。 |
|                |          | 観光型ホテル（企画担当）       | ・ ホテルの2月の販売室数が前年比94%減少なのに対して、2月末時点での5月の予約室数は前年比34%減少と、マイナスが緩和されている。  |
|                |          | 通信会社（営業担当）         | ・ 3月から各キャリアの新料金プランが始まりどのように市場が動くか予想が難しいが、当キャリアには追い風が吹いているので、現在の好調の波は続くと思っている。  |
|                |          | 観光名所（職員）           | ・ 県外からの客が増えることを期待しているが、第4波が心配ではある。県外の個人や企業、学校からの4月以降の問合せが2月最終週の辺りから増えてきている。  |
|                |          | その他サービス〔レンタカー〕（営業） | ・ 緊急事態宣言解除とGo To Travelキャンペーン再開の見通しが立ってきており、先行予約も回復傾向にある。  |
|                |          | 住宅販売会社（役員）         | ・ 緊急事態宣言が解除されることにより、客の動向も活発になると予想される。  |
|                |          | スーパー（企画担当）         | ・ 緊急事態宣言解除に向かってはいるものの、急な来客数増加は見込めない。   |

| 分野                     | 景気の先行き判断 | 業種・職種           | 景気の先行きに対する判断理由   |
|------------------------|----------|-----------------|--|
|                        |          | コンビニ（代表者）       | ・緊急事態宣言解除後もすぐには乗客数増加を望めない。ただし、前年と比較して新型コロナウイルスに対する対策は充実してきており徐々に回復していくものと考えられる。  |
|                        |          | その他飲食〔居酒屋〕（経営者） | ・3月1日からは通常営業に戻れて、一時的に客は増えそうだが、飲食の自主規制が足かせになり、特に官庁ビジネス街では周りの目を気にして近場の飲食店は敬遠され、前の人数が戻るかは先がみえない。持続化給付金等の支援もなくなってくるので、廃業が確実に増えてくる。                   |
|                        |          | 旅行代理店（マネージャー）   | ・今がどん底だと信じたい。現状より悪くなれば賃金カットや人員整理等の話が出てもおかしくない状況である。  |
|                        |          | 住宅販売会社（代表取締役）   | ・現在ここ数年と変わらない手持ち工事高を抱えている。また、当面は建築受注契約が見込めそうである。   |
|                        |          | スーパー（販売企画）      | ・新型コロナウイルス禍での厳しい社会経済のなかでは財布のひもは固くなる一方で食費への影響もあると予想する。今回のように行政からのプレミアム付商品券等の経済対策があれば良くなるとも考えられるが、今のところそのような情報はない。                                 |
|                        |          | 衣料品専門店（経営者）     | ・今月は、世の中の現状と自粛ムードなどがあり、客が少ない状態が続いている。景気は全然良くなる雰囲気がない。  |
|                        | x        | 商店街（代表者）        | ・現在まん延中の新型コロナウイルスのワクチンができない限りは、皆は経済的にも厳しいとみている。客も少なく、営業の時短もあり大変厳しい状況である。早くワクチンができれば良いとの言葉が多い。  |
|                        | x        | 衣料品専門店（経営者）     | ・緊急事態宣言を解除すれば一時的に向上くかもしれないが、リバウンドしたらどうなるのか。政府は飲食店以外の業種にも協力金などの支援をすべきである。閉店や廃業が周囲で起こり始めている。   |
| 企業<br>動向<br>関連<br>(沖縄) |          | 輸送業（経営企画室）      | ・緊急事態宣言が解除され、時短要請もなくなることから1～2月の反動で消費が増加するのではないかと考えられる。   |
|                        |          | 食料品製造業（役員）      | ・3月以降に緊急事態宣言が解除されると、Go To Travelキャンペーンの再開による観光客及び外食の増加に期待している。   |
|                        |          | 建設業（経営者）        | ・今月に入り、客からの問合せや来社が増え、仮契約に結び付けて今後の受注が上昇する見込みである。  |
|                        |          | 輸送業（代表者）        | ・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染が落ち着く様相となるなか、官需部門においては宮古島で陸上自衛隊関連の建設等の大型物件が終盤にきていて落ち込みが予想されるが、民需部門ではホテル等の大型物件が始まり回復が予想される。ただし、輸送能力の供給が過多で競争の激化が考えられる。 |
|                        |          | 窯業土石業（取締役）      | ・当面、民間工事の需要は新型コロナウイルスの影響で低調傾向が続くとみられる。   |
|                        |          | 広告代理店（営業担当）     | ・県内企業の販促活動は、いまだ先行きが不透明な感染リスクへの対応に追われて消極的な状況が続いている。   |
|                        |          | 会計事務所（所長）       | ・新型コロナウイルスのワクチンの開発や、集団免疫の後で感染者が再度、増加しないかどうか。   |
|                        |          | -               | -  |
| x                      | -        | -               |  |
| 雇用<br>関連<br>(沖縄)       |          | 学校〔専門学校〕（就職担当）  | ・企業の採用活動はリモートと対面のハイブリッドで行われており、今後もそれは続くと見込まれる。また、新型コロナウイルスの感染者数も減少しているので、今後求人数が増えるかと予想している。  |
|                        |          | 人材派遣会社（総務担当）    | ・緊急事態宣言が2月末で解除されれば、少し景気も良くなるのではとみている。  |
|                        |          | 求人情報誌製作会社（営業）   | ・移動や外出の制限などで採用、就職活動が影響を受けた今月よりは、3～5月の方が企業も求職者も活動を再開すると予測している。  |
|                        |          | 学校〔大学〕（就職支援担当）  | ・県独自の緊急事態宣言解除の見通しが立ったので、景気に反映されると考える。  |
|                        |          | 求人情報誌製作会社（営業担当） | ・新型コロナウイルス禍のなかで企業が雇用に慎重になっている。   |
|                        |          | 職業安定所（職員）       | ・新規求人が医療、介護、福祉分野に偏り、観光関連産業を始め、幅広い産業の求人がほとんどない。緊急事態宣言が解除になったとしても、急激には景気回復しないとみられる。  |
|                        | -        | -               |  |
| x                      | -        | -               |  |